

原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(令和元年度 第1四半期)

福島県

目次

第1	測定結果の概要	1
第2	測定項目	8
第3	測定方法	14
第4	測定結果	
4-1	空間放射線	
4-1-1	空間線量率	23
4-1-2	空間積算線量	24
4-2	環境試料	
4-2-1	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	25
4-2-2	環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種）	26
4-2-3	環境試料中の核種濃度（ベータ線放出核種）	28
4-2-4	環境試料中の核種濃度（アルファ線放出核種）	29
第5	原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表	
5-1	空間放射線	
5-1-1	空間線量率	32
5-1-2	空間積算線量	35
5-2	環境試料	
5-2-1	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	38
5-2-2	大気浮遊じんの核種濃度	40
5-2-3	大気中水分のトリチウム濃度	44
5-2-3	降水物の核種濃度	45
5-2-4	環境試料中の核種濃度	46
5-3	比較対照地点	
5-3-1	空間線量率（比較対照地点）	49
5-3-2	大気浮遊じんの核種濃度（比較対照地点）	50
5-3-3	大気中水分のトリチウム濃度（比較対照地点）	51
5-3-4	降水物の核種濃度（比較対照地点）	52
5-3-5	環境試料中の核種濃度（比較対照地点）	53
5-4	試料採取時の付帯データ集	54
第6	参考資料	
6-1	福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う 海水モニタリング結果（公表資料）	55

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力用語集をご活用下さい。

○URL
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025c/genan183.html>

○または、
福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

この報告書は、令和元年9月3日に開催された「福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会 環境モニタリング評価部会」において、令和元年度第1四半期（平成31年4月～令和元年6月）の調査結果について検討された内容を取りまとめたものです。

第 1 測定結果の概要

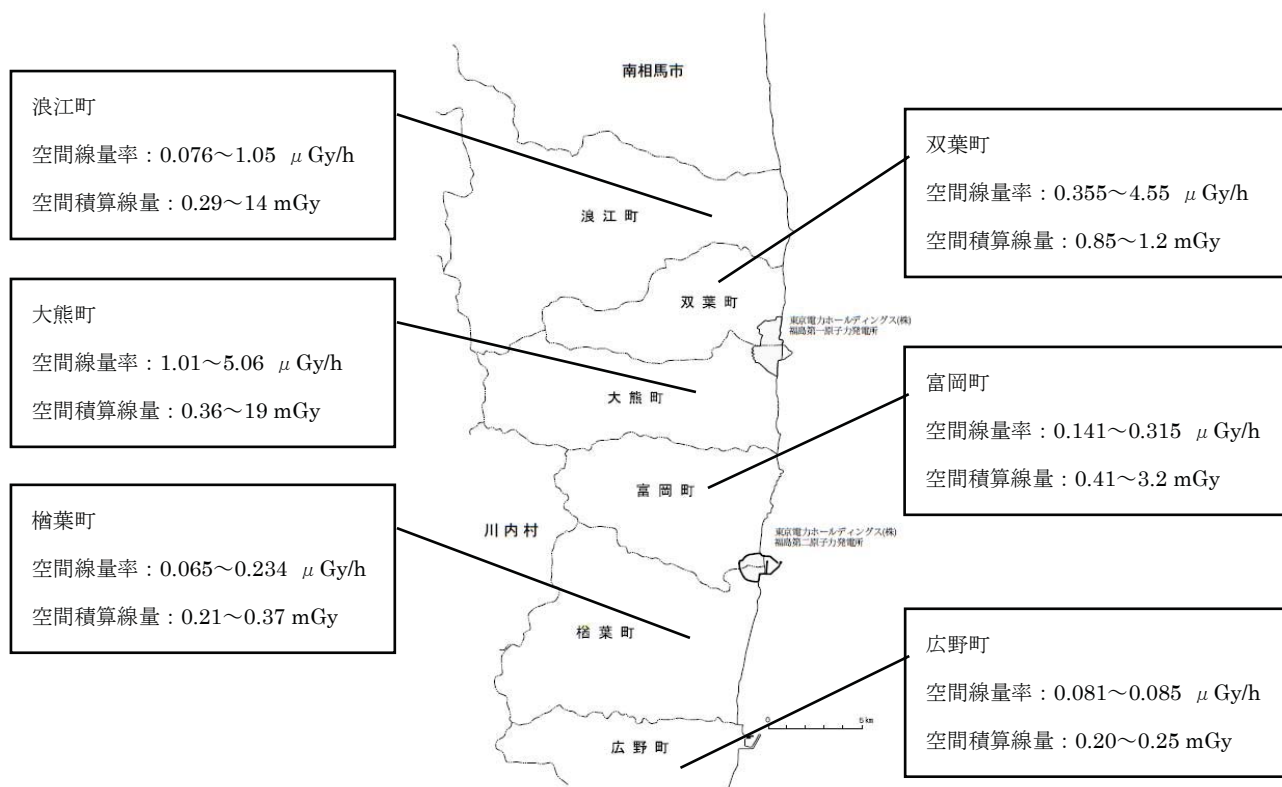
福島県が令和元年度第 1 四半期（平成 31 年 4 月～令和元年 6 月）に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故による影響を受けた空間線量率や環境試料については、一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

1 空間放射線

- 空間線量率について、今期の測定値（月間平均値 0.045～5.06 μ Gy/h）は、事故前の測定値の範囲（月間平均値 0.033～0.054 μ Gy/h）を上回っています。全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。
- 空間積算線量（90日換算値）については、今期の測定値（0.16～19 mGy）は事故前の測定値の範囲（0.10～0.14 mGy）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

【町別の空間線量率及び空間積算線量】

※ 空間線量率と空間積算線量の測定地点は同一とは限りません。詳細な地点は p.9 図 2-1 環境放射能等測定地点を参照してください。

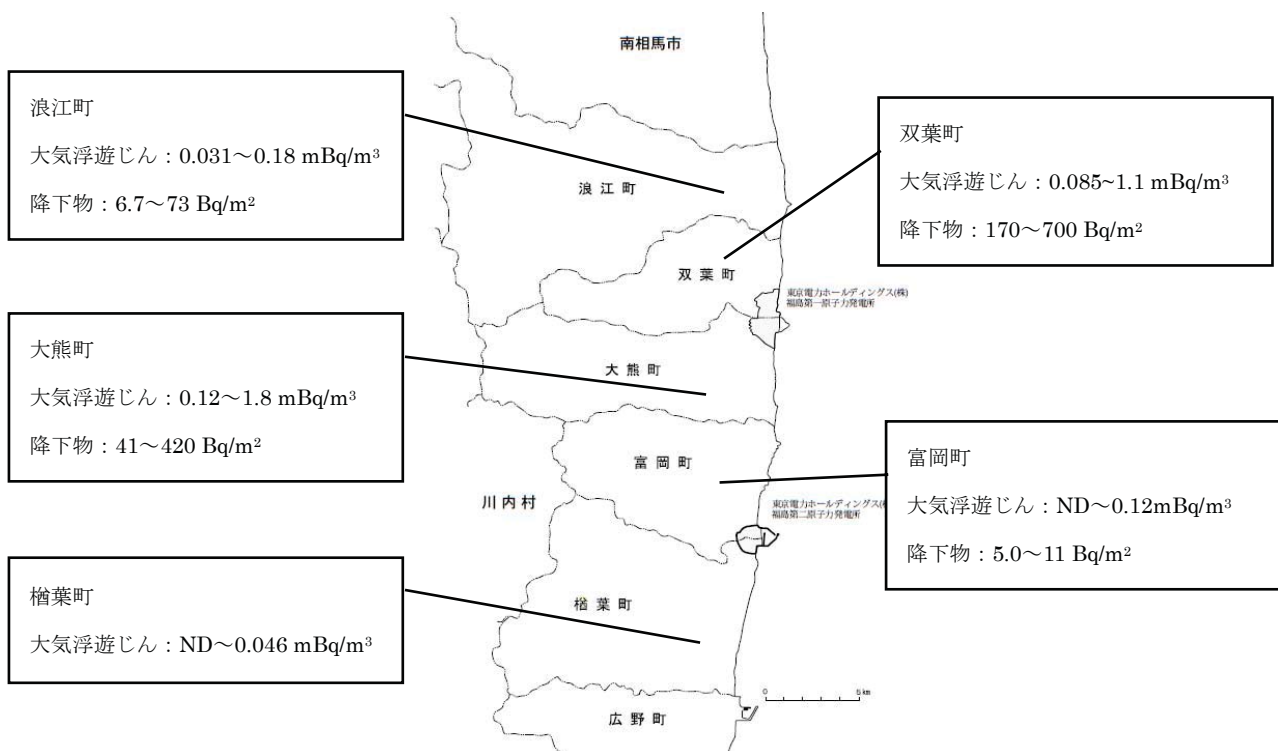


2 環境試料の核種濃度

- 大気浮遊じん、降下物、土壌、上水、海水、海底土及び松葉の7品目の試料からセシウム-134及びセシウム-137が検出され、事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。
上水の一部からセシウム-134及びセシウム-137が検出されていますが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。
- 大気中水分、上水の試料からトリチウムが検出され、大気中水分の大熊町夫沢、双葉町郡山の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、前年度の測定値の範囲内でした。上水のトリチウムの測定値は事故前の測定値の範囲内でした。
- 海水の試料からストロンチウム-90が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った試料がありましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前年度の測定値の範囲内でした。海底土の試料からストロンチウム-90が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った試料がありましたが、前年度の測定値の範囲内でした。
- 土壌の試料からプルトニウム-238が検出されましたが、事故後の測定値の範囲内でした。土壌、海水、海底土の試料からプルトニウム-239+240が検出され、土壌の浪江町幾世橋及び海水の第一(発)南放出口付近の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故後の測定値の範囲内でした。海底土は事故前の測定値の範囲内でした。
- 土壌の試料からアメリカシウム-241、キュリウム-244が検出されました。

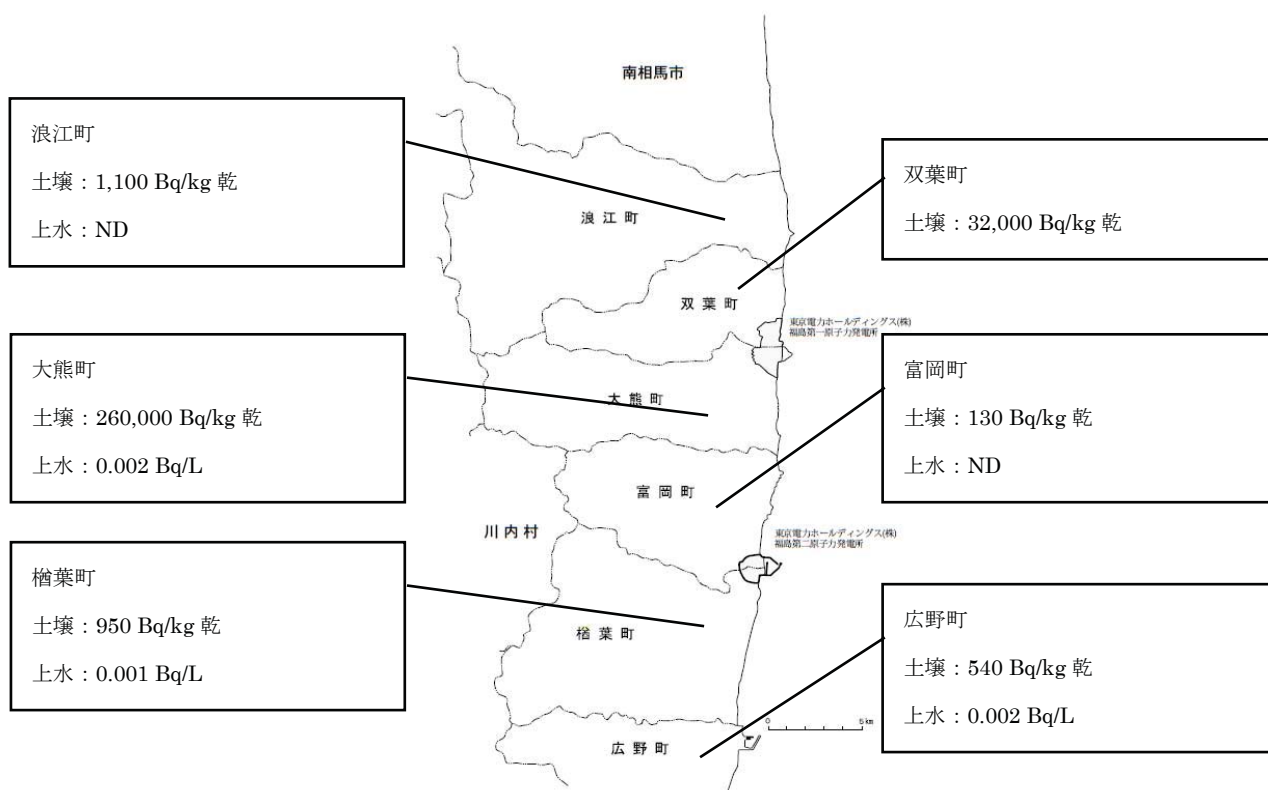
【町別の大気浮遊じん及び降下物のセシウム-137濃度】

※ 大気浮遊じんと降下物の採取地点は同一とは限りません。詳細な地点は p.11 図2-3 環境試料採取地点を参照してください。

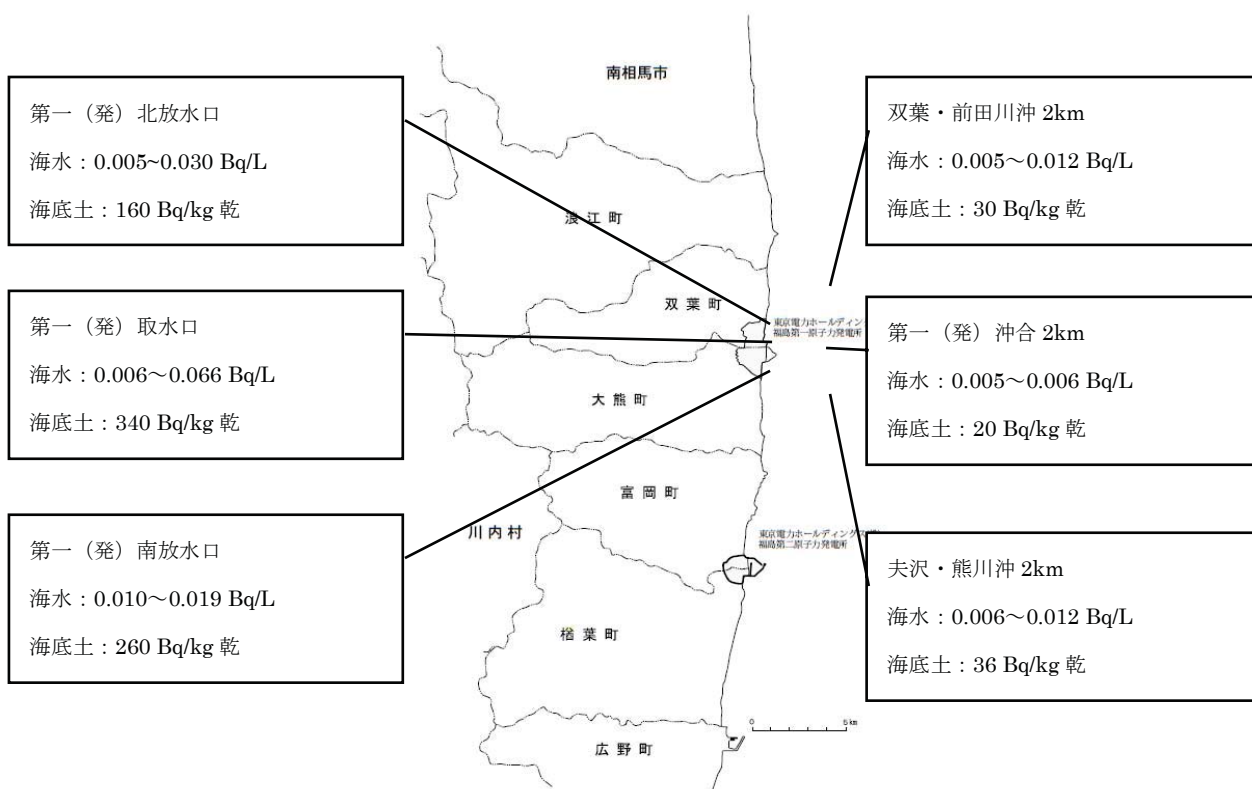


【町別の土壌及び上水のセシウム-137濃度】

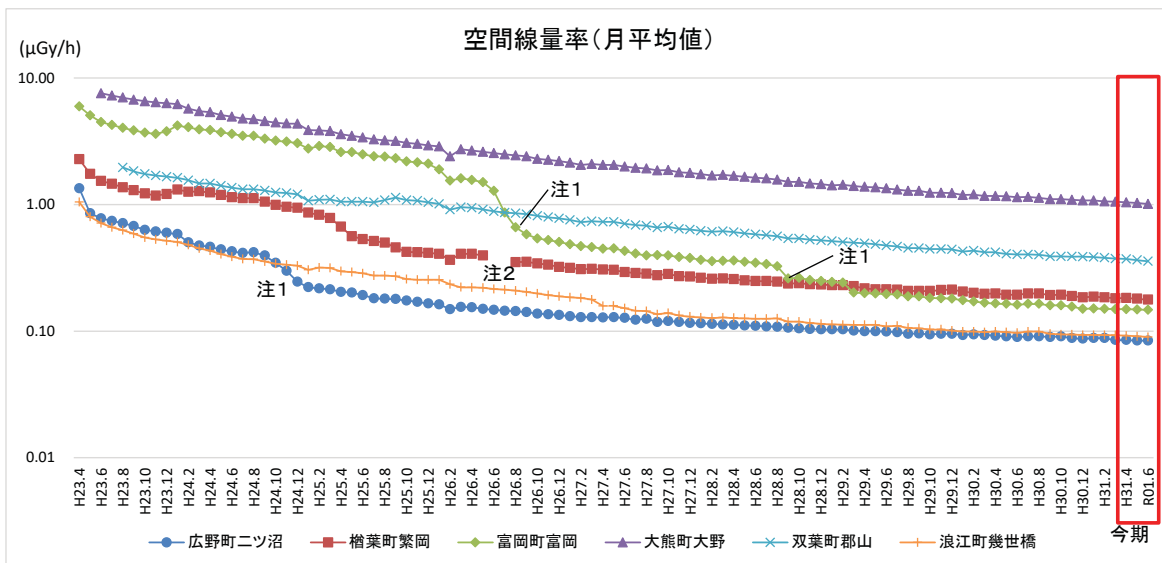
※ 土壌と上水の採取地点は同一とは限りません。詳細な地点は p.11 図 2-3 環境試料採取地点を参照してください。



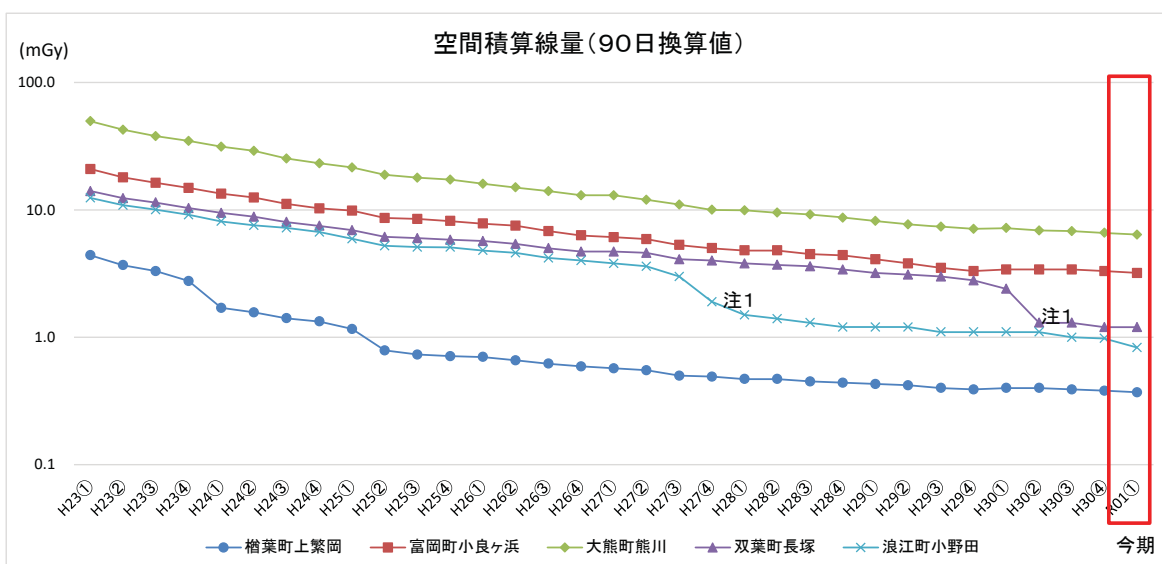
【海水及び海底土のセシウム-137濃度】



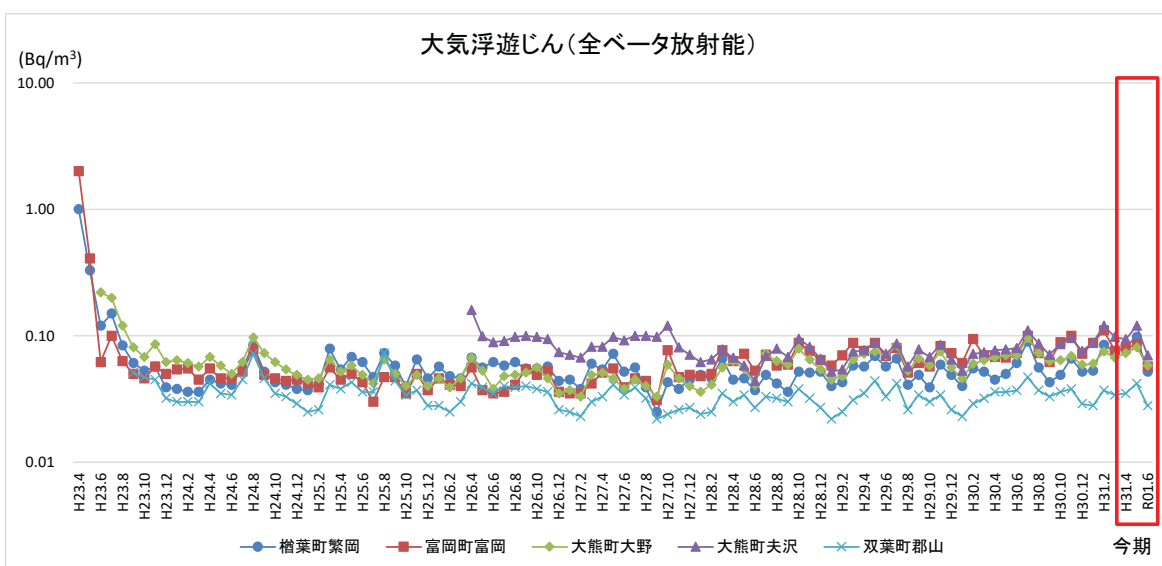
事故後の各項目毎のトレンドグラフ

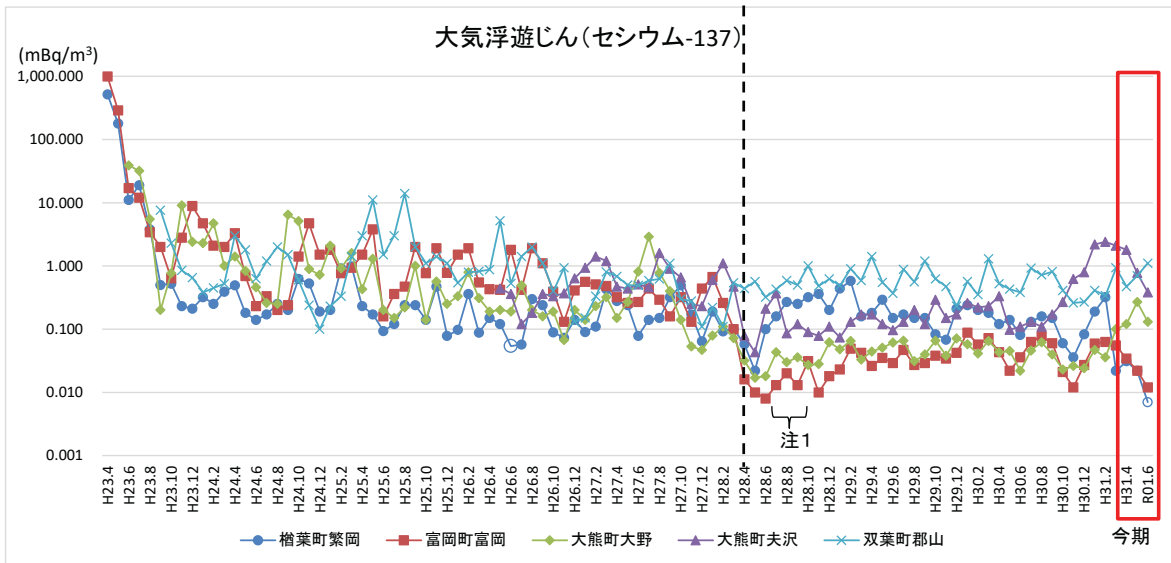


注1: 除染による減少、注2: 欠測

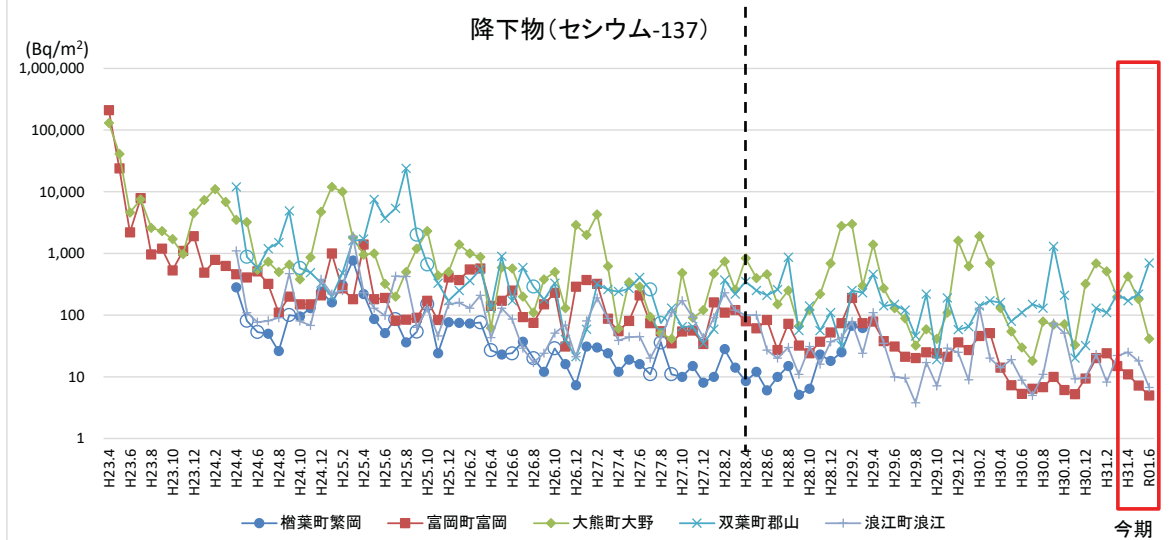


注1: 除染による減少

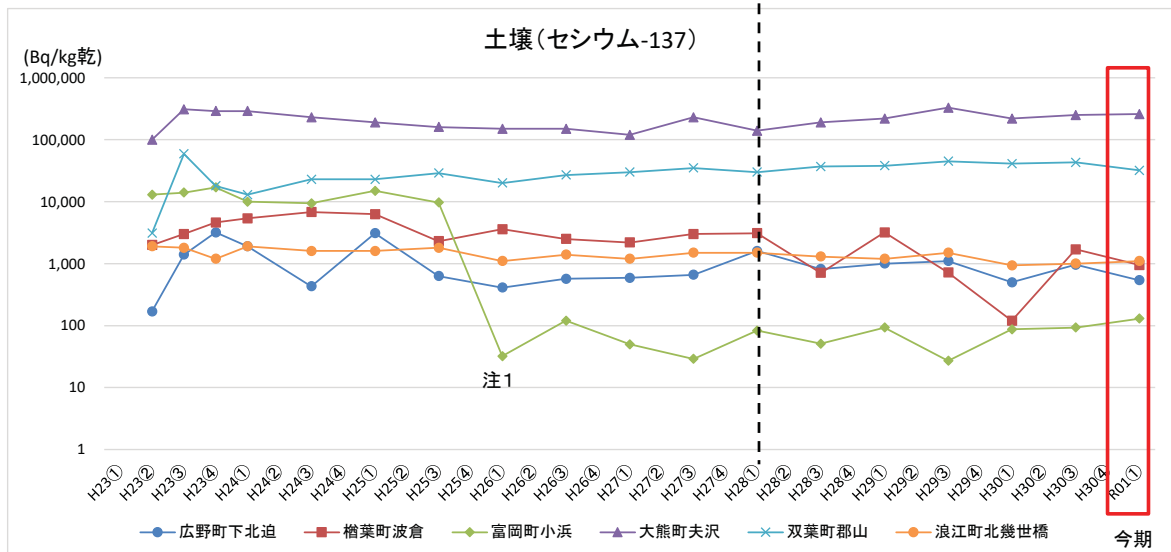




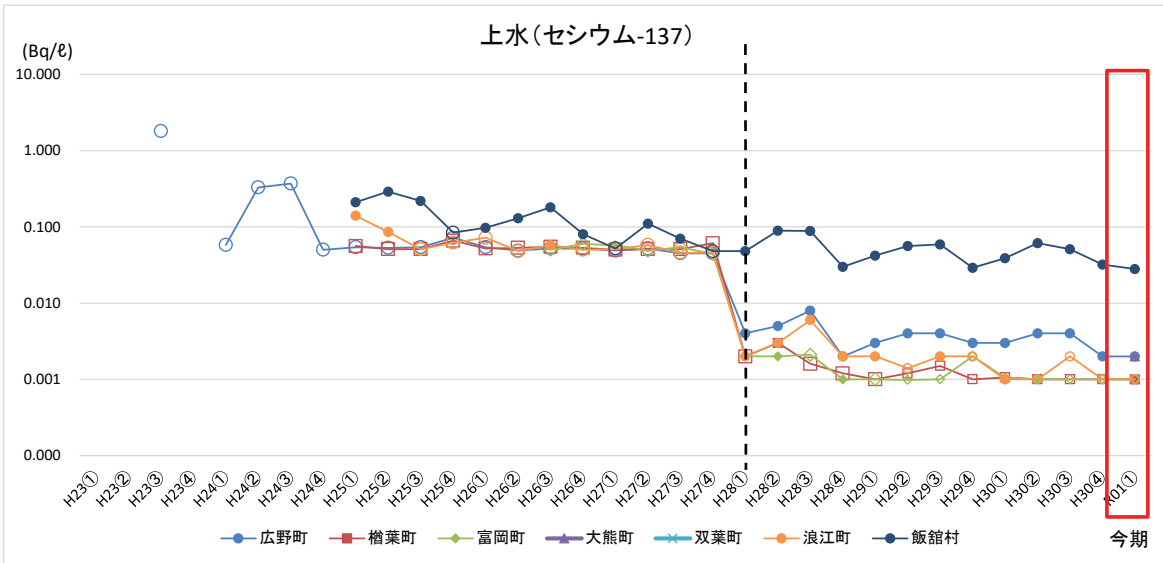
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 富岡町富岡は機器不具合のため平成28年7月から10月は参考値



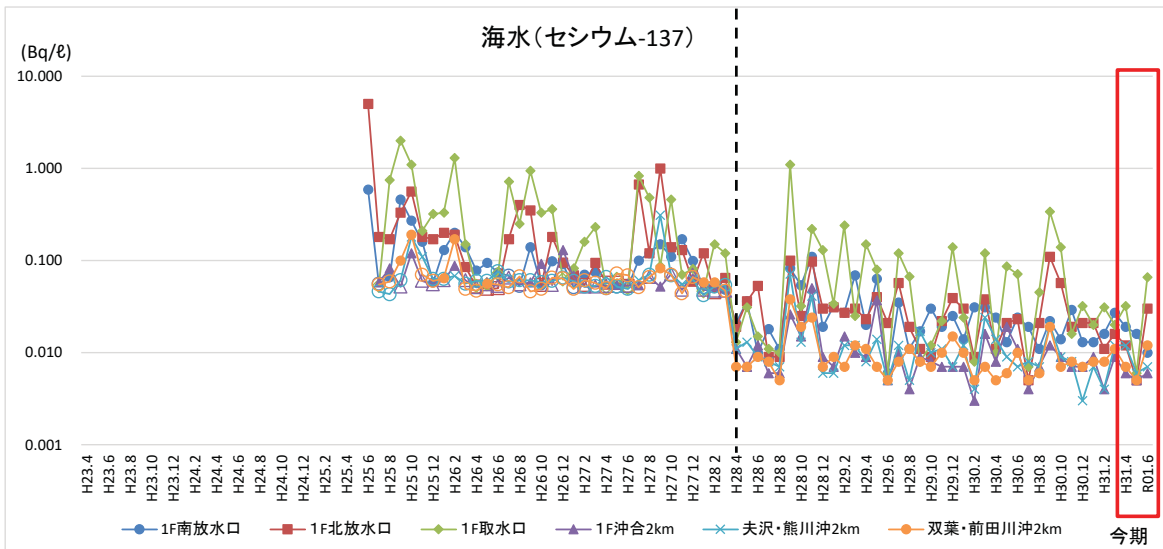
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。



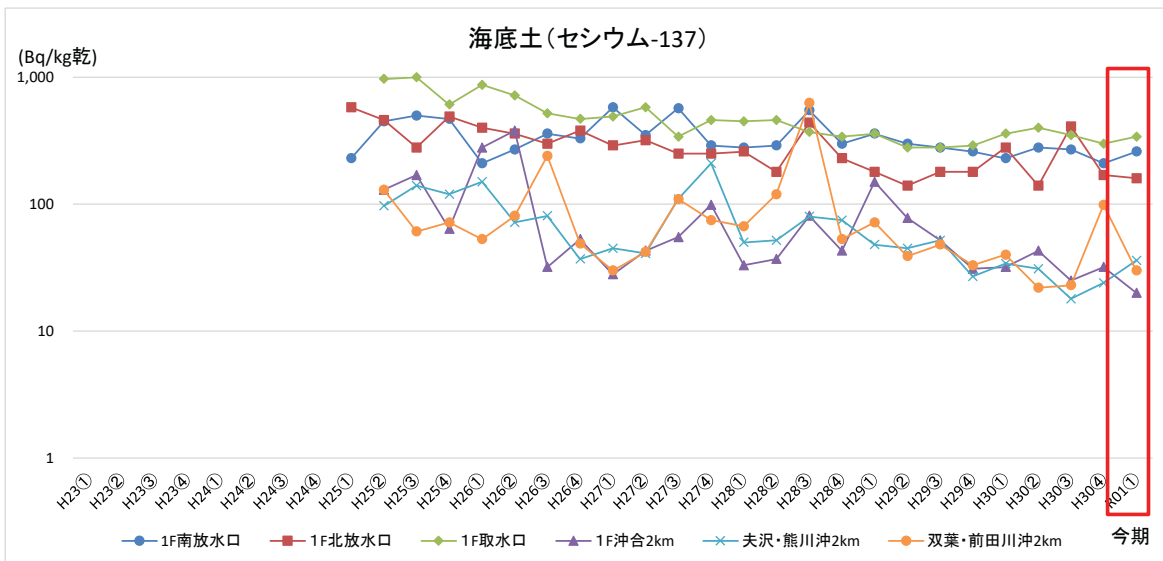
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 除染による減少

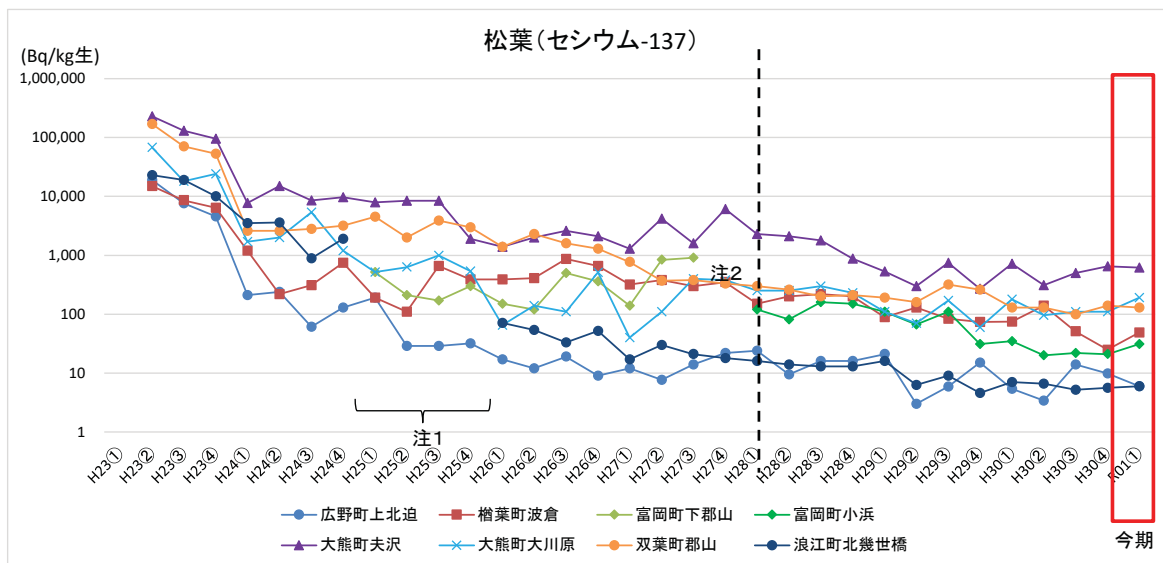


- ・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
- ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方に戻し、検出下限値が低下。



- ・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
- ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方に戻し、検出下限値が低下。





・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。

注1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施

注2: 富岡町下郡山は平成27年第4四半期以降試料採取が困難となったため、平成28年第1四半期より富岡町小浜で試料採取を行っている。

第 2 測 定 項 目

令和元年度第1四半期（平成31年4月～令和元年6月）測定分

1 測定項目

(1) 空間放射線

項目	計画地点数	調査地点数 (今期)	測定頻度	実施機関
空間線量率	39	39	連続	環境創造センター
空間積算線量	64	64	3ヵ月積算	

(2) 環境試料

区分	試料名	計画地点数	調査地点数 (今期)	採取回数 (今期)	採取頻度	測定試料数(今期)							実施機関	
						全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm		
大 気	大気浮遊じん	17	17	3	毎月	連続 全α全β	51							環境創造 センター
		25	25	3		75								
	大気中水分	5	5	3	毎月			15						
降下物	降下物	10	10	3	毎月		30							
土 壤	土 壤	15	15	1	年2回		15							
		15	15	1	年1回				15	15	15			
陸 水	上 水	13	12	1	年4回		12		12					
		0	0	0	年1回				0	0				
海 水	海 水	6(*1)	6(*1)	3	毎月	18	18	18	18	18				
		2(*2)	2(*2)	1	年4回	2	2	2						
					年1回				2	2				
海 底 土	海 底 土	6(*1)	6(*1)	1	年4回		6		6	6				
		2(*2)	2(*2)	1	年4回		2							
					年1回				2	2				
指標植物	松 葉	15	15	1	年4回		15	15						
指標海洋生物	ほんだわら	2	0	0	年1回		0	0		0	0			

*1 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所周辺海域

*2 東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所周辺海域

2 測定項目(比較対照地点調査)

(1) 空間放射線

項目	計画地点数	調査地点数 (今期)	測定頻度	実施機関
空間線量率	3	3	連続	環境創造センター

(2) 環境試料

区分	試料名	計画地点数	調査地点数 (今期)	採取回数 (今期)	採取頻度	測定試料数(今期)							実施機関
						全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	7	7	3	毎月		21						
	大気中水分	1	1	3					3				
降下物	降下物	2	2	3	毎月		6						
土 壤	土 壤	7	7	1	年1回		7		7	7			
		1	1	1							1		
陸 水	上 水	2	1	1	年1回		1		1				
		1	0	0					0	0			
海 水	海 水	1	0	0	年1回	0	0	0	0	0			
海 底 土	海 底 土	1	0	0	年1回		0		0	0			
指標植物	松 葉	5	5	1	年4回		5	5					

図2-1 環境放射能等測定地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

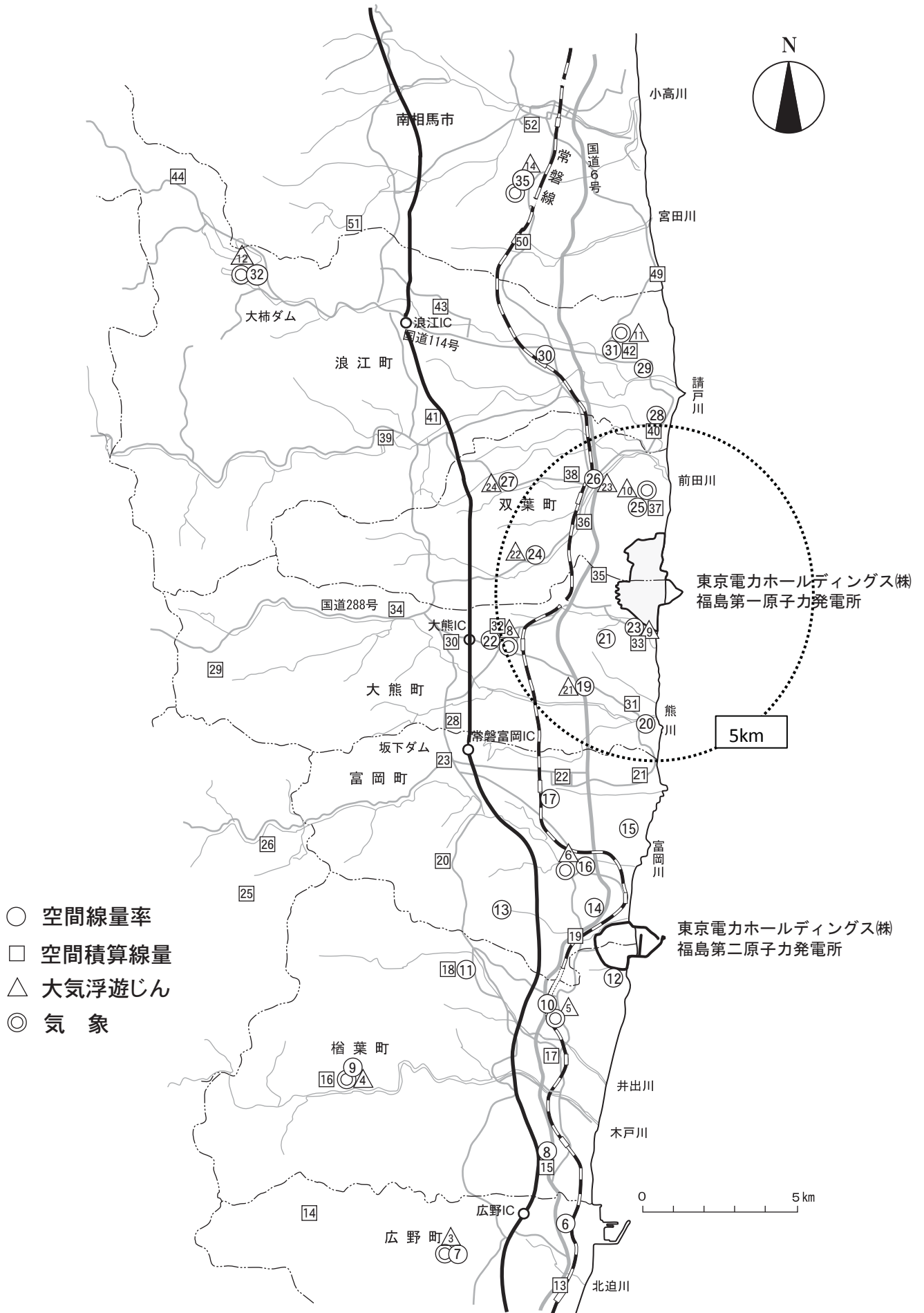


図2-2 環境放射能等測定地点（広域）

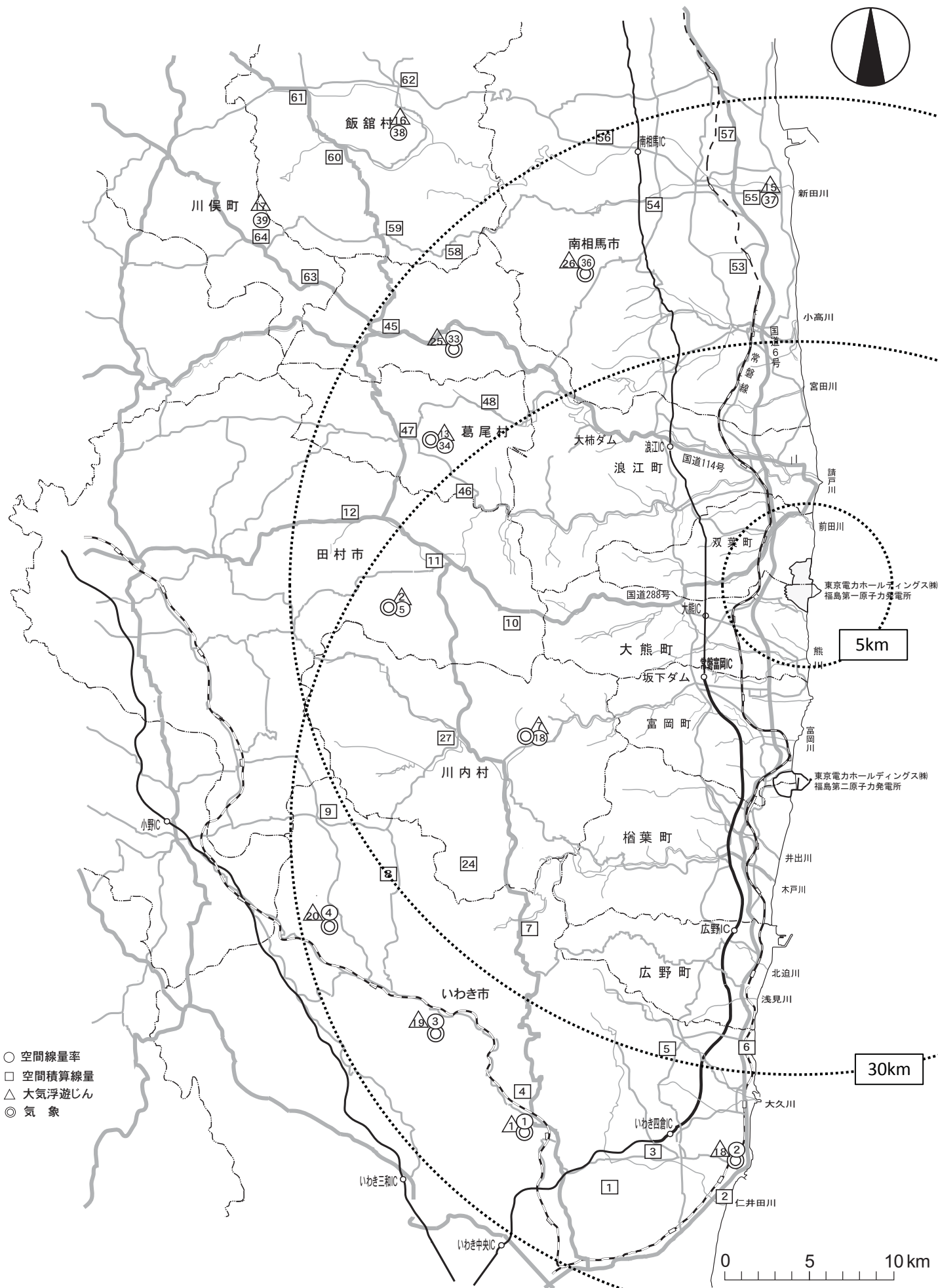


図2-3 環境試料採取地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

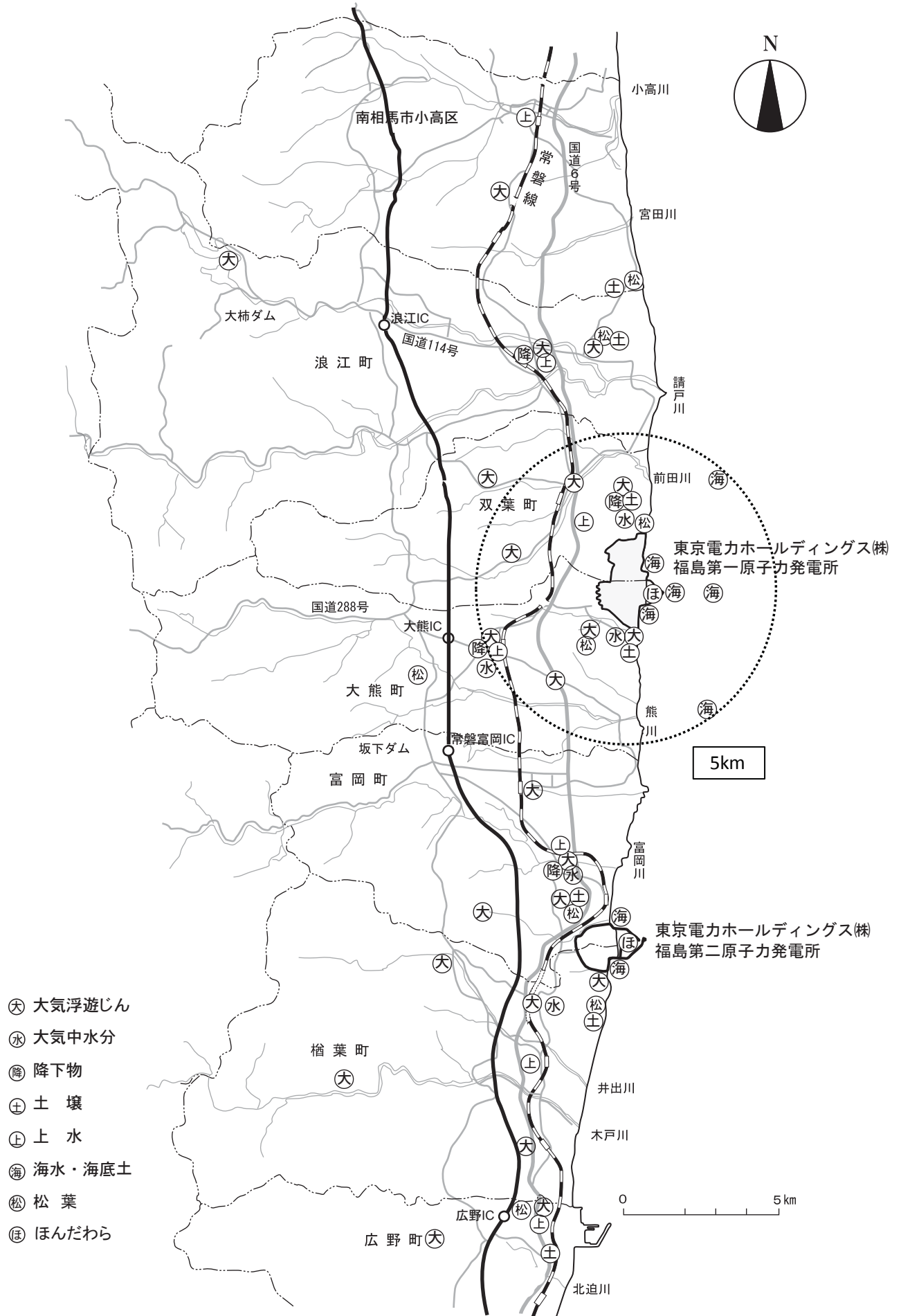


図2-4 環境試料採取地点（広域）

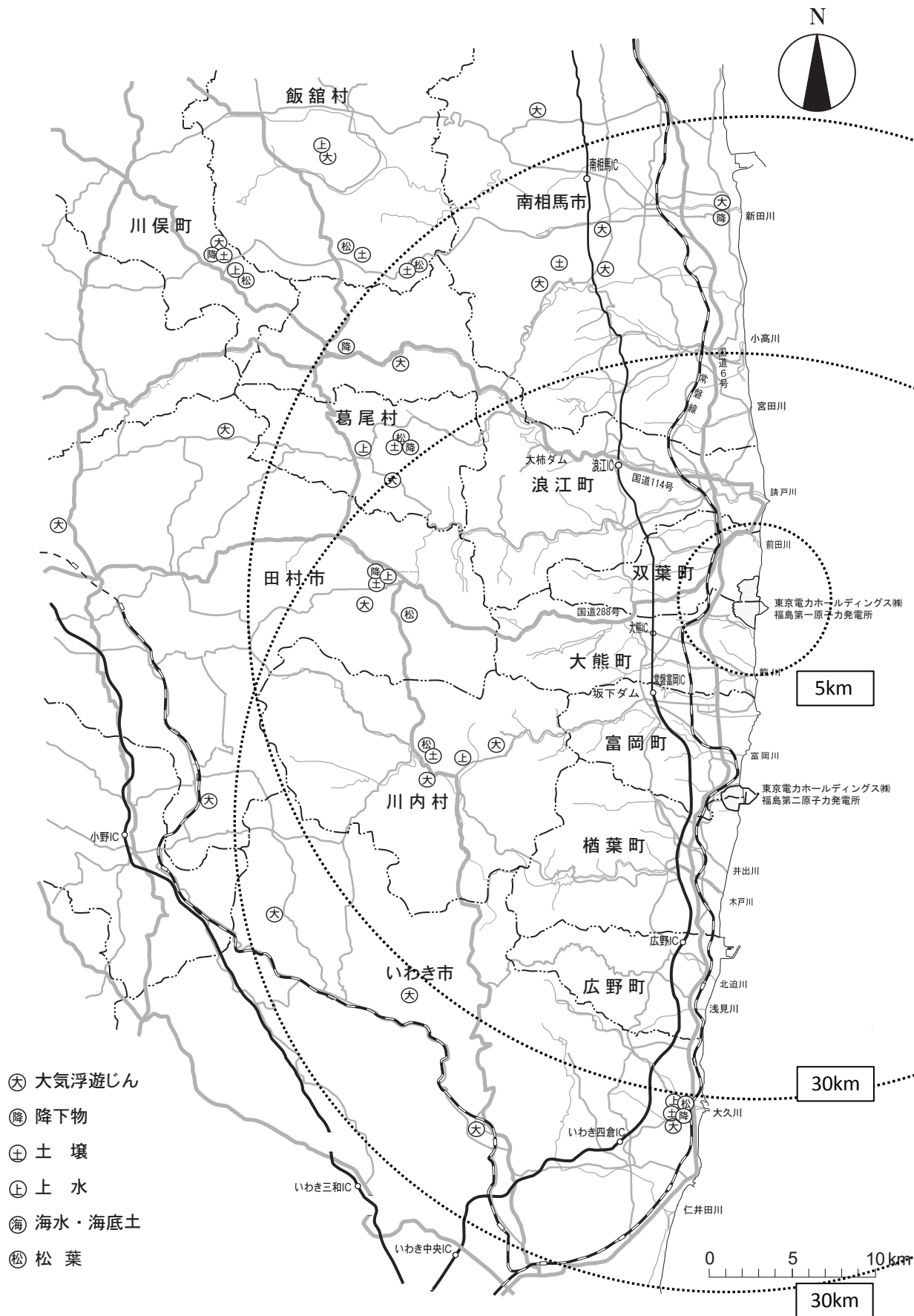
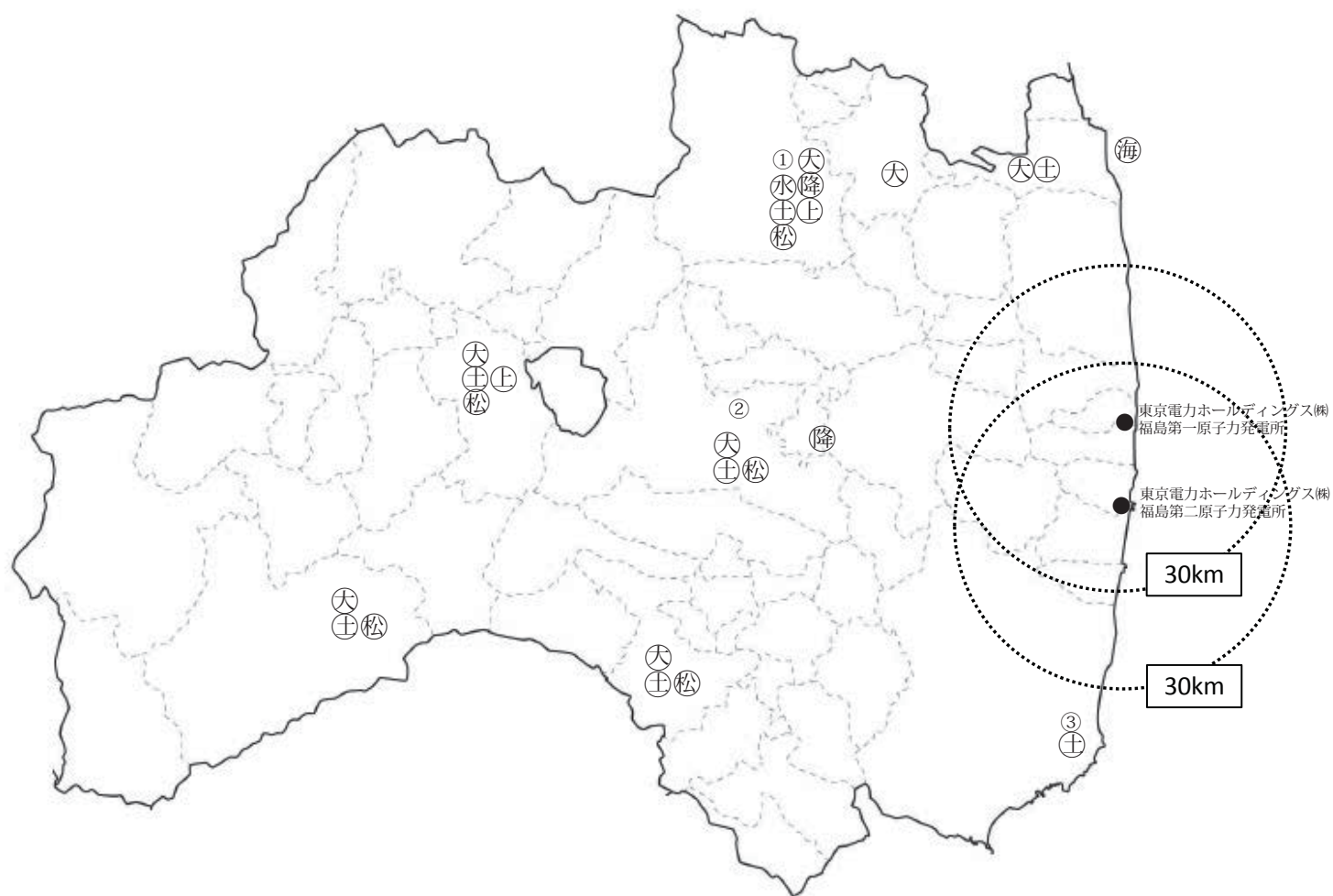


図2-5 環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点（県内全域）



- 空間線量率
- ⊕ 大気浮遊じん
- ⊖ 大気中水分
- ⊖ 降水物
- ⊕ 土壌
- ⊖ 海水・海底土
- ⊕ 上水
- ⊖ 松葉

第 3 測 定 方 法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：低線量計 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (日立製作所製 ADP-1122型他) 高線量計 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器 (日立製作所製 RIC-348型他) 測定位置：地表上約3m、約1m 校正線源： ⁶⁰ Co、 ¹³⁷ Cs及び ²²⁶ Ra
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 線量計：蛍光ガラス線量計 (AGCテクノグラス製 SC-1型) 測定器：蛍光ガラス線量計測装置 (AGCテクノグラス製 FGD-202型) 測定位置：地表上約1m 校正線源： ¹³⁷ Cs
環境試料	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を6時間同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式 (吸引量：約90m ³ /6時間) 使用ろ紙：アドバンテック東洋製 HE-40T型 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの貼合せ検出器 (日立製作所製 ADC-121他) 採取位置：地表上約3m、約2.3m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ⁸⁵ Kr
	全ベータ放射能	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」(昭和51年改訂) 測定器：低バックグラウンドガスフローカウンタ (日立製作所製 LBC-4202B型) 校正線源：U ₃ O ₈ (海水)
試料	核種濃度	γ線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 測定器：ゲルマニウム半導体検出器 (キャンベラ製 GC3018型他) 多重波高分析器 (キャンベラ製 LYNX DSA MCA型他)
		β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「トリチウム分析法」(平成14年改訂) 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (日立製作所製 LSC-LB7型他)
	放射性ストロンチウム濃度	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂)に定めるイオン交換法 測定器：ローバックグラウンドガスフローカウンタ (日立製作所製 LBC-4202B型) 校正線源： ⁹⁰ Sr
	アメリカシウム、キュリウム及びプルトニウム濃度	α線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「プルトニウム分析法」(平成2年改訂)及び「アメリカシウム分析法」(平成2年)に定めるイオン交換法 測定器：シリコン半導体検出器 (ORTEC製 BU-017-450型他) 多重波高分析器 (ORTEC デジタlmMCA(ソフトウェア)他) 校正線源： ²³⁹ Np、 ²⁴¹ Am及び ²⁴⁴ Cm

環境試料放射能測定方法詳細一覧表

(全β放射能、Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度)

項目	試料名	大気浮遊じん			
		簡易型ダストサンプラー(福島第一原子力発電所から30km圏内)	簡易型ダストサンプラー(比較対象地点)	連続ダストサンプラー	連続ダストモニタ
	核種	Cs-134、Cs-137			
試料採取	採取方法	ハイボリュームエアサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m	ハイボリュームエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m	ダストサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2~3m
	採取容器等	ろ紙(GB-100R)		ろ紙(HE-40T)	
	採取量	約34,500m ³	約1,150m ³	約2,000m ³	約11,000m ³
	前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	・地点毎に採取器具を専用としている。 ・ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浄している。		試料毎に分けて採取している。	
前処理	方法	約1週間毎に回収したろ紙を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	約1週間毎に回収した集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1週間分の集じんろ紙(203×254mm)を47.5φmmの打ち抜き器を用いて12ヶ所計52%を採取する。これを1ヶ月分まとめ週ごとのかたよりが出ないよう順にU8へ収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	50φmmの円の中心から46φmmを打ち抜き84.64%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。これを1ヶ月分まとめU8容器底面に収納する。	灰にした試料全量をU8容器に充填する。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。			
測定	測定装置	Ge半導体検出装置			
	測定試料状態	生			灰
	測定容器	U8容器			
	供試料量	約18,000m ³	約1,150m ³	約1,700m ³	約11,000m ³
	測定時間	12,000秒	80,000秒	15,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.03mBq/m ³	約0.03~0.04mBq/m ³	約0.03~0.1mBq/m ³	約0.005~0.01mBq/m ³
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。			
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施			
	BG測定頻度	月1回 試料測定時間の2倍以上			
備考	平成26年7月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え	平成23年11月:測定開始 平成27年7月:測定時間変更(3,600秒→20,000秒) 平成28年4月:測定時間変更(20,000秒→80,000秒)	平成28年4月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え	平成27年10月:測定時間変更(3,600秒→21,600秒) 平成28年4月:前処理変更(生→灰化)、測定時間変更(21,600秒→80,000秒)	

項目	試料名	大気浮遊じん		大気中水分	
		リアルタイムダストモニタ	リアルタイムダストモニタ(福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内)	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
核種		Cs-134, Cs-137		H-3	
試料採取	採取方法	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地上約2m		シリカゲルを充填したカラムに一定量の大気を通過させ、大気に含まれる水分を捕集する。	
	採取容器等	ろ紙(HE-40T)	ろ紙(:ICAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	シリカゲルを充填した、ガラスカラム(φ55 mm×H400 mm)2本	
	採取量	約2,200m ³	約1,250m ³	約4.5~45m ³	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	試料毎に分けて採取している。		シリカゲルを充填したガラスカラムは地点毎に専用としている。	
前処理	方法	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	減圧蒸留法	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	灰にした試料全量をU8容器に充填する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	シリカゲルに吸着させた水分を全量回収し、十分に混合する。その後、所定量を減圧蒸留する。	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・前処理器具は大気中水分専用器具を使用している。 ・使用するガラス器具類は洗浄後十分に乾燥させたものを使用している。 ・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。 	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置		ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	
	測定試料状態	灰	生	液体シンチレータ混合物	
	測定容器	U8容器		100 mLテフロンバイアル	
	供試料量	約2,200m ³	約1,250m ³	約50.00 mL	
	測定時間	80,000秒		30,000 秒	
	測定下限値	約0.02~0.06mBq/m ³	約0.02~0.06mBq/m ³	約1 mBq/m ² ~10 mBq/m ²	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的Ge半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		試料毎に新品のバイアル瓶を使用している。検出器の汚染確認は、毎測定時にBG測定で実施。	
校正	使用線源	Cd-109, Co-57.60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88		H-3	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(納入時) メーカーにて効率校正 (1年毎) メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。 精密点検時に、密封線源により効率確認。	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒		測定の都度	
備考	平成28年4月:測定開始	平成27年4月:測定開始 ろ紙がPTFE製のため減容不可	平成30年4月:測定開始		

項目	試料名	降下物	
		福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
	核種	Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	建物屋上等に水盤を設置し、1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。	
	採取容器等	大型水盤または小型水盤(SUS製バケツ)	
	採取量	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	採取後、降下物1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	
前処理	方法	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	採取試料全量を充填	
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	測定容器(U-8)は試料毎に新品を使用している。	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾固物	
	測定容器	U8容器	
	供試料量	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	測定時間	80,000秒	
	測定下限値	大型水盤: 約0.1~0.2MBq/km ² 程度 小型水盤: 約0.3~0.7MBq/km ² 程度	
	測定におけるコンタミ防止 とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57、60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	
備考	8地点で大型水盤、4地点で小型水盤を使用している。 平成24年4月: 小型水盤による採取開始 平成27年6月: 比較対照地点の前処理変更(2L分取→2L濃縮) 平成28年4月: 前処理変更(2L分取・2L濃縮→全量蒸発乾固) 比較対照地点の測定時間変更(21,600秒→80,000秒)		

項目	試料名	土壌			
	核種	Cs-134、Cs-137	Sr-90	Pu-238、Pu-239+240	Am-241、Cm-244
試料採取	採取方法	裸未耕土の表層(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所以上、計3kg程度になるまで採取する。			
	採取容器等	採土器			
	採取量	3kg程度			
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採土器は共用で、採取の都度洗浄を行っている。			
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけて、十分に混合する。			
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)			
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	<ul style="list-style-type: none"> ・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料毎に地点専用のSUS製ふるいを使用(比較対照地点) ・試料処理毎に汚染がないことを確認 			
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド ガスフロー計数装置	Si半導体検出装置	
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)	
	供試料量	約100g	約100g	約50g	
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	
	測定下限値	約1~10Bq/kg乾土	約0.2~0.5Bq/kg乾土	約0.01~0.2 Bg/kg乾土	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Sr-90	Np-237、Am-241、Cm-244	Gd-148、Am-241、Cm-244
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒	
備考	平成28年4月:採取方法変更(U8容器→採土器) Cs-134、Cs-137の前処理変更(湿土→乾土)				

項目	試料名	上水			
	核種	Cs-134、Cs-137	H-3	Sr-90	Pu-238、Pu-239+240
試料採取	採取方法	各地点の上水(水道水)を蛇口より容器に採取。			
	採取容器等	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	ポリタンク
	採取量	20L	1L	100L	100L
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	なし	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。			
前処理	方法	加熱濃縮法	減圧蒸留法	イオン交換法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	震災前と変更なし			
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・前処理器具は上水専用または新品を使用もしくは試料毎に十分洗浄して使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認			
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置
	測定試料状態	乾固物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	U8容器	100mLテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)
	供試料量	20L	約50.00mL	100L	100L
	測定時間	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒
	測定下限値	約0.001~0.002Bq/L	約0.3~0.5Bq/L	約0.00015~0.0004Bq/L	0.000003~0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	H-3	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 80,000秒
備考	平成28年4月：前処理変更(生→加熱濃縮法)				

項目	試料名	海水				
	核種	全ベータ放射能	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240
試料採取	採取方法	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて採取する。				
	採取容器等	ポリビン	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	ポリタンク
	採取量	2L	40L	1L	60L	100L
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	なし	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。				
前処理	方法	鉄・バリウム共沈法	リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法	減圧蒸留法	イオン交換法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	震災前と変更なし				
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・採取地点毎の専用容器または新品を使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認				
測定	測定装置	ローバックグラウンドガスフロー検出器	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置
	測定試料状態	鉄共沈物	リンモリブデン酸アンモニウムと二酸化マンガンの混合物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	100mlテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)
	供試料量	1L	20L以上	約50.00mL	50L	100L
	測定時間	3,600秒	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.02Bq/L	約0.001~0.002Bq/L	約0.3~0.5Bq/L	約0.0007~0.01Bq/L	0.000003~0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	U ₃ O ₈	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90	Np-237, Am-241, Cm-244
		放射能測定シリーズ「全ベータ放射能測定法」に基づき使用。	日本アイントープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	測定の都度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
BG測定頻度	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 80,000秒	
備考			平成28年4月:前処理変更(生→リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法)			

項目	試料名	海底土			松葉		
		核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
						Cs-134, Cs-137	
試料採取	採取方法	船上から採泥器にて採取する。			採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。		
	採取容器等	採泥器			ビニール袋		
	採取量	3kg程度			200g程度		
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			なし		
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採泥袋は地点毎に新品を使用し、採泥器は使用毎に洗浄している。			採取地点毎に新品の袋に採取		
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。			95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎機により粉碎		
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取。(インクリメント縮分法)			乾燥後の試料から所定量を均等に分取		
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料処理毎に汚染確認を行い、汚染がないことを確認			・加熱乾燥に用いるバットは十分洗浄して使用 ・粉碎器は、地点専用のものを使用		
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置	Ge半導体検出装置		
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	乾燥物		
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)	U8容器		
	供試料量	約100g	約100g	100L	約50g		
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	80,000秒		
	測定下限値	約0.5~1.5Bq/kg乾土	約0.15~0.25Bq/kg乾土	約0.01~0.2 Bq/L	約0.5~1Bq/kg生		
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88		
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒	月1回 200,000秒		
備考	平成27年7月:比較対照地点の測定時間変更(3,600秒→10,800秒) 平成28年4月:前処理変更(生→乾燥) マニュアルに示す減容処理(灰化)は実施していない。除染等により松の木が減少しており、継続的に採取していくには、1回の採取量を抑える必要がある。また、松葉はそのまま測定しても検出可能である地点が多いことから、濃縮度を小さくしても支障ないと考えた。これらの理由から、灰までの濃縮は行わず、乾燥にとどめた。						

項目	試料名	ほんだわら	
	核種	Cs-134、Cs-137	Sr-90
試料採取	採取方法	採取地点付近に生息しているほんだわらの葉茎部を採取する。	
	採取容器等	ビニール袋	
	採取量	9kg程度	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取地点毎に専用の器具を使用	
前処理	方法	<ul style="list-style-type: none"> 水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕器により粉砕 	<ul style="list-style-type: none"> 水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕器により粉砕 乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	乾燥後の試料から所定量を均等に分取	灰試料から所定量を均等に分取
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	<ul style="list-style-type: none"> 加熱乾燥に用いるバットは十分に洗浄して使用。 粉砕器は、地点専用のものを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> 加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 粉砕器は、地点専用のものを使用。
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー検出器
	測定試料状態	乾燥物	鉄共沈物
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)
	供試料量	約100g	約30~40g(生試料1kg相当の灰試料量)
	測定時間	80,000秒	3,600秒
	測定下限値	約0.1~0.2Bq/kg生	約0.1~0.2Bq/kg生
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Sr-90
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度
備考			

第 4 測定結果

4-1 空間放射線

4-1-1 空間線量率

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域（以下「1F 近傍」という。）で 8 地点、福島第一原子力発電所から概ね半径 5km 以上 30km 未満及び福島第二原子力発電所から概ね半径 30km 未満の地域（以下「1F・2F 周辺」という。）で 31 地点、福島第一及び第二原子力発電所からそれぞれ 30km 以上離れた地域（以下「比較対照地点」という。）で 3 地点、計 42 地点で空間線量率を常時測定しました。各地点の測定結果は以下のとおりです。詳細な測定値は 29～31、46 ページを参照。

(1) 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という）の影響により事故前の月間平均値を上回っています。全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。事故直後の最大値と今期の測定値の最大値を比較すると、減少率の高い順から 1F・2F 周辺、1F 近傍、比較対象地点でした。今期の測定値は、いずれの月も数値の高い順から 1F 近傍、1F・2F 周辺、比較対照地点でした。

各地点の空間線量率の月間平均値

(単位：nGy/h)

測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値(*1)		
		4 月	5 月	6 月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	371～5,060	364～4,960	355～4,800	374～	910～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/35 に減少			18,341	176,000	
1F・2F 周辺	31	45～1,020	45～1,050	45～1,010	45～	117～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/56 に減少			2,547	58,454	
比較対 照地点	3	61～123	61～124	61～123	62～	181～	39～42
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/30 に減少			220	3,716	

(注) *1 「過去の月間平均値」の期間（次項以降も同じ）

H26～：平成 26 年度から前四半期まで。

事故直後：事故後（平成 23 年 3 月 11 日以降）から平成 25 年度まで。

事故前：平成 13 年度から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

なお、測定地点数は年度により異なる。

(2) 1時間値の変動状況

各測定地点における1時間値は、降雨等の影響による変動があるものの、原子力発電所等に由来する変動はありませんでした。

なお、1時間値は降雨による影響により、およそ300nGy/h以下の低線量地域では自然の放射性物質が地表付近に降下するため、一時的に空間線量率が上昇し、およそ300nGy/hを超える高線量地域では雨水による遮へい効果により一時的に低下するという傾向が見られます。

各地点の空間線量率の最大値（1時間値）（単位：nGy/h）

測定 エリア	測定 地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
		4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	381～5,190	376～5,080	369～5,050	18,578	1,018,174	157
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/196に減少					
1F・2F 周辺	31	60～1,080	65～1,100	77～1,070	2,674	1,591,066	
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/1446に減少					
比較対 照地点	3	74～136	71～137	84～151	232	9,956	88
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/66に減少					

4-1-2 空間積算線量

1F近傍で7地点、1F・2F周辺で57地点、計64地点で空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は32～34ページを参照。

90日換算値は、事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の90日換算値（単位：mGy/90日）

測定 エリア	測定 地点数	測定値	過去の測定値		
		(平成31年4月4日～ 令和元年7月4日)	H26～	事故直後	事故前(*1)
1F近傍	7	0.85～19	0.86～45	2.38～137.79	0.10～0.14
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/7に減少			
1F・2F周辺	57	0.16～14	0.16～31	0.18～35.84	
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/2に減少			

(注) *1 事故前：事故前から測定していた20地点における平成15年度第1四半期から平成22年度第3四半期まで。

4-2 環境試料

4-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

1F近傍で3地点、1F・2F周辺で14地点、計17地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。詳細な測定値は35～36ページを参照。

(1) 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、原子力発電所からの距離に関係なく、いずれの月も事故前の月間平均値の範囲内でした。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値 (単位: Bq/m³)

測定項目	測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値		
			4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
全 アルファ 放射能	1F 近傍	3	0.015～ 0.022	0.019～ 0.033	0.011～ 0.016	0.004～ 0.059	0.007～ 0.039	0.007～ 0.076
	1F・2F 周辺	14	0.011～ 0.048	0.016～ 0.055	0.009～ 0.033	0.003～ 0.088	0.009～ 0.046	
全 ベータ 放射能	1F 近傍	3	0.035～ 0.094	0.042～ 0.12	0.028～ 0.070	0.022～ 0.16	0.025～ 0.22	0.018～ 0.12
	1F・2F 周辺	14	0.035～ 0.083	0.040～ 0.098	0.030～ 0.066	0.017～ 0.13	0.030～ 2.0	

(2) 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は事故前の最大値を下回りました。また、全アルファ・全ベータ放射能に良い相関が見られていることから、変動の要因は自然放射能の影響によるものと考えられました。なお、巻末のグラフ集(57～65ページ)に相関図を示しております。

各地点の大気浮遊じんの最大値 (単位: Bq/m³)

測定項目	測定 エリア	測定 地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
			4月	5月	6月	H26～	事故直後	事故前
全 アルファ 放射能	1F 近傍	3	0.089～ 0.15	0.11～ 0.20	0.070～ 0.16	0.21	0.19	0.58
	1F・2F 周辺	14	0.064～ 0.31	0.069～ 0.28	0.063～ 0.20	0.41	0.34	
全 ベータ 放射能	1F 近傍	3	0.20～ 0.52	0.19～ 0.62	0.13～ 0.49	0.53	1.3	0.78
	1F・2F 周辺	14	0.12～ 0.71	0.12～ 0.53	0.11～ 0.36	0.53	54	

4-2-2 環境試料の核種濃度（ガンマ線放出核種）

今期に測定した環境試料は、大気浮遊じんが 49 地点 147 試料、降下物が 12 地点 36 試料、土壌 22 地点 22 試料、上水が 13 地点 13 試料、海水が 8 地点 20 試料、海底土が 8 地点 8 試料、松葉が 20 地点 20 試料の 7 品目で合計 266 試料でした。詳細な測定値は 37～40、42～45、47、49～50 ページを参照。

全 7 品目の 87 試料からセシウム-134 が、全 7 品目の 203 試料からセシウム-137 が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。

上水の一部からセシウム-134 及びセシウム-137 が検出されていますが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である 10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
大気浮遊じん (mBq/m ³)	Cs-134	1F 近傍	7	ND～0.14	ND～1.8	0.072～38	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～0.015	ND～0.65	ND～1,100	
		比較対照地点	7	ND	ND～0.13	ND～8.2	
	Cs-137	1F 近傍	7	0.10～1.8	ND～5.2	0.14～39	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～0.18	ND～2.1	ND～990	
		比較対照地点	7	ND～0.050	ND～0.45	ND～10	
降下物 (Bq/m ²) (MBq/km ²)	Co-60	1F 近傍	2	ND	ND～0.54	ND	ND
		1F・2F 周辺	8	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	
	Sb-125	1F 近傍	2	ND	ND～2.0	ND	ND
		1F・2F 周辺	8	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	
	Cs-134	1F 近傍	2	3.3～49	ND～1,200	76～5,000,000	ND
		1F・2F 周辺	8	ND～6.0	ND～110	ND～940,000	
		比較対照地点	2	ND～0.99	ND～180	ND～140,000	
	Cs-137	1F 近傍	2	41～700	18～4,300	170～5,600,000	ND～0.15
		1F・2F 周辺	8	0.89～73	ND～340	ND～1,000,000	
		比較対照地点	2	0.22～12	ND～620	ND～150,000	

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
土 壤 (Bq/kg 乾 (事故直後及び H26～H27 は Bq/kg 湿))	Co-60	1F 近傍	2	ND～2.2	ND～5.3	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND～1.9	ND	
		比較対照地点	7	ND	ND	ND	ND
	Sb-125	1F 近傍	2	ND	ND～130	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND	ND	
		比較対照地点	7	ND～12	ND～28	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	2,500～20,000	3,900～49,000	2,700～230,000	ND
		1F・2F 周辺	13	10～2,200	3.1～7,800	32～12,000	
		比較対照地点	7	2.9～270	5.0～690	14～9,200	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	32,000～260,000	20,000～330,000	3,100～310,000	ND～16
		1F・2F 周辺	13	130～28,000	27～52,000	75～26,000	
		比較対照地点	7	59～3,600	37～4,500	18～14,000	ND～30
上 水 (Bq/L)	Cs-134	1F 近傍	1	ND	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.003	ND～0.062	ND～0.17	
		比較対照地点	1	ND	ND～0.002	ND	ND
	Cs-137	1F 近傍	1	0.002	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.028	ND～0.18	ND～0.29	
比較対照地点	1	0.005	ND～0.011	ND	ND		
海 水 (Bq/L)	Cs-134	1F 放取水口	3	ND～0.006	ND～0.35	ND～2.4	ND
		1F 沖合	3	ND	ND～0.067	ND～0.094	
		2F 放水口	2	ND	ND～0.012	ND～0.20	
		松川浦	1	—	ND～0.005	ND	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	0.005～0.066	ND～1.1	ND～5.0	ND～ 0.003
		1F 沖合	3	0.005～0.012	ND～0.31	ND～0.19	
		2F 放水口	2	0.014～0.016	ND～0.12	0.12～0.42	
		松川浦	1	—	ND～0.028	ND	

(注)「—」は今期測定対象外。

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
海底土 (Bq/kg 乾)	Mn-54	1F 放取水口	3	ND	ND～1.1	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND～0.62	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND
	Co-60	1F 放取水口	3	ND	ND～1.0	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 放取水口	3	12～26	14～320	120～450	ND
		1F 沖合	3	1.8～2.5	ND～130	25～72	
		2F 放水口	2	6.3～7.0	5.0～68	47～230	
		松川浦	1	—	ND～4.4	1.3	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	160～340	140～870	230～1,000	ND～ 0.97
		1F 沖合	3	20～36	18～630	61～170	
		2F 放水口	2	87～90	55～200	100～470	
		松川浦	1	—	1.8～13	2.6	ND～2.3
松葉 (Bq/kg 生)	I-131	1F 近傍	2	ND	ND	ND～380	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND	ND	ND
		比較対照地点	5	ND	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	9.6～47	9.0～1,200	740～210,000	ND
		1F・2F 周辺	13	ND～16	ND～280	ND～61,000	
		比較対照地点	5	ND	ND～91	ND～33,000	—
	Cs-137	1F 近傍	2	130～620	99～6,100	1,900～230,000	ND～1.2
		1F・2F 周辺	13	0.72～190	ND～910	ND～68,000	
		比較対照地点	5	ND～5.5	ND～290	ND～52,000	—

(注)「—」は今期測定対象外。

4-2-3 環境試料の核種濃度 (ベータ線放出核種)

大気中水分 6 地点 18 試料、上水 13 地点 13 試料、海水 8 地点 20 試料の合計 51 試料について、トリチウムを調査した結果、大気中水分 6 地点 17 試料、上水 6 地点 6 試料から検出されました。詳細な測定値は 41、44、48、50 ページを参照。

トリチウムは、大気中水分の大熊町夫沢、双葉町郡山の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、前年度の測定値の範囲内でした。上水のトリチウムの測定値は事故前の測定値の範囲内でした。

土壌 22 地点 22 試料、海水 8 地点 20 試料、海底土 8 地点 8 試料について、ストロンチウム-90 を調査した結果、海水 8 地点 19 試料、海底土 2 地点 2 試料から検出されました。詳細な測定値は 43～44、50 ページを参照。

ストロンチウム-90 は、海水の第一(発)取水口付近(港湾出入口の外側)の地点で事故前の測定値

の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前年度の測定値の範囲内でした。海底土のストロンチウム-90の測定値は第一(発)南放水口付近、第二(発)南放水口の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、前年度の測定値の範囲内でした。

環境試料のベータ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～(*2)	事故直後	事故前
大気中水分 (mBq/m ³)	H-3	1F近傍	3	5.3～59	1.3～64	—	ND～23
		1F・2F周辺	2	3.6～10	ND～10	—	ND～14
		比較対照地点	1	ND～5.0	ND～21	ND～41	ND～12
土壌 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F近傍	2	25～45	19～61	15～81	ND～3.5
		1F・2F周辺	13	0.32～6.2	ND～17	ND～14	
		比較対照地点	7	ND～7.0	ND～16	ND～32	1.8～4.3
上水 (Bq/L)	H-3	1F近傍	1	0.48	—	—	ND～1.2
		1F・2F周辺	11	ND～0.51	ND～0.94	ND～0.96	
		比較対照地点	1	ND	ND～0.85	ND～1.4	ND～1.3
	Sr-90	1F近傍	—	—	—	—	0.001～0.002
		1F・2F周辺	11	—	ND～0.002	ND～0.002	
		比較対照地点	1	—	0.001～0.0015	0.001～0.002	0.001～0.002
海水 (Bq/L)	H-3	1F放水口	3	ND	ND～2.6	ND～6.2	ND～2.9
		1F沖合	3	ND	ND～0.91	ND～0.58	
		2F放水口	2	ND	ND～0.86	ND～0.56	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND～0.46
	Sr-90	1F放水口	3	0.0005～0.0027	ND～0.76	0.005～2.9	ND～0.002
		1F沖合	3	ND～0.0010	ND～0.031	0.001～0.26	
		2F放水口	2	0.0008～0.0011	0.0008～0.003	0.033～0.034	
		松川浦	1	—	0.001	0.001	0.001～0.002
海底土 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F放水口	3	ND～0.22	ND～4.6	ND～1.2	ND
		1F沖合	3	ND	ND～0.71	ND～0.19	
		2F放水口	2	ND～0.32	ND～0.32	ND～0.21	
		松川浦	1	—	ND～0.21	ND	ND～0.02

(注)「—」は今期測定対象外。

*2 大気中水分の1F近傍、1F・2F周辺は平成30年度から再開。

4-2-4 環境試料の核種濃度 (アルファ線放出核種)

土壌22地点22試料、海水8地点20試料、海底土8地点8試料について、プルトニウム-238及びプルトニウム-239+240を調査した結果、土壌7地点7試料からプルトニウム-238は検出され、土壌16地点16試料、海水6地点7試料及び海底土全試料からプルトニウム-239+240が検出されました。詳細な測定値は43～44、50ページを参照。

プルトニウム-238は、大熊町夫沢、双葉町郡山の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、

平成 26 年度以降の測定値の範囲内でした。

プルトニウム 239+240 は、土壌の浪江町幾世橋及び海水の第一(発)南放水口付近の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、平成 26 年度以降の測定値の範囲内でした。海底土は事故前の測定値の範囲内でした。

土壌 16 地点 16 試料について、アメリカシウム-241、キュリウム-244 を調査した結果、土壌 8 地点 8 試料からアメリカシウム-241 が検出され、土壌 2 地点 2 試料からキュリウム-244 が検出されました。今後の推移を注視していきます。

環境試料のアルファ線放出核種濃度

試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
土 壌 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 近傍	2	0.04～0.05	ND～0.09	ND～0.03	ND～0.03
		1F・2F 周辺	13	ND～0.03	ND～0.05	ND～0.05	
		比較対照地点	7	ND～0.02	ND～0.03	ND～0.18	ND～0.08
	Pu-239+240	1F 近傍	2	0.07～0.35	0.05～0.37	0.20～0.34	ND～0.44
		1F・2F 周辺	13	ND～0.54	ND～0.97	ND～0.66	
		比較対照地点	7	ND～0.76	ND～1.2	ND～4.8	ND～2.6
	Am-241	1F 近傍	2	0.04～0.16	0.02～0.18	0.02～0.16	—
		1F・2F 周辺	13	ND～0.19	ND～0.44	ND～0.25	
		比較対照地点	1	0.11	0.06～0.41	0.11	—
	Cm-244	1F 近傍	2	ND～0.02	ND～0.02	ND	—
		1F・2F 周辺	13	ND～0.03	ND	ND	
		比較対照地点	1	ND	ND	ND	—
上 水 (mBq/L)	Pu-238	1F 近傍	—	—	—	—	—
		1F・2F 周辺	11	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	—
	Pu-239+240	1F 近傍	—	—	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	ND
海 水 (mBq/L)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND～0.010	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	—
	Pu-239+240	1F 放取水口	3	ND～0.015	ND～0.016	ND～0.014	ND～0.013
		1F 沖合	3	ND～0.010	ND～0.009	ND～0.010	
		2F 放水口	2	ND～0.008	ND～0.020	ND～0.011	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND～0.012

(注)「—」は今期測定対象外。

試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
海底土 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND～0.01	ND～0.02	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	
	Pu- 239+240	1F 放取水口	3	0.22～0.30	0.09～0.43	0.08～0.32	0.15～0.61
		1F 沖合	3	0.37～0.52	0.21～0.61	0.33～0.52	
		2F 放水口	2	0.22～0.31	0.14～0.31	0.21～0.25	
		松川浦	1	—	0.18～0.31	0.20	

(注)「—」は今期測定対象外。

第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覽表

5-1 空間放射線

5-1-1 空間線量率

単位:線量率:μSv/h、測定時間:h
上段:平均値(下段):最大値

No.	測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	いわき市 小川	54 (62)	720	49 (65)	744	49 (77)	720																		
2	いわき市 久之浜	77 (88)	720	76 (85)	744	75 (96)	720																		
3	いわき市 下補光	54 (63)	720	54 (66)	744	54 (86)	720																		
4	いわき市 川前	66 (73)	720	65 (81)	744	65 (103)	720																		
5	田村市 都路馬洗戸	83 (97)	720	84 (96)	744	83 (115)	720																		
6	広野町 二ツ沼	85 (107)	720	84 (102)	744	84 (118)	720																		
7	広野町 小滝平	83 (92)	720	82 (94)	744	81 (113)	720																		
8	楡葉町 山田岡	65 (77)	720	65 (79)	744	65 (99)	720																		
9	楡葉町 木戸ダム	98 (106)	720	98 (123)	744	97 (131)	720																		
10	楡葉町 繁岡	183 (196)	720	180 (198)	744	177 (205)	720																		
11	楡葉町 松館	167 (176)	720	163 (183)	744	162 (191)	720																		
12	楡葉町 波倉	234 (244)	720	230 (245)	744	228 (249)	720																		

No.	測定年月 測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3			
		線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	
13	富岡町 上郡山	256 (265)	720	250 (263)	744	243 (261)	720																				
14	富岡町 下郡山	179 (189)	720	172 (185)	744	167 (198)	720																				
15	富岡町 深谷*1	145 (162)	720	143 (164)	744	141 (177)	720																				
16	富岡町 富岡	149 (160)	720	148 (164)	744	147 (175)	720																				
17	富岡町 夜の森	315 (323)	720	313 (323)	744	306 (323)	720																				
18	川内村 下川内	131 (140)	720	132 (145)	744	129 (157)	720																				
19	大熊町 向畑	1,210 (1260)	720	1,190 (1230)	744	1,150 (1,220)	720																				
20	大熊町 熊川*1	1,690 (1800)	720	1,700 (1830)	744	1,680 (1,830)	720																				
21	大熊町 南台*2	5,060 (5190)	720	4,960 (5080)	744	4,800 (5,050)	720																				
22	大熊町 大野	1,040 (1070)	720	1,030 (1050)	744	1,010 (1,050)	720																				
23	大熊町 夫沢*2	4,960 (5130)	720	4,840 (4970)	744	4,590 (4,890)	720																				
24	双葉町 山田*2	4,550 (4800)	720	4,450 (4690)	744	4,250 (4,660)	720																				
25	双葉町 郡山	371 (381)	720	364 (376)	744	355 (369)	720																				
26	双葉町 新山	1,140 (1180)	720	1,120 (1170)	744	1,060 (1,140)	720																				
27	双葉町 上羽	499 (516)	720	488 (502)	744	471 (493)	720																				

No.	測定年月 測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3	
		線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間	線量 率	測定 時間
28	浪江町 請戸 *1	110 (126)	720	111 (136)	744	110 (137)	720																		
29	浪江町 柳盛 *1	76 (91)	720	76 (95)	744	76 (105)	720																		
30	浪江町 浪江	141 (149)	720	140 (159)	744	138 (155)	720																		
31	浪江町 幾世橋	92 (102)	720	91 (108)	744	90 (112)	720																		
32	浪江町 大柿ダム	699 (720)	720	705 (725)	744	698 (720)	720																		
33	浪江町 南津島	1,020 (1080)	720	1,050 (1100)	744	1,010 (1,070)	720																		
34	葛尾村 夏湯	135 (145)	720	136 (154)	744	133 (162)	720																		
35	南相馬市 泉沢	113 (125)	720	113 (133)	744	110 (136)	720																		
36	南相馬市 横川ダム	219 (227)	720	220 (239)	744	215 (229)	720																		
37	南相馬市 蘆浜	45 (60)	720	45 (69)	744	45 (80)	720																		
38	飯館村 伊丹沢	151 (164)	720	153 (175)	744	149 (175)	720																		
39	川俣町 木戸屋	131 (143)	720	132 (153)	744	128 (154)	720																		

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 *1 可搬型モニタリングポストによる測定

5-1-2 空間積算線量

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定項目	H31. 4. 4 ~R1. 7. 4		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
			積算線量	測定日数				
1	いわき市 石	いしもり	0.20	(0.20)	91			
2	いわき市 四倉	よつくら	0.25	(0.24)	91			
3	いわき市 大野	おおの	0.21	(0.21)	91			
4	いわき市 稲岡	いぬおか	0.23	(0.23)	91			
5	いわき市 大	おおひ	0.22	(0.22)	91			
6	いわき市 末	すえつ	0.27	(0.27)	91			
7	いわき市 上小川	かみおがわ	0.32	(0.32)	91			
8	いわき市 志田	しだ	0.35	(0.35)	91			
9	いわき市 小白井	おしろい	0.20	(0.20)	91			
10	田村市 場	ば	0.33	(0.32)	91			
11	田村市 古	ふる	0.24	(0.24)	91			
12	田村市 岩井	いわい	0.20	(0.20)	91			
13	広野町 下	した	0.21	(0.20)	91			
14	広野町 平	ひら	0.25	(0.25)	91			
15	檜葉町 山	やま	0.21	(0.21)	91			
16	檜葉町 乙	おつと	0.25	(0.25)	91			
17	檜葉町 井	い	0.27	(0.27)	91			
18	檜葉町 上	かみ	0.38	(0.37)	91			
19	富岡町 太	おお	0.50	(0.49)	91			
20	富岡町 赤	あか	0.41	(0.41)	91			
21	富岡町 小	おら	3.2	(3.2)	91			
22	富岡町 夜	よの	0.63	(0.62)	91			
23	富岡町 上	かみ	0.59	(0.59)	91			
24	川内村 三	みつ	0.57	(0.56)	91			
25	川内村 貝	かい	0.85	(0.84)	91			

(単位 mGy)

No.	測定地点名	H31. 4. 4 ~R1. 7. 4		測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量		
		測定期間								積算線量	測定 日数
		測定項目									
26	川内村 五枚沢	0.26	(0.26)	91							
27	川内村 上川内	0.21	(0.21)	91							
28	大熊町 大川原	0.36	(0.36)	91							
29	大熊町 旭ヶ丘	0.42	(0.41)	91							
30	大熊町 野上	1.5	(1.5)	91							
31	大熊町 熊川	6.4	(6.4)	91							
32	大熊町 大野	7.7	(7.6)	91							
33	大熊町 夫沢	19	(19)	91							
34	大熊町 湯の神	2.0	(2.0)	91							
35	大熊町 長者原	5.8	(5.7)	91							
36	双葉町 清戸迫	0.94*	(0.93*)	91							
37	双葉町 郡山	0.86	(0.85)	91							
38	双葉町 長塚	1.2	(1.2)	91							
39	浪江町 井手	14	(14)	91							
40	浪江町 請戸	0.29	(0.29)	91							
41	浪江町 小野田	0.84*	(0.83*)	91							
42	浪江町 幾世橋	0.31	(0.31)	91							
43	浪江町 苧宿	0.65	(0.64)	91							
44	浪江町 鼠曾根	4.6	(4.6)	91							
45	浪江町 津島	3.1	(3.1)	91							
46	葛尾村 大放	0.39	(0.38)	91							
47	葛尾村 落合	0.48	(0.47)	91							
48	葛尾村 野行	2.6	(2.6)	91							
49	南相馬市 浦尻	0.24	(0.23)	91							
50	南相馬市 耳谷	0.27	(0.27)	91							
51	南相馬市 川房	1.0	(1.0)	91							

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定期間 測定項目	H31. 4. 4 ~R1. 7. 4					
			積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数	積算線量	測定 日数
52	南相馬市 関ヶ場		0.50 (0.50)	91				
53	南相馬市 高		0.23 (0.23)	91				
54	南相馬市 大木戸		0.18 (0.18)	91				
55	南相馬市 萱浜		0.16 (0.16)	91				
56	南相馬市 犬原		0.36 (0.36)	91				
57	南相馬市 川子		0.25 (0.25)	91				
58	飯館村 蔵平		0.81 (0.80)	91				
59	飯館村 長泥		2.4* (2.4*)	91				
60	飯館村 飯桶		0.57 (0.56)	91				
61	飯館村 白石		1.0 (1.0)	91				
62	飯館村 草野		0.88 (0.88)	91				
63	川俣町 山木屋坂下		0.87 (0.86)	91				
64	川俣町 山木屋		0.32 (0.32)	91				

注) 1 () 内は90日換算値

2 No. の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

* 周辺の除染作業による低下

5-2-1 大気浮遊じん中の全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位:放射能濃度:Bq/m³ 測定時間:h
上段:平均値(下段):最大値

No.	測定地点名	測定項目	R1.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
			測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	
1	いわき市 <small>いわき市</small> 小 <small>小</small> 川 <small>川</small>	全アルファ 放射能	0.040 (0.25)	720	0.039 (0.19)	744	0.025 (0.12)	660																			
		全ベータ 放射能	0.065 (0.33)	720	0.063 (0.26)	744	0.044 (0.17)	660																			
2	田村市 <small>田村市</small> 都路 <small>都路</small> 馬場 <small>馬場</small> 戸 <small>戸</small>	全アルファ 放射能	0.013 (0.072)	720	0.016 (0.069)	744	0.010 (0.063)	648																			
		全ベータ 放射能	0.035 (0.12)	720	0.040 (0.12)	744	0.030 (0.11)	648																			
3	広野町 <small>広野町</small> 小 <small>小</small> 滝 <small>滝</small> 川 <small>川</small>	全アルファ 放射能	0.014 (0.064)	720	0.017 (0.078)	684	0.016 (0.092)	720																			
		全ベータ 放射能	0.038 (0.12)	720	0.042 (0.14)	684	0.039 (0.14)	720																			
4	楢葉町 <small>楢葉町</small> 米 <small>米</small> 戸 <small>戸</small> ダ <small>ダ</small> ム <small>ム</small>	全アルファ 放射能	0.022 (0.11)	720	0.026 (0.11)	744	0.016 (0.085)	660																			
		全ベータ 放射能	0.044 (0.16)	720	0.051 (0.16)	744	0.036 (0.13)	660																			
5	楢葉町 <small>楢葉町</small> 繁 <small>繁</small> ヶ <small>ヶ</small> 池 <small>池</small>	全アルファ 放射能	0.021 (0.23)	720	0.026 (0.16)	744	0.012 (0.10)	720																			
		全ベータ 放射能	0.083 (0.71)	720	0.098 (0.53)	744	0.052 (0.36)	720																			
6	富岡町 <small>富岡町</small> 電 <small>電</small> 小 <small>小</small> 池 <small>池</small>	全アルファ 放射能	0.021 (0.12)	720	0.024 (0.13)	744	0.014 (0.12)	720																			
		全ベータ 放射能	0.079 (0.38)	720	0.086 (0.40)	744	0.057 (0.35)	720																			
7	川内村 <small>川内村</small> 下 <small>下</small> 川 <small>川</small> 内 <small>内</small> 野 <small>野</small>	全アルファ 放射能	0.028 (0.16)	696	0.033 (0.18)	744	0.024 (0.13)	660																			
		全ベータ 放射能	0.052 (0.22)	696	0.058 (0.24)	744	0.046 (0.18)	660																			
8	大野町 <small>大野町</small> 大 <small>大</small> 野 <small>野</small>	全アルファ 放射能	0.017 (0.089)	720	0.019 (0.11)	744	0.012 (0.070)	720																			
		全ベータ 放射能	0.073 (0.31)	720	0.081 (0.36)	744	0.058 (0.23)	720																			

No.	測定地点名	測定項目	測定年月																							
			R1.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3	
			測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間
9	大瀬町 夫 <small>う</small> と <small>と</small> と <small>と</small> 次	全アルファ 放射能	0.022 (0.15)	720	0.033 (0.20)	744	0.016 (0.16)	720																		
		全ベータ 放射能	0.094 (0.52)	720	0.12 (0.62)	744	0.070 (0.49)	720																		
10	双葉町 お <small>お</small> り <small>り</small> ヶ <small>ヶ</small> 山	全アルファ 放射能	0.015 (0.13)	720	0.020 (0.12)	744	0.011 (0.078)	672																		
		全ベータ 放射能	0.035 (0.20)	720	0.042 (0.19)	744	0.028 (0.13)	672																		
11	浪江町 幾 <small>幾</small> 上 <small>上</small> 世 <small>世</small> 桶	全アルファ 放射能	0.024 (0.16)	720	0.032 (0.22)	744	0.020 (0.13)	660																		
		全ベータ 放射能	0.046 (0.23)	720	0.054 (0.27)	744	0.038 (0.18)	660																		
12	浪江町 大 <small>大</small> 船 <small>船</small> ダ <small>ダ</small> ム	全アルファ 放射能	0.034 (0.20)	720	0.039 (0.17)	732	0.027 (0.12)	648																		
		全ベータ 放射能	0.079 (0.35)	720	0.087 (0.30)	732	0.066 (0.20)	648																		
13	葛尾村 夏 <small>夏</small> の <small>の</small> 湯	全アルファ 放射能	0.048 (0.31)	720	0.055 (0.28)	744	0.033 (0.20)	660																		
		全ベータ 放射能	0.082 (0.43)	720	0.091 (0.38)	744	0.060 (0.28)	660																		
14	南相馬市 イ <small>イ</small> サ <small>サ</small> キ <small>キ</small> 次	全アルファ 放射能	0.019 (0.11)	720	0.022 (0.14)	732	0.013 (0.087)	720																		
		全ベータ 放射能	0.042 (0.17)	720	0.045 (0.21)	732	0.032 (0.13)	720																		
15	南相馬市 置 <small>置</small> い <small>い</small> ば <small>ば</small> 浜	全アルファ 放射能	0.019 (0.12)	720	0.022 (0.14)	744	0.012 (0.089)	720																		
		全ベータ 放射能	0.079 (0.40)	720	0.088 (0.47)	744	0.055 (0.31)	720																		
16	飯沼村 伊 <small>伊</small> た <small>た</small> 丹 <small>丹</small> 次	全アルファ 放射能	0.011 (0.10)	720	0.017 (0.12)	744	0.009 (0.074)	720																		
		全ベータ 放射能	0.060 (0.32)	720	0.076 (0.35)	744	0.053 (0.23)	720																		
17	川俣町 山 <small>山</small> 本 <small>本</small> 屋	全アルファ 放射能	0.014 (0.15)	720	0.022 (0.16)	744	0.011 (0.10)	720																		
		全ベータ 放射能	0.071 (0.44)	720	0.095 (0.48)	744	0.062 (0.31)	720																		

注) 1 No.の欄内は東京電力株式会社福島第一原子力発電所からの放射性降下物の影響

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
1	いわき市 おがわ 小川 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
2	みやこほろまふらんど 都路馬洗戸 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
3	おとせ 小滝平 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND
4	きど 木戸ダム (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
5	しげおか 繁岡 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.031	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
6	とみおか 富岡 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	ND
7	しちのかづら 下川内 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND
8	おおの 大野 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	0.12	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	0.27	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	0.13	ND	ND
9	とよとせ 大次 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	1.8	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.062	0.78	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.028	0.38	ND	ND
10	こおりのやま 郡山 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.037	0.47	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.048	0.70	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.082	1.1	ND	ND
11	きよはし 幾世橋 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.064	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.054	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.031	ND	ND
12	おおたけ 大柵ダム (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	0.18	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	0.12	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.072	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																	
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce						
13	葛尾村 (連続ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
14	南相馬市 (連続ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
15	南相馬市 (連続ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
16	飯館村 (連続ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
17	川俣町 (連続ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
18	いわき市 (リアルタイム ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
19	いわき市 (リアルタイム ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
20	いわき市 (リアルタイム ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
21	大熊町 (リアルタイム ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
22	双葉町 (リアルタイム ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
23	双葉町 (リアルタイム ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
24	双葉町 (リアルタイム ダストモニタ)	H31.4.1 ~ R1.5.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.1 ~ R1.6.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.1 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce				
25	浪江町 南津島 (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND	ND	
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.033	ND	ND
26	南相馬市 横川ダム (リアルタイム ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.064	ND	ND	
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.097	ND	ND	
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.048	ND	ND	
27	広野町 二ツ沼 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
28	檜葉町 山田岡 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.046	ND	ND
29	檜葉町 松館 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
30	檜葉町 波倉 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
31	富岡町 上郡山 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
32	富岡町 下郡山 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.071	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.049	ND	ND
33	富岡町 夜の森 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.088	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	ND
34	大熊町 南台 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.52	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.56	ND	ND	ND
35	浪江町 浪江 (ダストサンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.045	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.053	ND	ND	ND
36	田村市 滝根 (簡易型ダスト サンプラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
37	田村市 (^{スルパ} 船引 簡易型ダスト サンブラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 012	ND	ND	
38	田村市 (^{カキ} 上移 簡易型ダスト サンブラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 008	ND	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 015	ND	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
39	川内村 (^{カキ} 上川内 簡易型ダスト サンブラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 015	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 026	ND	ND	ND
40	南相馬市 (^{カキ} 馬場 簡易型ダスト サンブラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 062	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 079	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 067	ND	ND	ND
41	南相馬市 (^{カキ} 大木戸 簡易型ダスト サンブラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 038	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 071	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 045	ND	ND	ND
42	南相馬市 (^{カキ} 榎原 簡易型ダスト サンブラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 022	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 036	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 037	ND	ND	ND

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

3 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

4 ¹³⁴Cs及び¹³⁷Csの検出限界値：連続ダストモニタはおおむね0.01 mBq/m³以下、リアルタイムダストモニタはおおむね0.06 mBq/m³以下、ダストサンブラーはおおむね0.1 mBq/m³以下、簡易型ダストサンブラーはおおむね0.03 mBq/m³以下、簡易型ダストサンブラー（1日集じん）はおおむね0.05 mBq/m³以下である。

5-2-3 大気中水分のトリチウム濃度

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	檜葉町 しげ おか 岡	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5.2	0.73	大気中水分量 (g/m ³) 7.1
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	4.6	0.44	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	10	0.73	14
2	富岡町 とみ おか 岡	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	3.6	0.52	6.9
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	6.9	0.67	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	10	0.71	14
3	大熊町 おお の 野	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5.3	0.75	7.1
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	10	0.98	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	12	0.80	15
4	大熊町 おと さ わ 沢	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	42	6.0	6.9
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	31	3.0	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	59	5.7	10
5	双葉町 ふたば やま 山	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	26	3.5	7.5
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	49	4.6	11
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	46	2.7	17

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

3 検出限界値はおおむね5mBq/m³以下

5-2-4 降下物の核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²))												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁰ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	
1	いわき市 ひまのはま 久之浜	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	1.3	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.058	0.89	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	3.9	ND
2	田村市 みやこし 都路	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.45	5.6	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.49	6.7	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	2.9	ND
3	富岡町 とみおか 富岡	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.89	11	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.57	7.2	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.41	5.0	ND
4	大熊町 おおくま 大野	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	34	420	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14	180	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.3	41	ND	
5	双葉町 ふたば 郡山	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14	170	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17	220	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	700	ND	
6	南相馬市 みなま 菅浜	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.50	5.8	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	5.5	ND	
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	2.6	ND	
7	浪江町 なげ 浪江	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	25	ND	
		R1. 5. 8 ~ R1. 6. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.5	18	ND	
		R1. 6. 4 ~ R1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.7	ND	
8	浪江町 つし 津島	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.0	73	ND	
		R1. 5. 8 ~ R1. 6. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.0	42	ND	
		R1. 6. 4 ~ R1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.9	40	ND	
9	葛尾村 かつらお 落合	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.9	ND	
		R1. 5. 8 ~ R1. 6. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.64	6.3	ND	
		R1. 6. 4 ~ R1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	
10	川俣町 かまき 山本屋	H31. 4. 2 ~ R1. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.6	48	ND	
		R1. 5. 8 ~ R1. 6. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.7	47	ND	
		R1. 6. 4 ~ R1. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.1	14	ND	

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

試料名	種別 又は 部位	採取 年月日	採取地点番号 及び採取地点名	単位	全体的な 放射性能 濃度	核 種 濃 度														その他 核種																							
						⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁷ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁶ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴¹ Ce	¹³⁷ I	⁸⁹ Sr		⁹⁰ Sr	^{238/239} Pu	²⁴¹ Pu	²⁴¹ Am	²⁴¹ Cm																		
松 葉	1	R1. 5. 9	いわき市 久之浜	Bq/kg生	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	0.84	¹³⁷ Cs	11	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND
						2	R1. 5. 27	田村市 古道	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	0.72	¹³⁷ Cs	ND	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND
	3	R1. 5. 9	広野町 上北迫	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	6.0	¹³⁷ Cs	ND	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	4	R1. 5. 29	楡葉町 波曾	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	3.5	¹³⁷ Cs	49	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	5	R1. 5. 29	都賀町 小浜	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	2.5	¹³⁷ Cs	31	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	6	R1. 5. 23	川内村 土川内	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	ND	¹³⁷ Cs	1.2	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	7	R1. 5. 13	大熊町 美原	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	47	¹³⁷ Cs	620	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	8	R1. 5. 13	大熊町 大川原	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	15	¹³⁷ Cs	190	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	9	R1. 5. 13	双葉町 郡山	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	9.6	¹³⁷ Cs	130	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	10	R1. 5. 14	浪江町 北滝世帯	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	ND	¹³⁷ Cs	6.0	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	11	R1. 5. 23	葛尾村 和原	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	5.7	¹³⁷ Cs	76	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	12	R1. 5. 14	南相馬市 浦尻	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	ND	¹³⁷ Cs	4.8	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	13	R1. 5. 8	飯館村 飯立	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	16	¹³⁷ Cs	190	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	14	R1. 5. 8	飯館村 長泥	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	4.1	¹³⁷ Cs	49	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	
	15	R1. 5. 8	川原町 山本屋	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁷ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁵ Zr	ND	⁹⁶ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹²⁵ Sb	ND	¹³⁷ Cs	1.6	¹³⁷ Cs	13	¹⁴¹ Ce	ND	¹³⁷ I	ND	⁸⁹ Sr	ND	⁹⁰ Sr	ND	^{238/239} Pu	ND	²⁴¹ Pu	ND	²⁴¹ Am	ND	²⁴¹ Cm	ND	

(注) 1 土壌及び松葉のNo.の欄掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域、海水及び雑底土のNo.の欄掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の放射水口付近

2 「ND」：検出限界未満 「/」：対象外核種 「-」：欠測

3 第一(発)：東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所 第二(発)：東京電力ホールディングス株式会社福島第二原子力発電所

4 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

5 *1 水道未復旧のため試料を採取できず、欠測となった。

5-3 比較対照地点

5-3-1 空間線量率(比較対照地点)

No.	測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	
1	福島市 もみじやま 紅葉山	70 (81)	720	70 (92)	744	69 (100)	720																			
2	郡山市 日和田	123 (136)	720	124 (137)	744	123 (151)	720																			
3	いわき市 翠	61 (74)	720	61 (71)	744	61 (84)	720																			

単位:線量率:μGy/h、測定時間:h
上段:平均値(下段):最大値

5-3-2 大気浮遊じん中の核種濃度 (比較対照地点)

No	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁶ Zr	⁹⁶ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	
1	福島市 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.11 ~ H31.4.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
		R1.5.7 ~ R1.5.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND
		R1.6.4 ~ R1.6.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	ND
2	会津若松市 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.4 ~ H31.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.13 ~ R1.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.4 ~ R1.6.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.8 ~ H31.4.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.029	ND
		R1.5.15 ~ R1.5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.6 ~ R1.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	白河市 (簡易型ダスト サンプラー)	R1.4.4 ~ H31.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.13 ~ R1.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.4 ~ R1.6.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
5	相馬市 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.8 ~ H31.4.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.041	ND
		R1.5.15 ~ R1.5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050	ND
		R1.6.6 ~ R1.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
6	伊達市 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.8 ~ H31.4.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.15 ~ R1.5.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.6 ~ R1.6.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7	南会津町 (簡易型ダスト サンプラー)	H31.4.4 ~ H31.4.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.5.13 ~ R1.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.4 ~ R1.6.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 1 「ND」：検出限界未満 「-」：欠測

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 ろ紙の灰化処理はせずろ紙を直接18容器で測定した。

4 ¹³⁴Cs及び¹³⁷Csの検出限界値：簡易型ダストサンプラー(1週間集じん)はおおむね0.04 mBq/m³以下である。

5-3-3 大気中水分のトリチウム濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	福島市 方木田	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5. 0	0. 81	大気中水分量 (g/m ³) 6. 2
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	5. 0	0. 50	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	13

(注) 「ND」：検出限界未満

数値は有効数字2桁にて表記

5-3-4 降下物の核種濃度（比較対照地点）

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²))																	
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁰ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce						
1	福島市 方木田	H31.4.1 ~ R1.5.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1.5.7 ~ R1.6.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.6.3 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
2	三春町 深作	H31.4.1 ~ R1.5.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1.5.7 ~ R1.6.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1.6.3 ~ R1.7.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 1 「ND」：検出限界未満 「/」：対象外核種
 2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

5-3-5 環境試料中の核種濃度 (比較対照地点)

試料名	種類 又は 部位	採取地点番号 及び採取地点名	採取 年月日	単位	全 ^{α-γ} 放射能 濃度	核種濃度														天然 核種 ⁴⁰ K						
						⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹²⁵ Sb	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	³ H	¹³¹ I		⁹⁰ Sr	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	^{239/240} Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm
土壌	土壌	1 福島市 荒井	R1. 5. 9	Bq/kg乾	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	220		
		2 郡山市 蓬瀬町	R1. 5. 24		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	410	
		3 いわき市 川部町	R1. 5. 23		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	310
		4 白河市 天信原	R1. 5. 24		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	530
		5 相馬市 中村	R1. 5. 23		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	360
		6 会津若松市 一宮町	R1. 5. 20		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	780
		7 南会津町 糸沢	R1. 5. 20		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	260
上水	蛇口水	1 会津若松市 追手町	H3L. 4. 4	Bq/l	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.057		
		2 福島市 杉葉町	R1. 5. 8		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	57	
松葉	二年葉	1 郡山市 蕨山	R1. 5. 20	Bq/kg生	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	82		
		3 白河市 筒笠町	R1. 5. 13		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	88	
		4 会津若松市 城東町	R1. 5. 20		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	91
		5 南会津町 米出	R1. 5. 14		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	72		

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 「/」: 対象外核種

5-4 試料採取時の付帯データ集
(原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH
1	いわき市	H31. 4. 11	10.1	10.0	7.5
2	田村市	H31. 4. 16	13.6	12.5	7.8
3	広野町	H31. 4. 11	11.2	10.5	7.6
4	檜葉町	H31. 4. 11	9.2	10.2	7.1
5	富岡町	H31. 4. 15	15.2	14.5	7.3
6	川内村	H31. 4. 16	15.1	13.5	7.4
7	大熊町	R1. 5. 14	20.1	19.0	7.2
8	双葉町	—	—	—	—
9	浪江町	H31. 4. 15	19.1	18.9	7.6
10	葛尾村	H31. 4. 16	10.9	10.5	7.3
11	南相馬市	H31. 4. 15	16.1	13.0	7.2
12	飯館村	H31. 4. 17	20.2	12.5	7.5
13	川俣町	H31. 4. 17	20.6	11.1	7.3

2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	Cl ⁻ (%)
1	第一(発)南放水口付近	H31. 4. 17	12.0	9.6	7.9	19
		R1. 5. 10	21.0	11.3	8.1	19
		R1. 6. 4	16.0	10.8	7.9	18
2	第一(発)北放水口付近	H31. 4. 17	11.5	9.9	7.9	18
		R1. 5. 10	22.0	11.4	8.1	18
		R1. 6. 4	16.0	10.9	7.9	18
3	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	H31. 4. 17	12.5	10.0	7.9	18
		R1. 5. 10	22.0	11.6	8.1	18
		R1. 6. 4	16.0	11.1	8.0	18
4	第一(発)沖合 2 km	H31. 4. 17	11.0	10.0	7.9	18
		R1. 5. 10	22.0	12.0	8.1	18
		R1. 6. 4	17.0	11.0	7.9	18
5	夫沢・熊川沖 2 km	H31. 4. 17	11.0	9.7	7.9	19
		R1. 5. 10	20.0	12.5	8.1	18
		R1. 6. 4	17.0	11.2	7.9	18
6	双葉・前田川沖 2 km	H31. 4. 17	11.5	9.9	7.9	18
		R1. 5. 10	21.0	11.9	8.1	18
		R1. 6. 4	17.0	10.8	8.0	18
7	第二(発)南放水口	R1. 5. 16	18.0	11.2	8.1	19
8	第二(発)北放水口	R1. 5. 16	14.7	12.7	8.1	19

(比較対照地点環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH
1	会津若松市	H31. 4. 4	12.0	5.5	7.0

第6 参考資料

6-1 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う海水モニタリング結果（公表資料）

【地下水バイパス水関係】

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、南放水口付近（T-2）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和元年8月6日公表資料

【サブドレン・地下水ドレン処理水関係】

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理水の海域への排出に際し、5・6号機放水口北側（T-1）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和元年8月6日公表資料

令和元年 8 月 6 日
福島県放射線監視室

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（6月調査分）

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、海水モニタリングを定期的実施しております。

【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所南放水口付近（T-2）の海域1地点における、地下水バイパス水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能が 0.02、放射性セシウムが 0.059、トリチウムが 1.9 でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値及び告示濃度限度^{※1}及びWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

○6月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻 10時05分～16時05分、排出量 1,664 m³

採取日時	全ベータ 放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計 ^{※2}	
6月20日 10:30	0.02 (不検出 ～0.22)	不検出 (不検出 ～0.54)	0.059 (不検出 ～1.6)	0.059 (不検出 ～2.14)	1.9 (不検出 ～8.8)

()内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

(参考)	全ベータ 放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
東京電力の運用目標値	5	1	1	—	1,500
告示濃度限度 ^{※1}	30 ^{※3}	60	90	—	60,000
WHO飲料水水質ガイドライン	10 ^{※3}	10	10	—	10,000

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（周辺監視区域外等の濃度限度）

※2 不検出は0として計算

※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和元年8月6日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	南放水口付近 (T-2) (地下水排出中)	R1. 6. 20	0.02	ND (0.055)	0.059	1.9
		平成30年度	0.02~0.03	ND	ND	ND~7.9
		平成29年度	ND~0.04	ND	ND~0.13	ND~8.8
		平成28年度	0.03~0.15	ND	0.061~0.19	ND~3.0
		平成27年度	0.03~0.13	ND~0.11	0.080~0.40	ND~0.86
		平成26年度	0.04~0.22	ND~0.54	0.12~1.6	ND~3.5

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

○平成30年3月採水分から、防波堤の本設化工事完了に伴い、採水地点が排出地点の北約10m地点から排出地点の南約30m地点へと変更となりました。

平成26年5月21日(初回排出日)以前のモニタリング結果

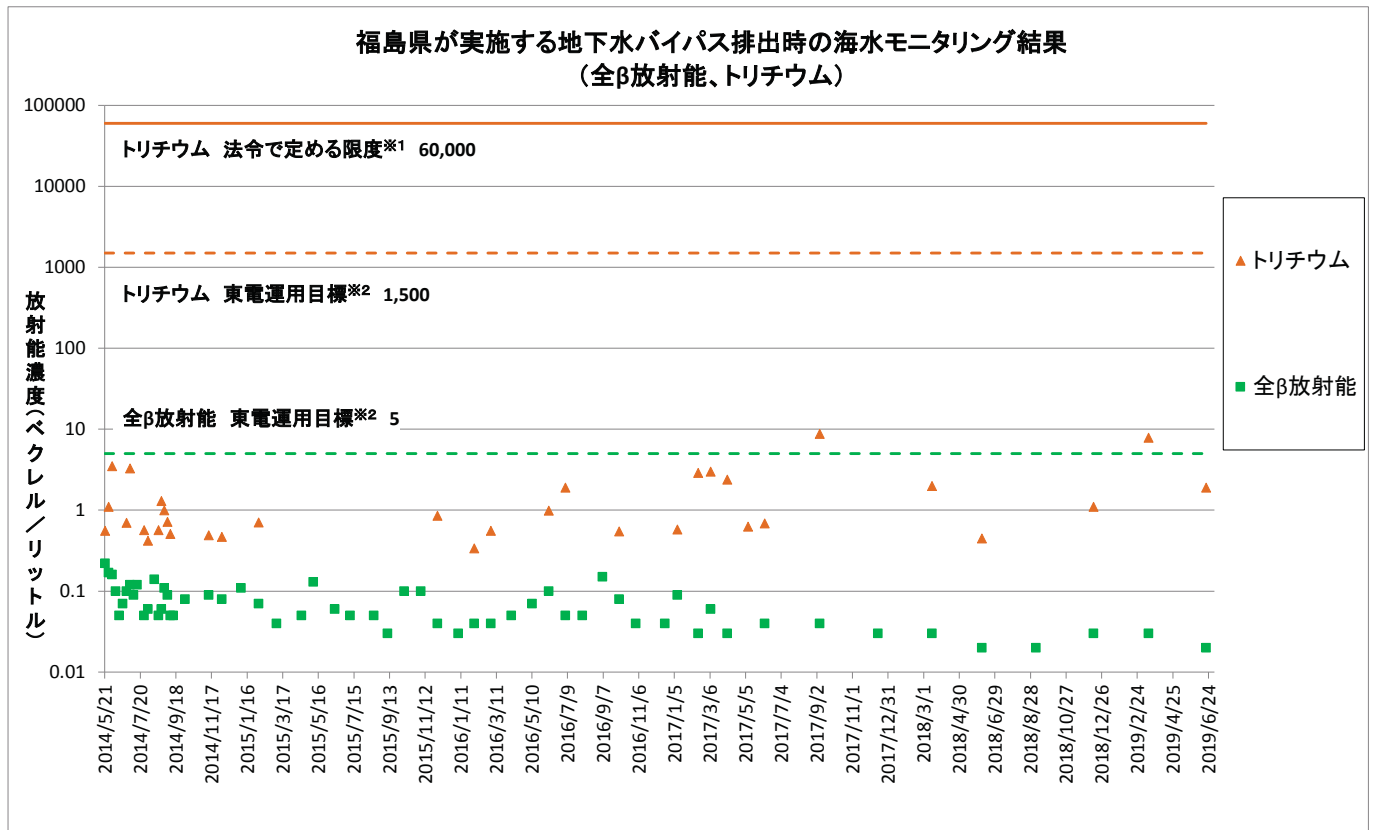
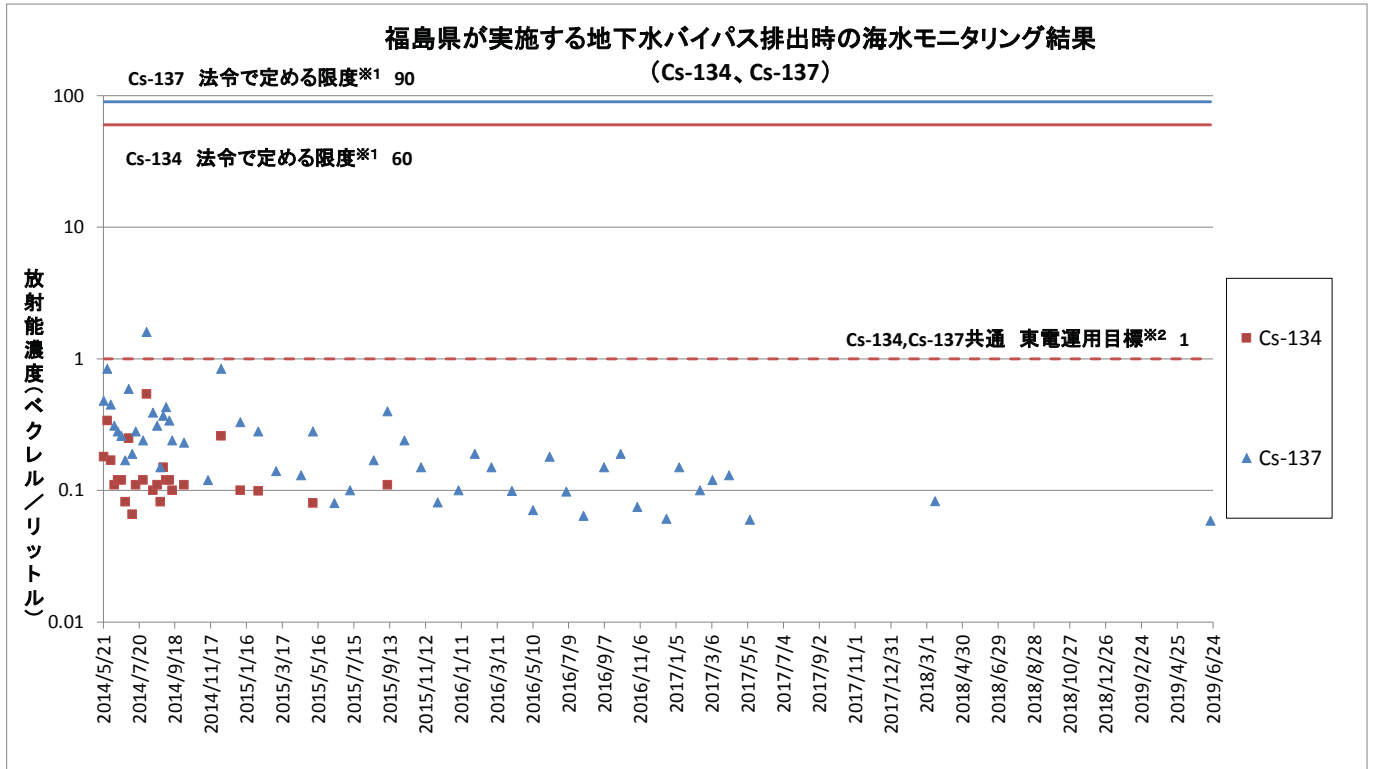
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25年度以降に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲	南放水口付近 (T-2) (陸側から採取)	H25. 10. 3、H25. 10. 17 H25. 10. 21、H27. 2. 25	0.16~0.48	0.082~0.80	0.33~1.8	ND~0.69
	南放水口付近 (T-2-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27 H27. 2. 25	0.07	0.31~0.36	0.59~1.2	0.32~0.91
	南放水口付近 (F-P01) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H28. 12. 12	0.02~0.64	ND~0.35	ND~0.71	ND~2.4
(参考) 県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

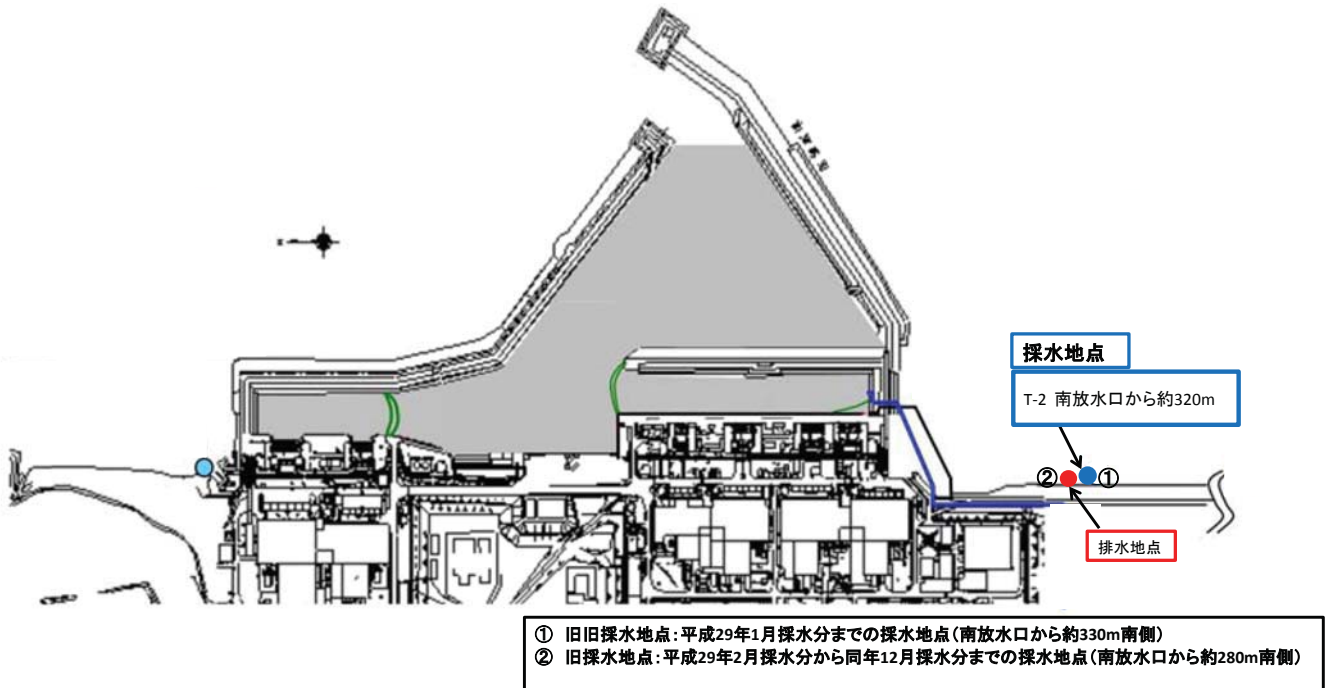
測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
 ※2 福島第一原子力発電所 地下水バイパス水一時貯留タンクの運用目標値
 ※3 平成26年9月13日排水時まで排出毎に調査実施。但し、平成26年7月21日及び8月5日の排出時の海水試料は採取できず。
 平成26年9月13日以降は毎月1回、平成29年6月6日以降は四半期1回のモニタリングに変更しています。

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



令和元年 8 月 6 日
福島県放射線監視室

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（6月調査分）

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に際し、環境への影響を継続的に監視するため、海水モニタリングを毎月の初回排出時に実施しております。

【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所北放水口付近（T-1）の海域1地点における、サブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能が 0.03、放射性セシウムが 0.23、トリチウムが 0.34 でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値及び告示濃度限度^{※1}及び WHO 飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

〇6月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻 11時15分～17時57分、排出量 1002 m³

採取日時	全ベータ放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計 ^{※2}	
6月20日 11:40	0.03 (0.02 ～0.10)	不検出 (不検出 ～0.10)	0.23 (不検出 ～0.44)	0.23 (不検出 ～0.51)	0.34 (不検出 ～2.3)

()内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

(参考)	全ベータ放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
東京電力の運用目標値	3	1	1	—	1,500
告示濃度限度 ^{※1}	30 ^{※3}	60	90	—	60,000
WHO 飲料水水質ガイドライン	10 ^{※3}	10	10	—	10,000

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（周辺監視区域外等の濃度限度）

※2 不検出は0として計算

※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン 処理済み水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和元年8月6日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全ベータ放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	北放水口付近 (T-1) (処理済み水排出中)	R1. 6. 20	0.03	ND (0.055)	0.23	0.34
		平成30年度	0.02~0.04	ND	ND~0.22	ND~0.55
		平成29年度	0.02~0.04	ND~0.068	ND~0.36	ND~1.5
		平成28年度	0.04~0.10	ND~0.068	0.064~0.44	ND~2.3
		H27. 9. 14~H28. 3. 2	0.03~0.09	ND~0.10	0.14~0.41	ND~1.7

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

平成27年9月14日(初回排出日)以前のモニタリング結果

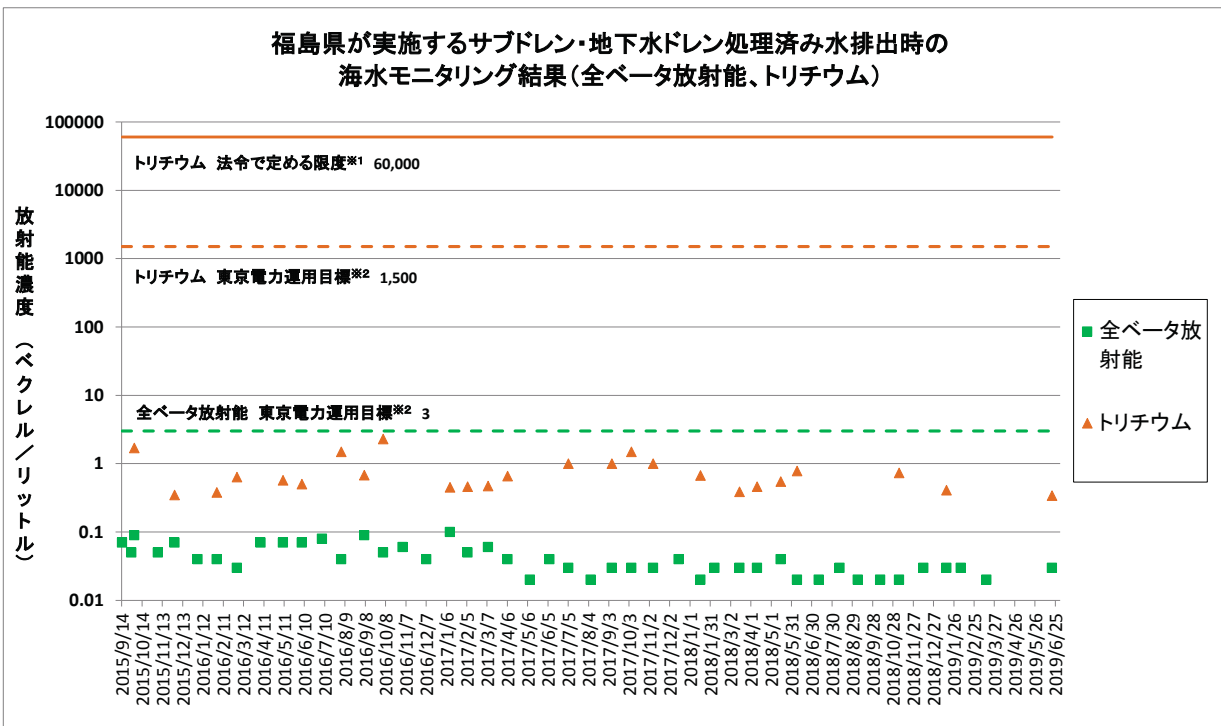
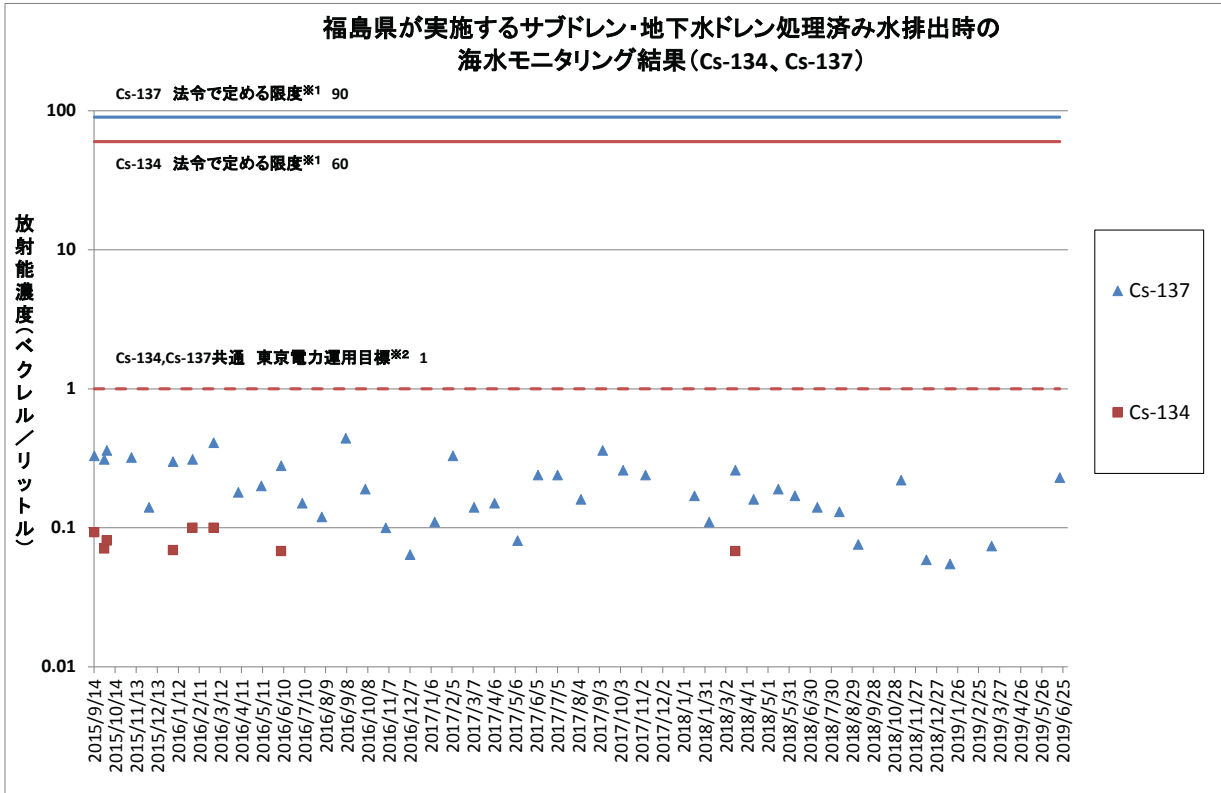
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全ベータ放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25~26年 度を実施した海域 モニタリングにお ける測定値の範囲	北放水口付近 (T-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27、H25. 9. 27 H26. 4. 4、H27. 2. 25	0.10~0.49	0.26~2.4	0.84~5.0	0.61~1.1
	北放水口付近 (F-P02) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H27. 3. 3	0.03~0.51	ND~0.24	ND~0.56	ND~2.5
(参考) 県が測定し た原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全ベータ放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

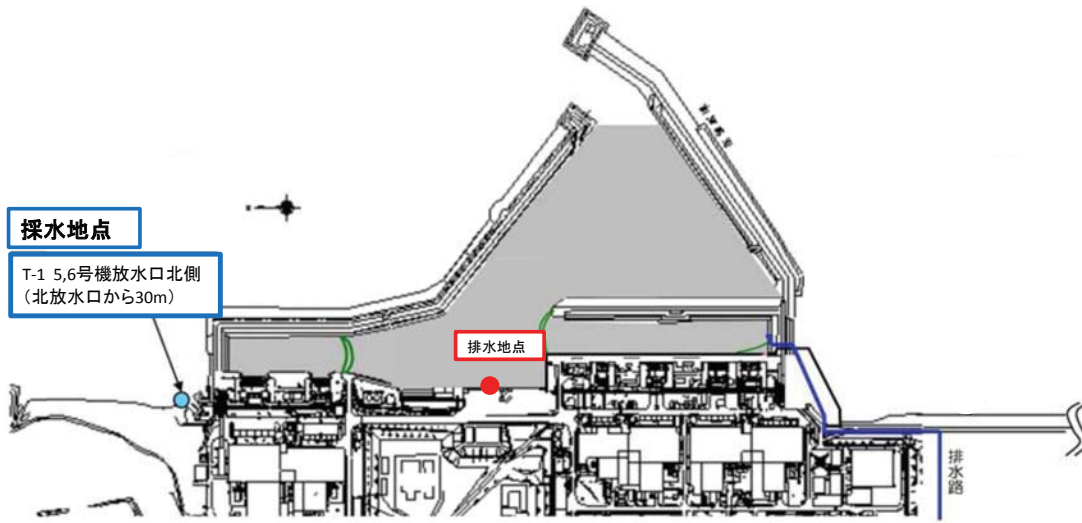
注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度

※2 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水一時貯留タンクの運用目標値

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



各地点の空間線量率等の変動グラフ

平成31年4月～令和元年6月

福島県

目次

空間線量率

1 いわき市小川	1
2 いわき市久之浜	2
3 いわき市下桶売	3
4 いわき市川前	4
5 田村市都路馬洗戸	5
6 広野町二ツ沼	6
7 広野町小滝平	7
8 檜葉町山田岡	8
9 檜葉町木戸ダム	9
10 檜葉町繁岡	10
11 檜葉町松館	11
12 檜葉町波倉	12
13 富岡町上郡山	13
14 富岡町下郡山	14
15 富岡町深谷	15
16 富岡町富岡	16
17 富岡町夜の森	17
18 川内村下川内	18
19 大熊町向畑	19
20 大熊町熊川	20
21 大熊町南台	21
22 大熊町大野	22
23 大熊町夫沢	23
24 双葉町山田	24
25 双葉町郡山	25
26 双葉町新山	26
27 双葉町上羽鳥	27
28 浪江町請戸	28
29 浪江町棚塩	29
30 浪江町浪江	30
31 浪江町幾世橋	31
32 浪江町大柿ダム	32
33 浪江町南津島	33
34 葛尾村夏湯	34
35 南相馬市泉沢	35
36 南相馬市横川ダム	36
37 南相馬市萱浜	37
38 飯舘村伊丹沢	38
39 川俣町山木屋	39

大気浮遊じん(推移)

1 いわき市小川	40
2 田村市都路馬洗戸	41
3 広野町小滝平	42
4 檜葉町木戸ダム	43
5 檜葉町繁岡	44
6 富岡町富岡	45
7 川内村下川内	46
8 大熊町大野	47
9 大熊町夫沢	48
10 双葉町郡山	49
11 浪江町幾世橋	50
12 浪江町大柿ダム	51
13 葛尾村夏湯	52
14 南相馬市泉沢	53
15 南相馬市萱浜	54
16 飯舘村伊丹沢	55
17 川俣町山木屋	56

大気浮遊じん(相関図)

1 いわき市小川	57
2 田村市都路馬洗戸	57
3 広野町小滝平	58
4 檜葉町木戸ダム	58
5 檜葉町繁岡	59
6 富岡町富岡	59
7 川内村下川内	60
8 大熊町大野	60
9 大熊町夫沢	61
10 双葉町郡山	61
11 浪江町幾世橋	62
12 浪江町大柿ダム	62
13 葛尾村夏湯	63
14 南相馬市泉沢	63
15 南相馬市萱浜	64
16 飯舘村伊丹沢	64
17 川俣町山木屋	65

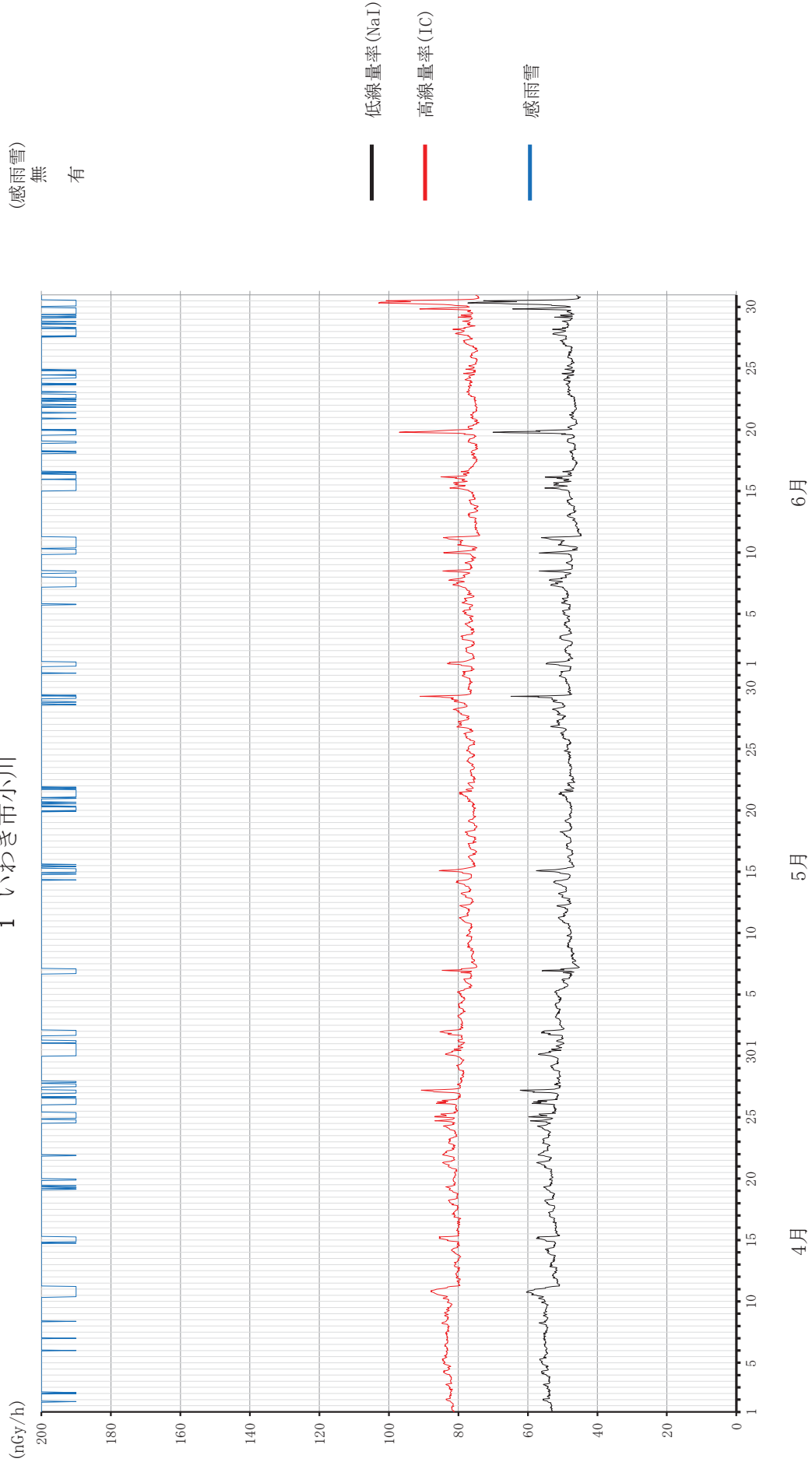
空間線量率(比較対照)

1 福島市紅葉山	66
2 郡山市日和田	67
3 いわき市平	68

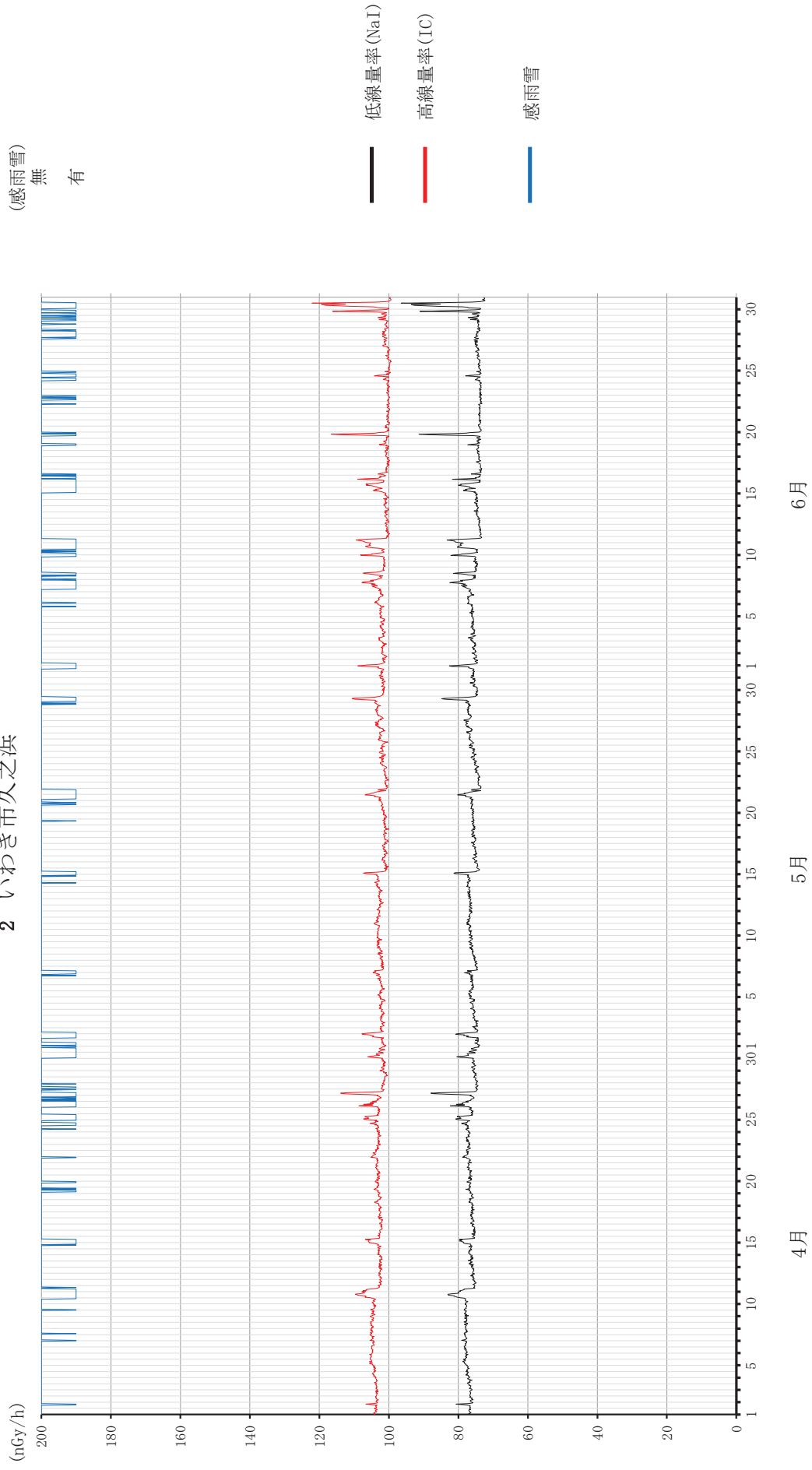
※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値

空間線量率の変動グラフ

1 いわき市小川

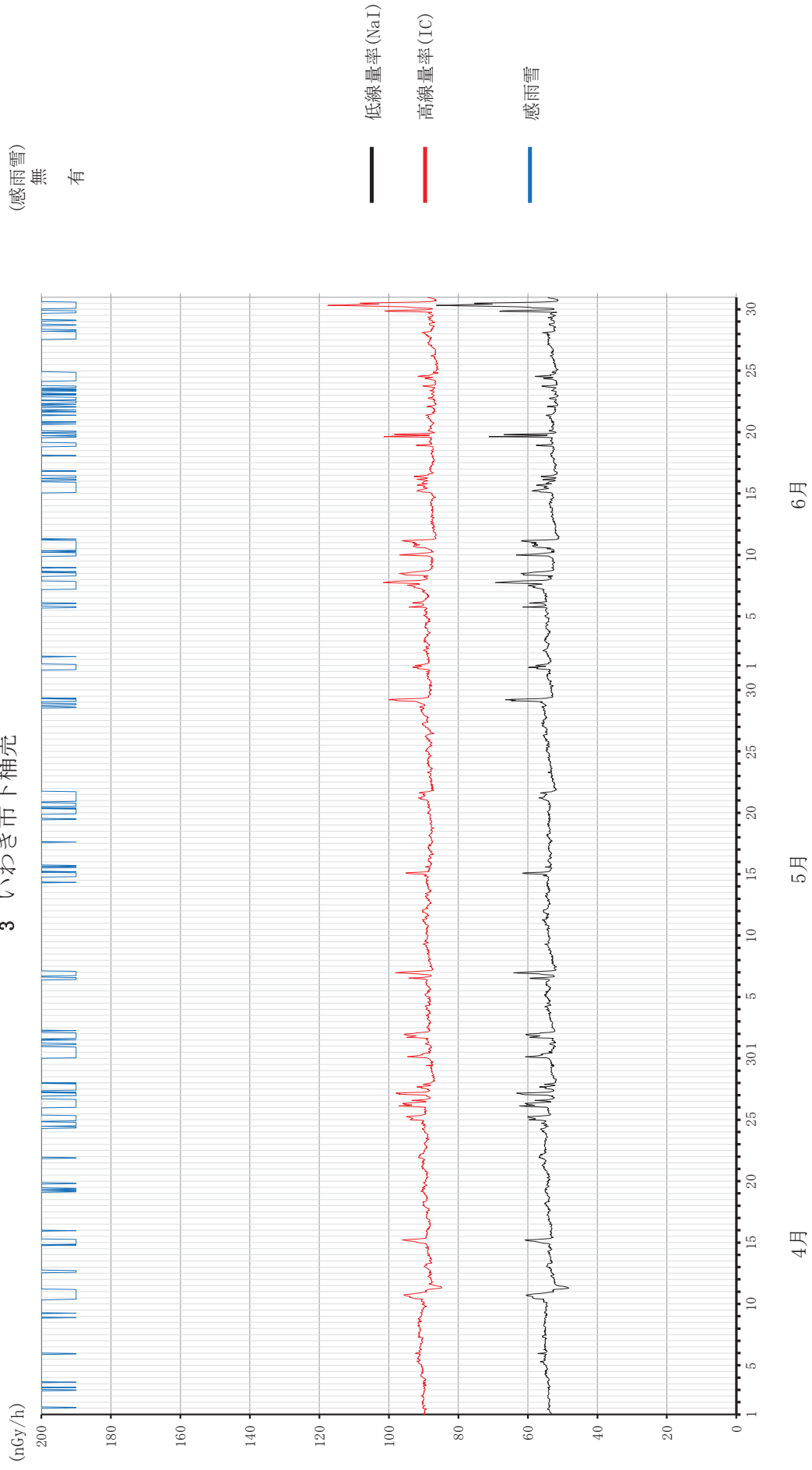


空間線量率の変動グラフ 2 いわき市久之浜



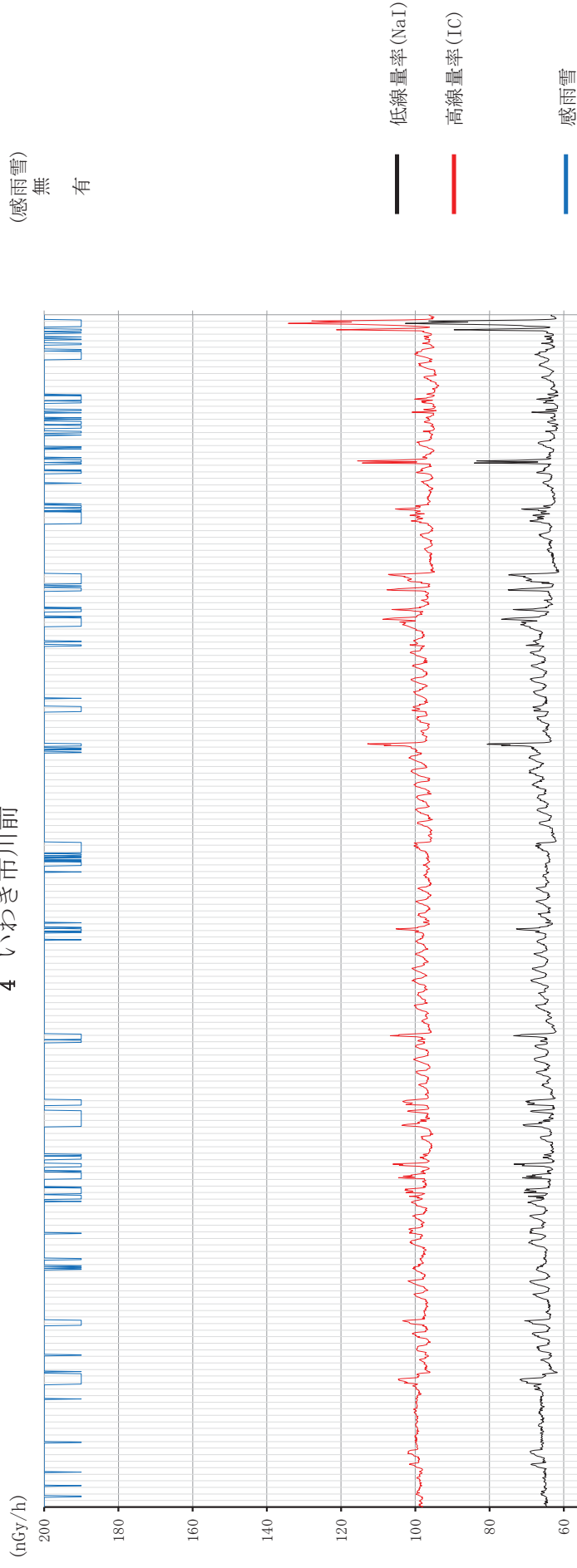
空間線量率の変動グラフ

3 いわき市下桶売

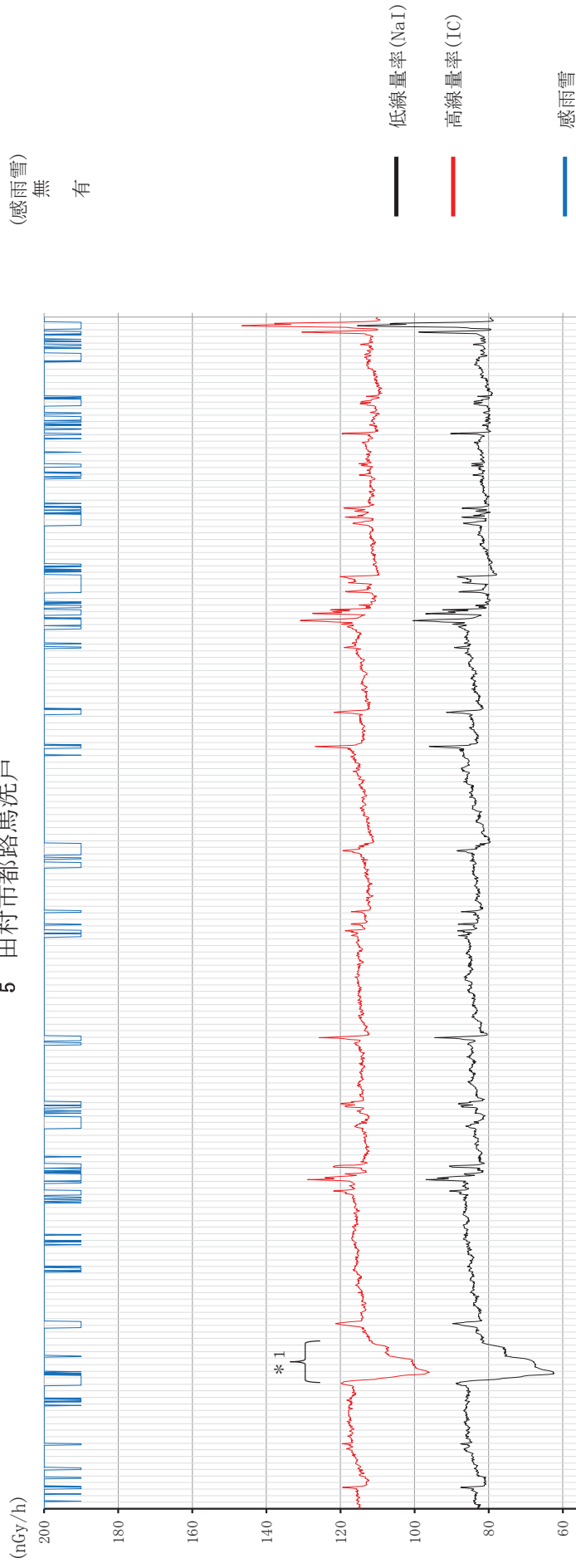


空間線量率の変動グラフ

4 いわき市川前

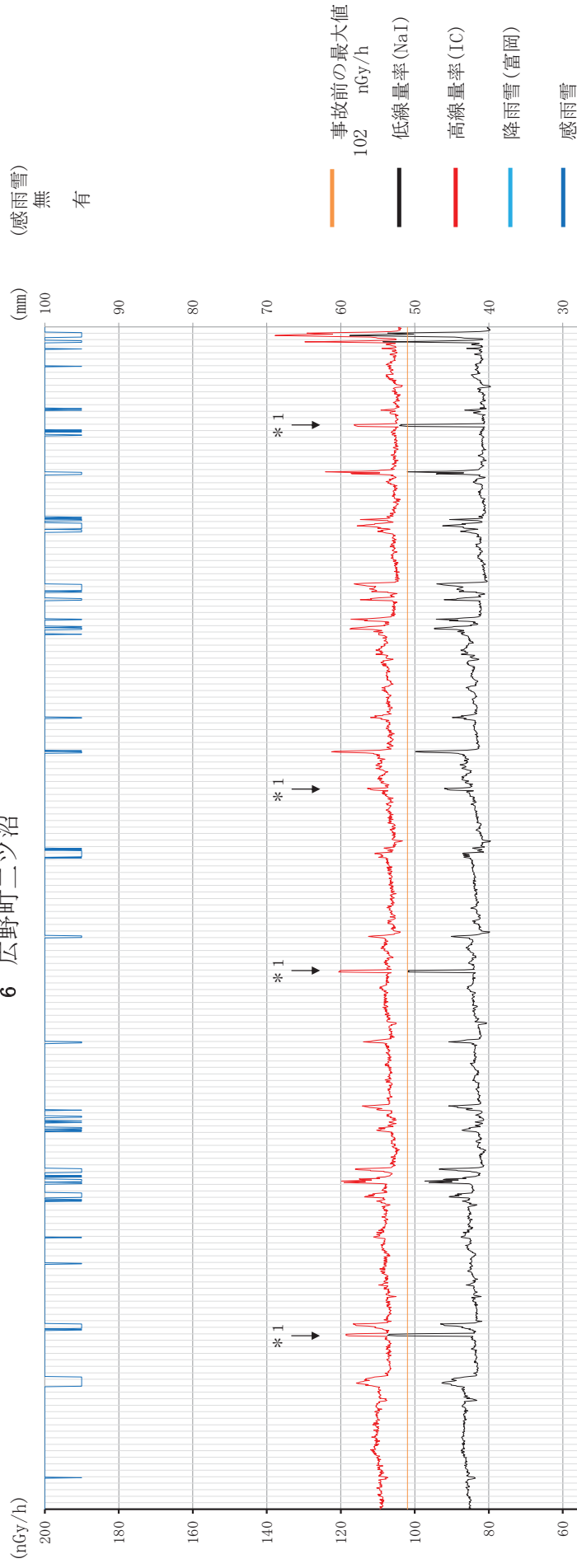


空間線量率の変動グラフ 5 田村市都路馬洗戸



空間線量率の変動グラフ

6 広野町二ツ沼



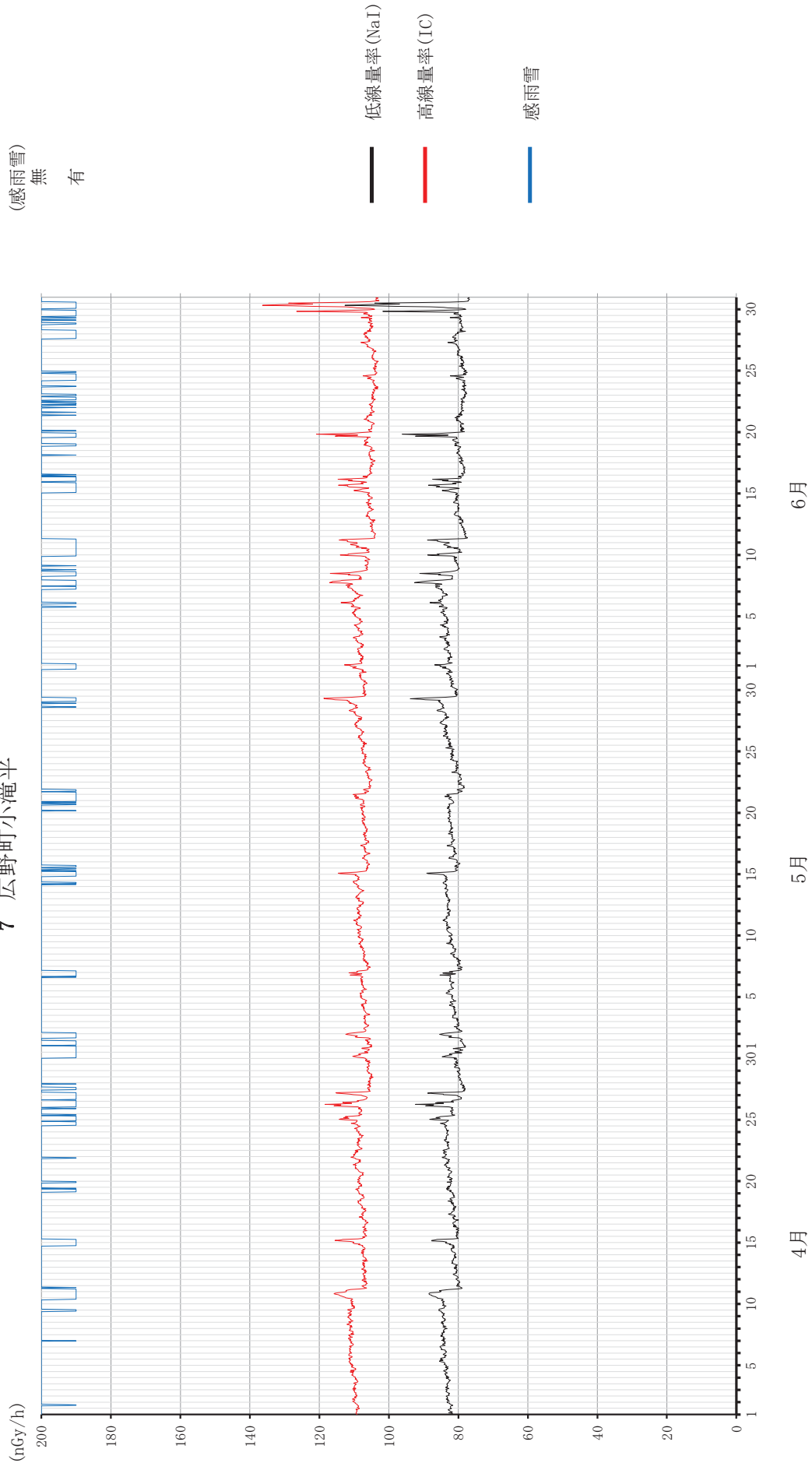
6月

5月

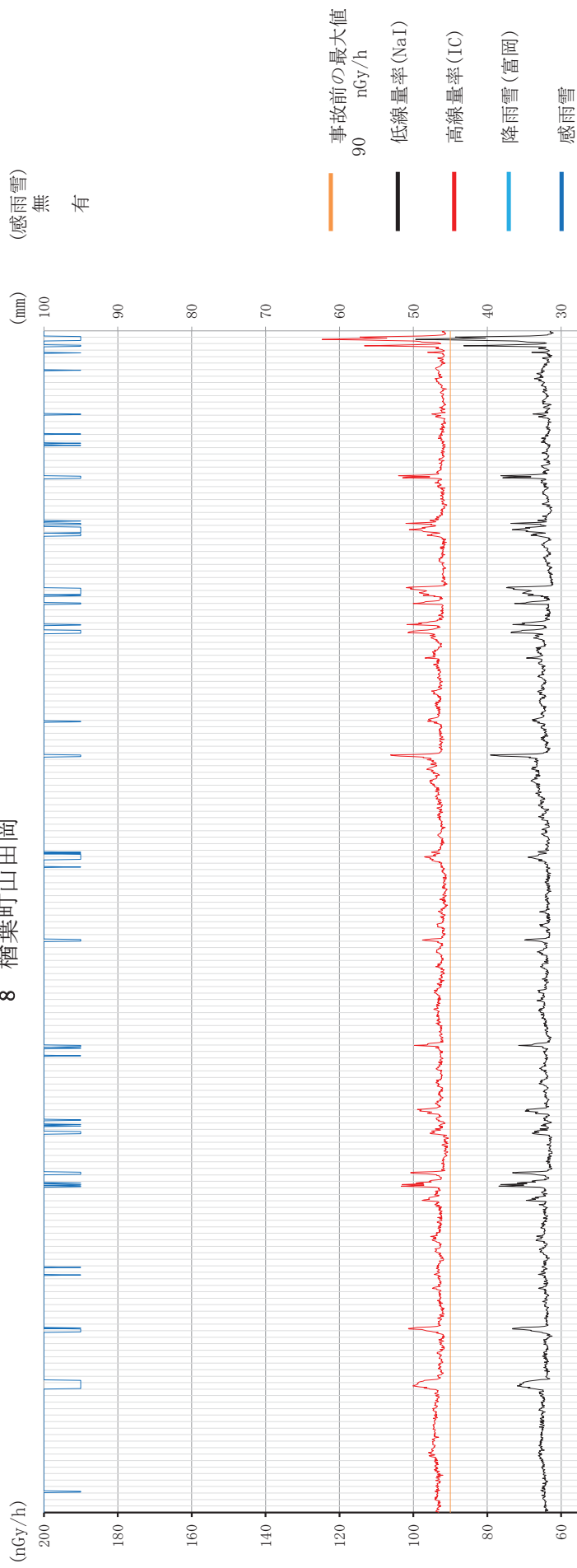
4月

* 1 鳥舎周辺への汚染車両駐車による線量率上昇

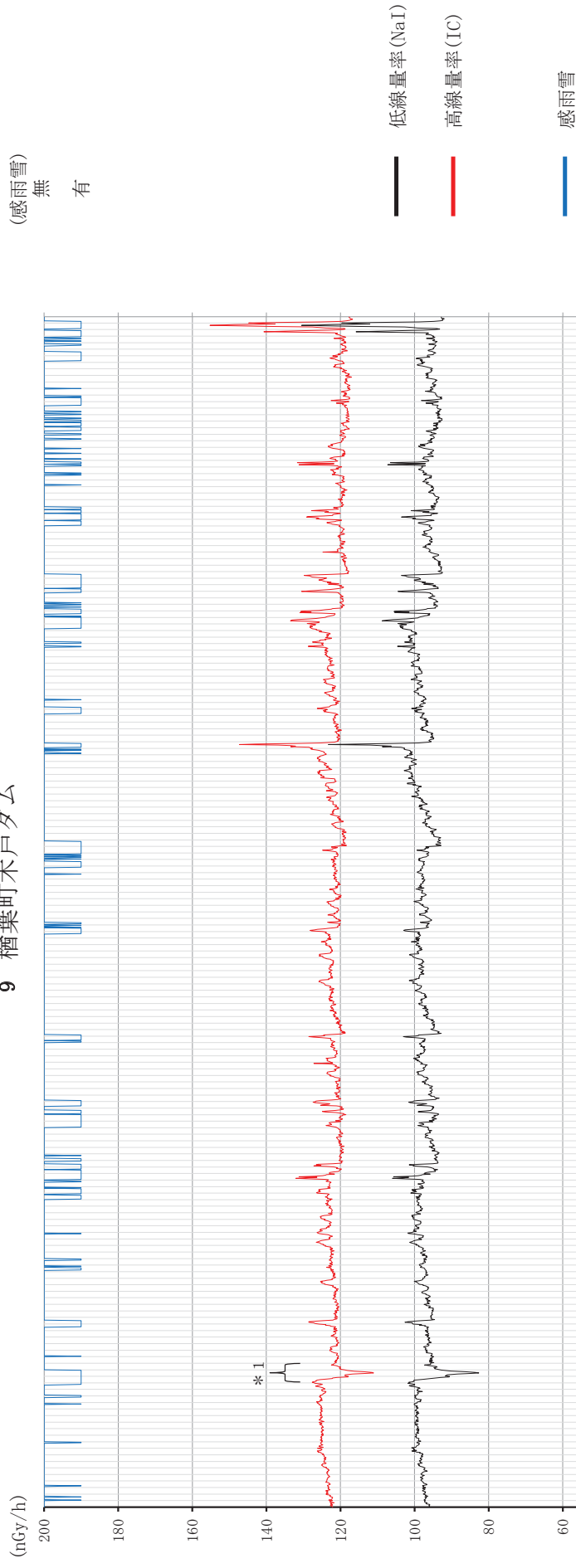
空間線量率の変動グラフ 7 広野町小滝平



空間線量率の変動グラフ
8 榎葉町山田岡



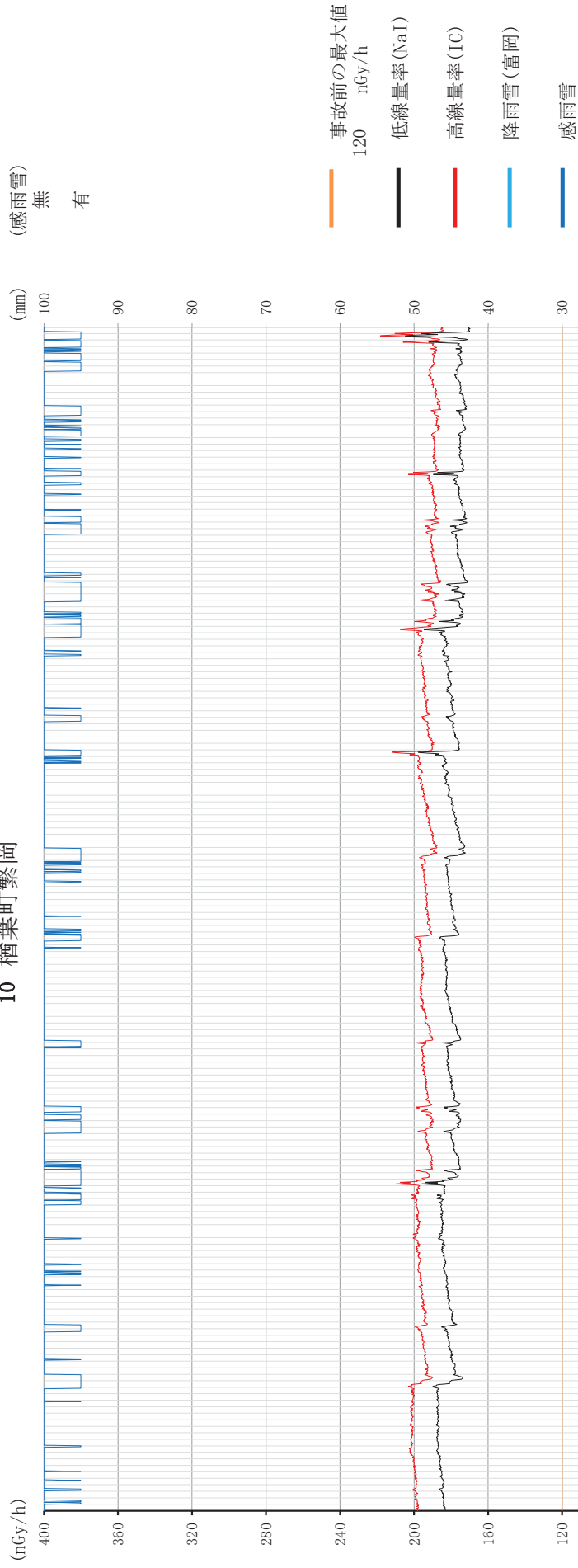
空間線量率の変動グラフ 9 榎葉町木戸ダム



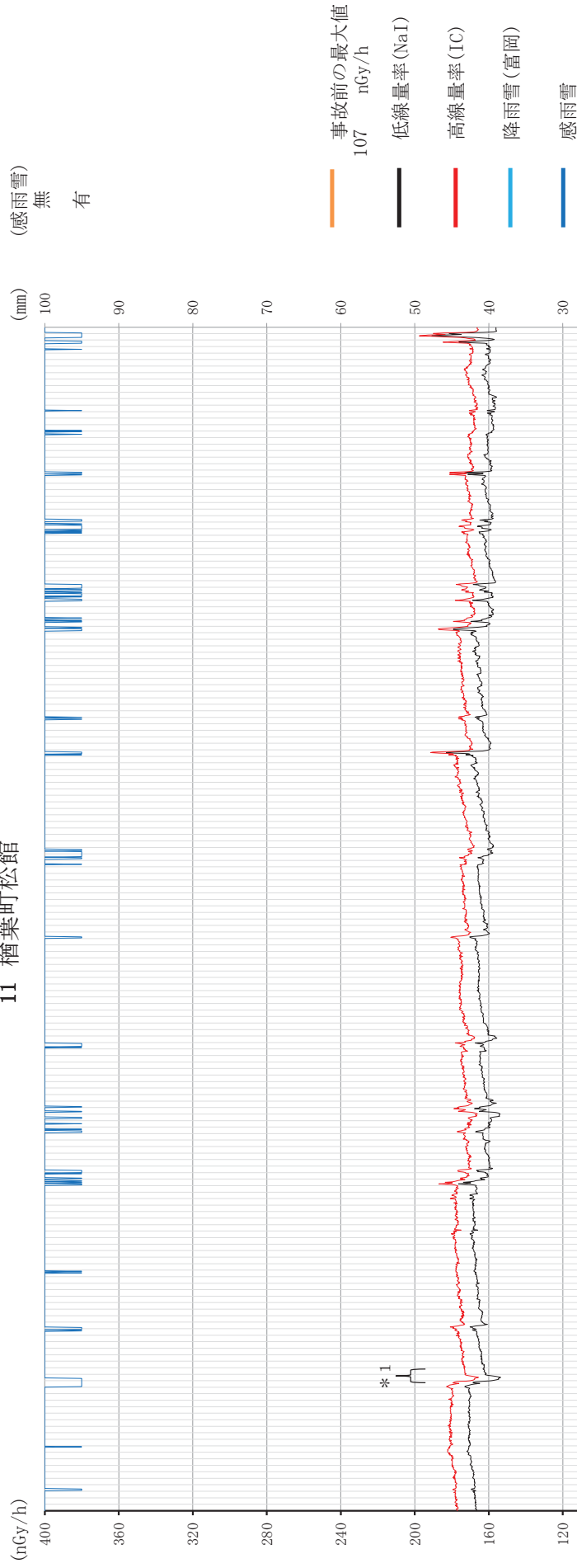
* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

10 榎葉町繁岡



空間線量率の変動グラフ
11 榎葉町松館



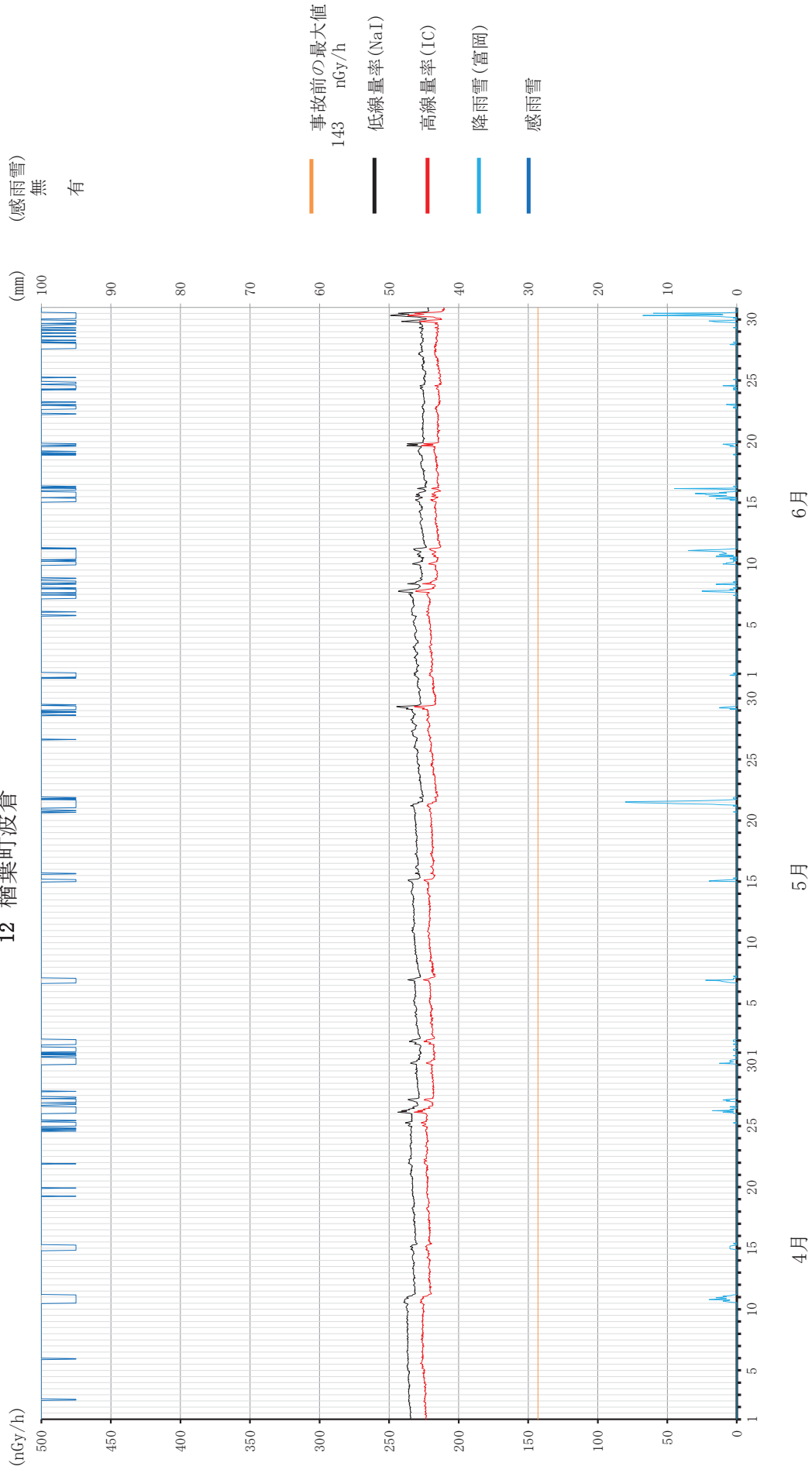
6月

5月

4月

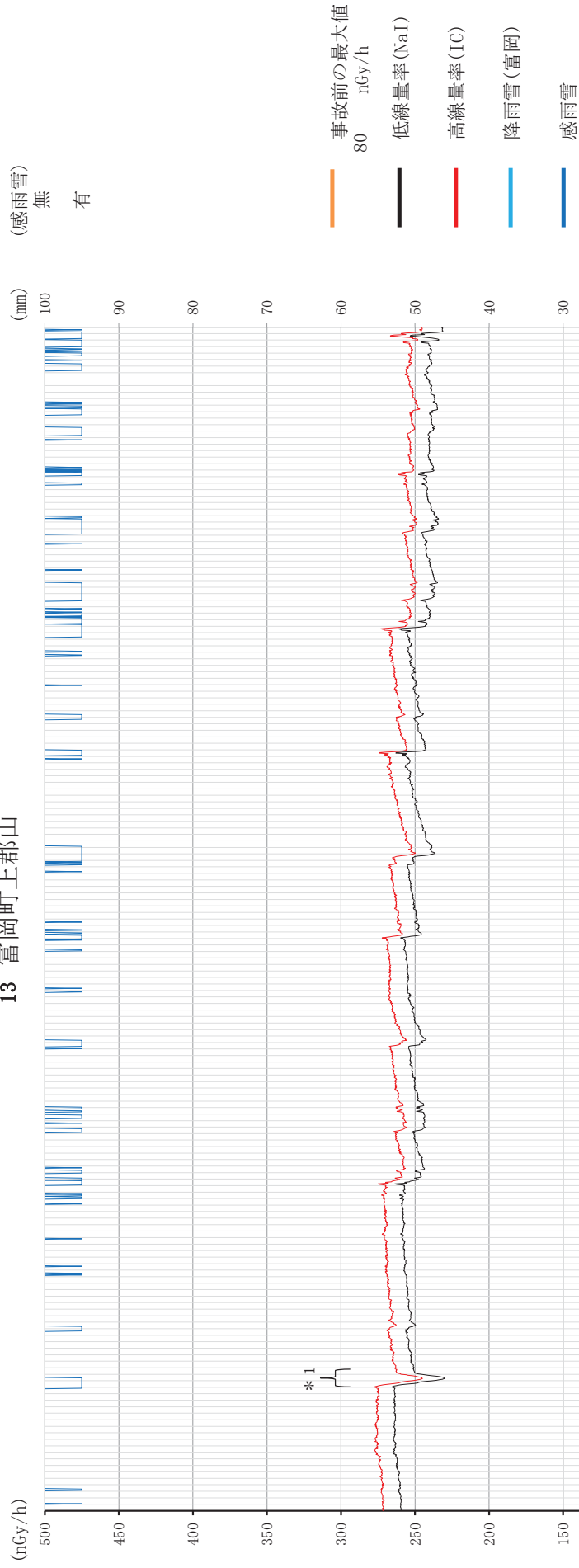
* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
12 榎葉町波倉



空間線量率の変動グラフ

13 富岡町上郡山



6月

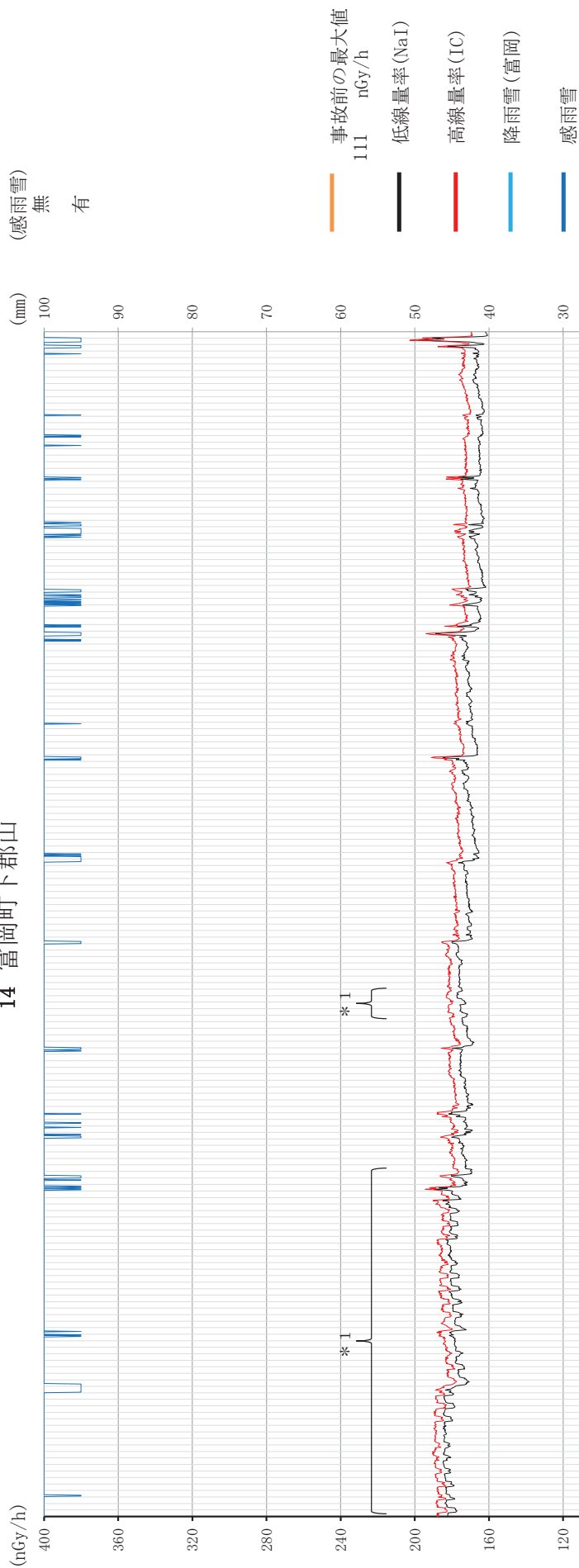
5月

4月

* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

14 富岡町下郡山



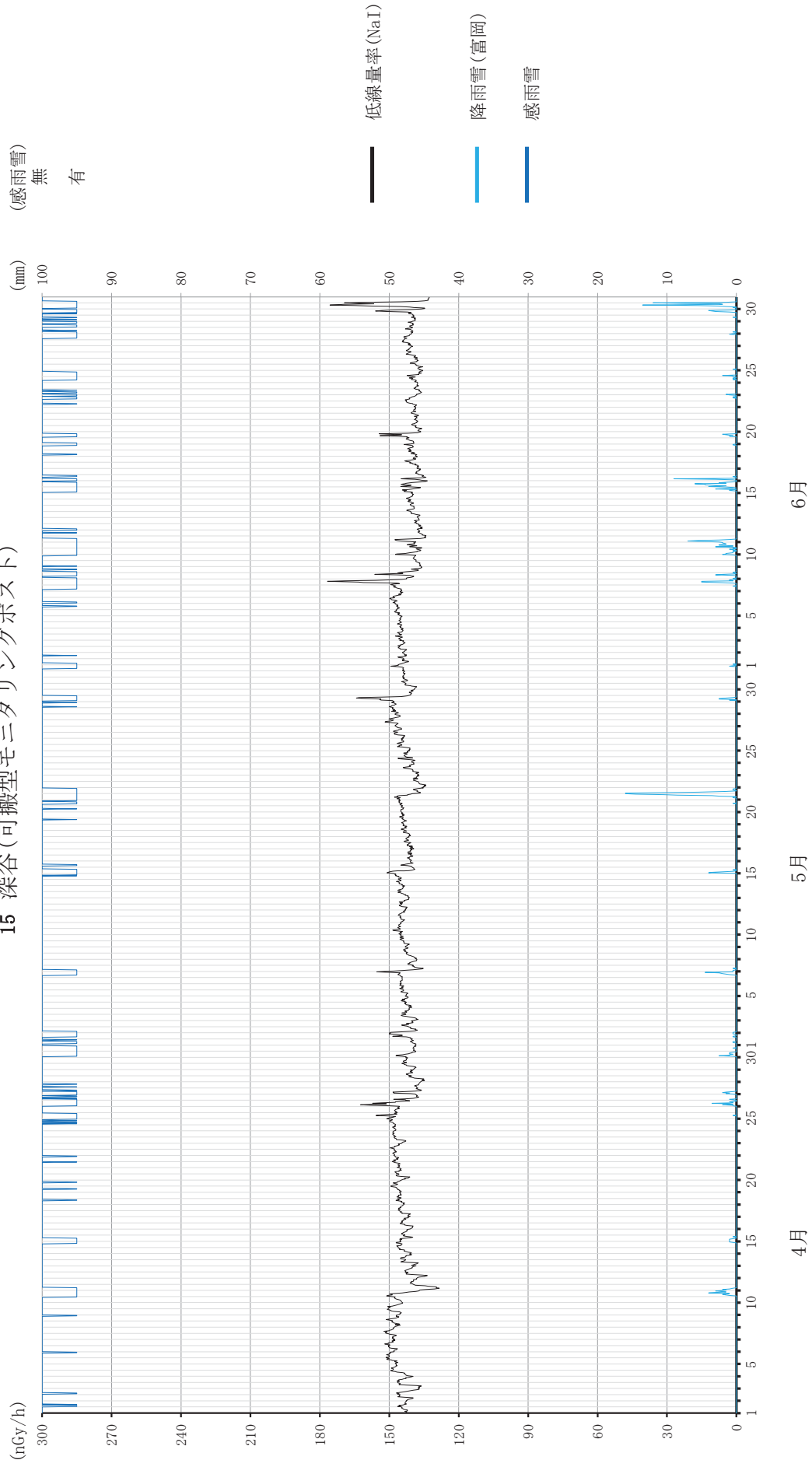
4月

5月

6月

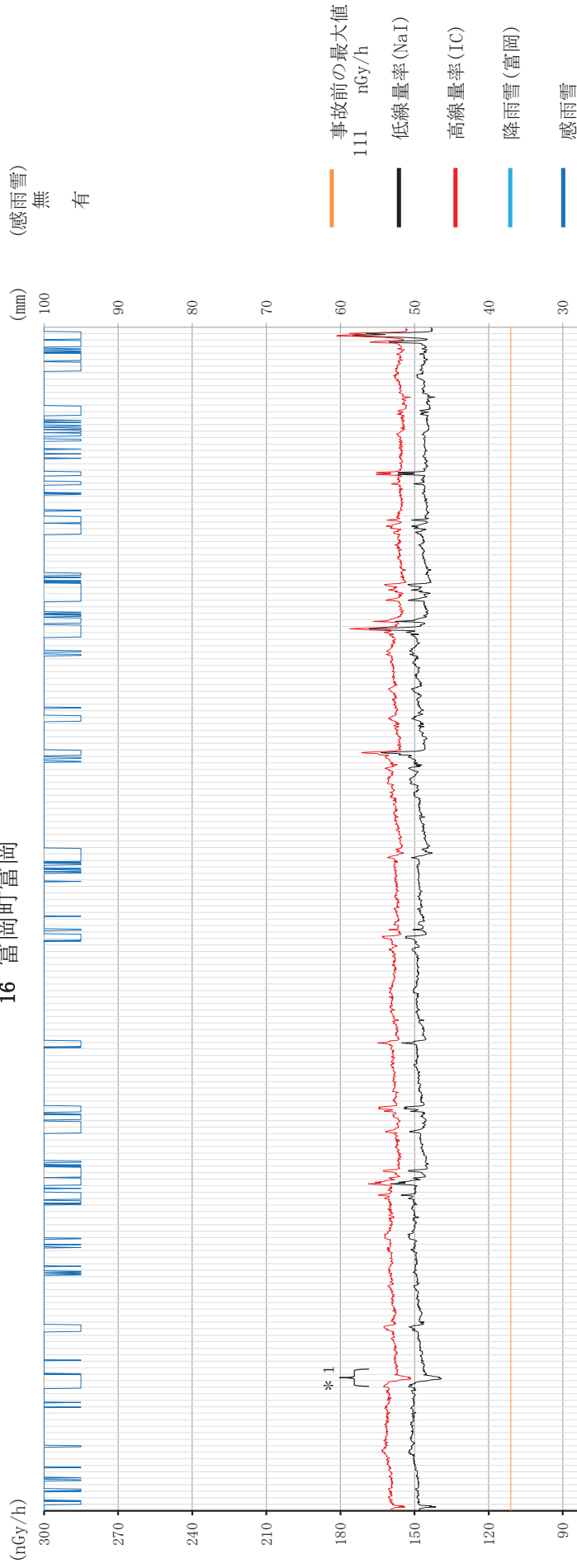
* 1 局舎周辺での建設工事に伴う停車車両の遮へい効果のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ 15 深谷(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ

16 富岡町富岡



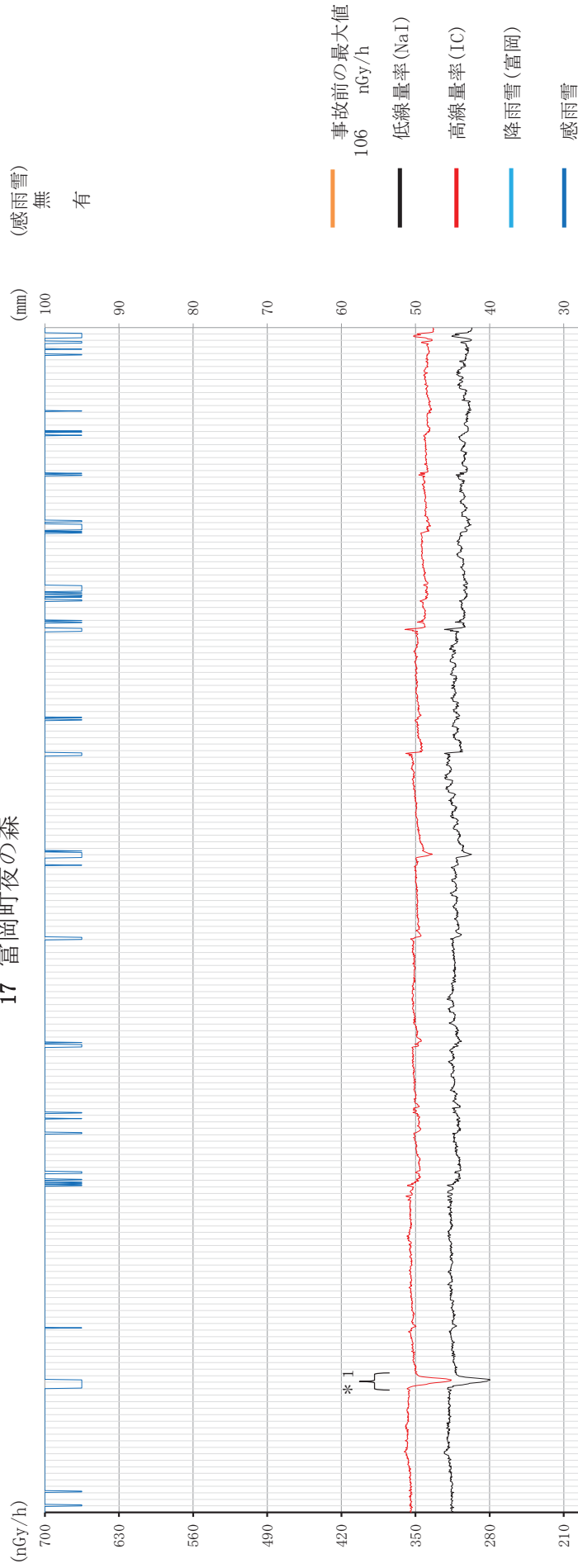
6月

5月

4月

*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
17 富岡町夜の森



6月

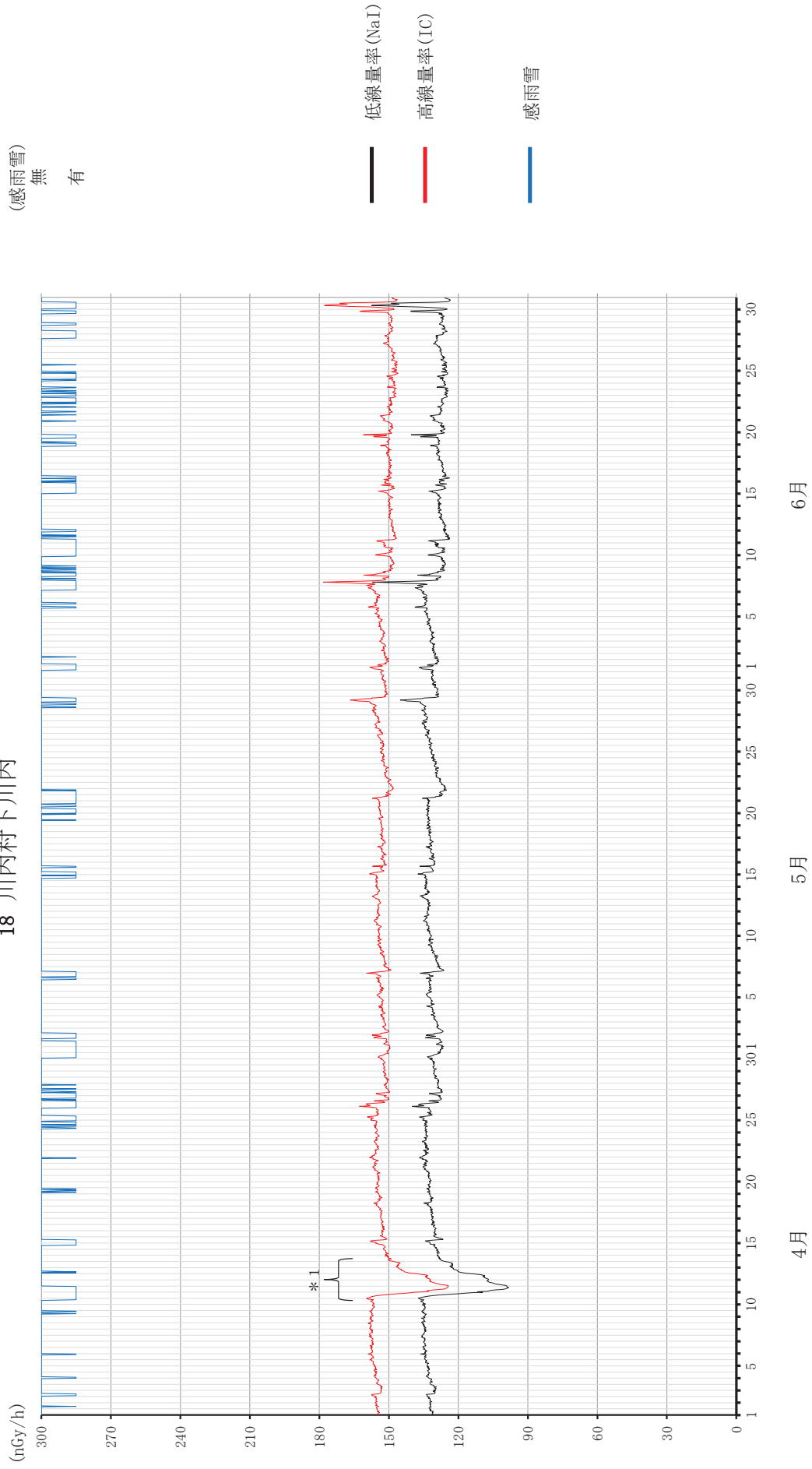
5月

4月

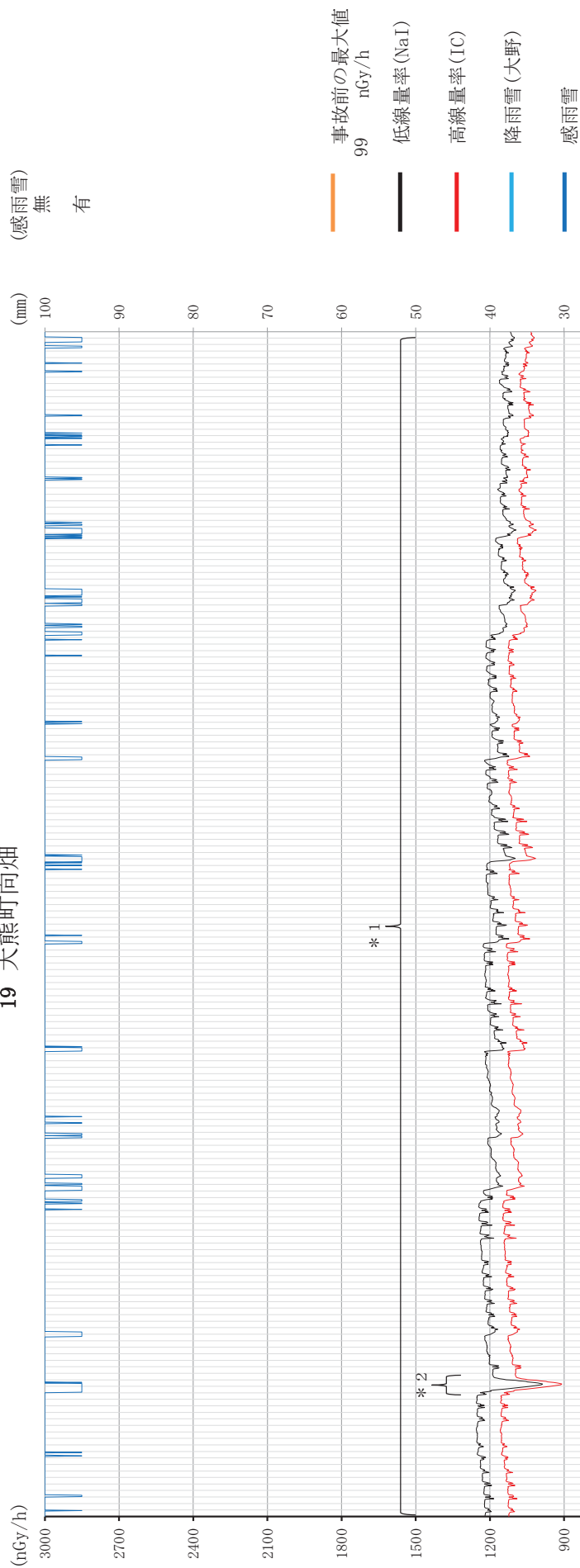
* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

18 川内村下川内



空間線量率の変動グラフ
19 大熊町向畑



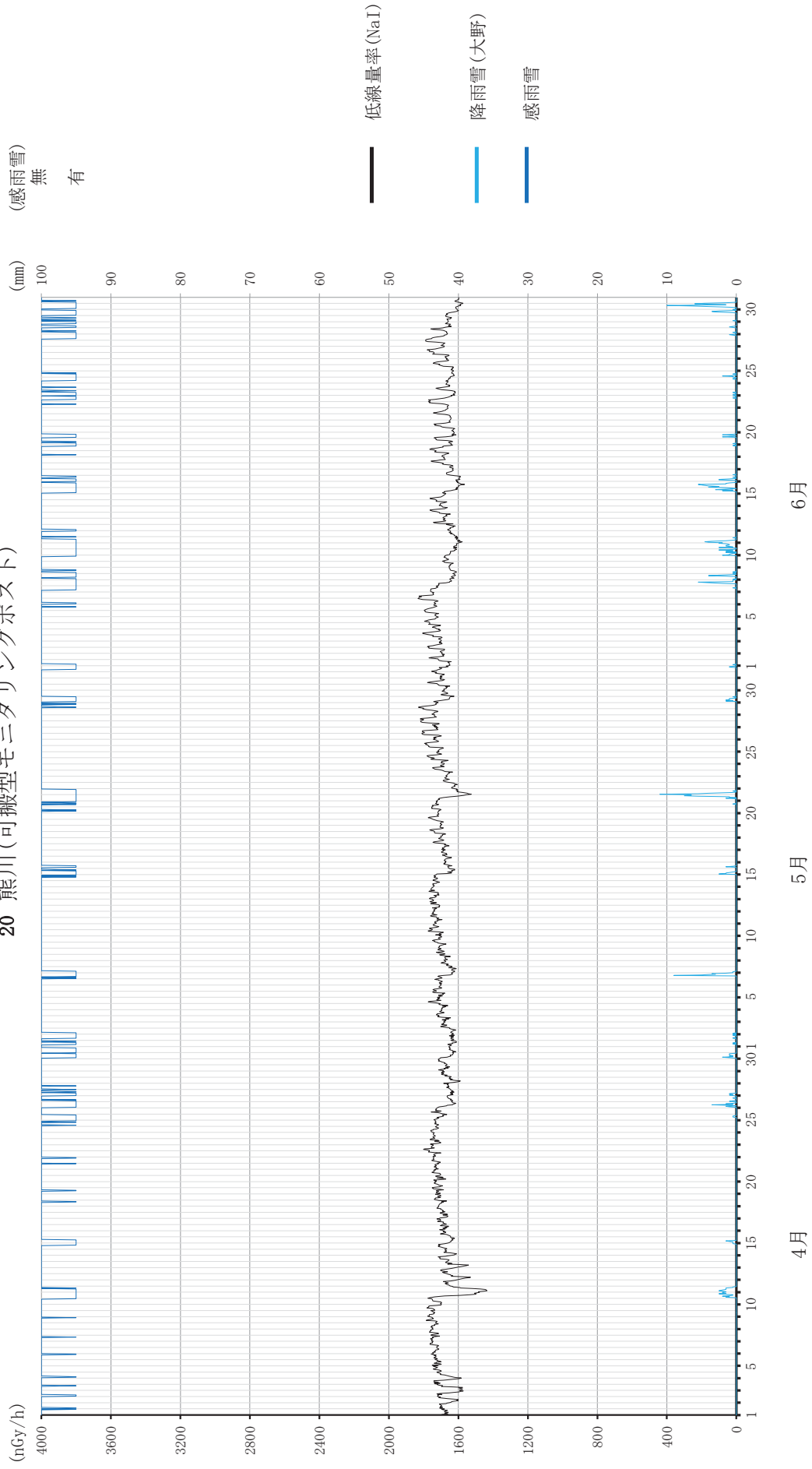
4月

5月

6月

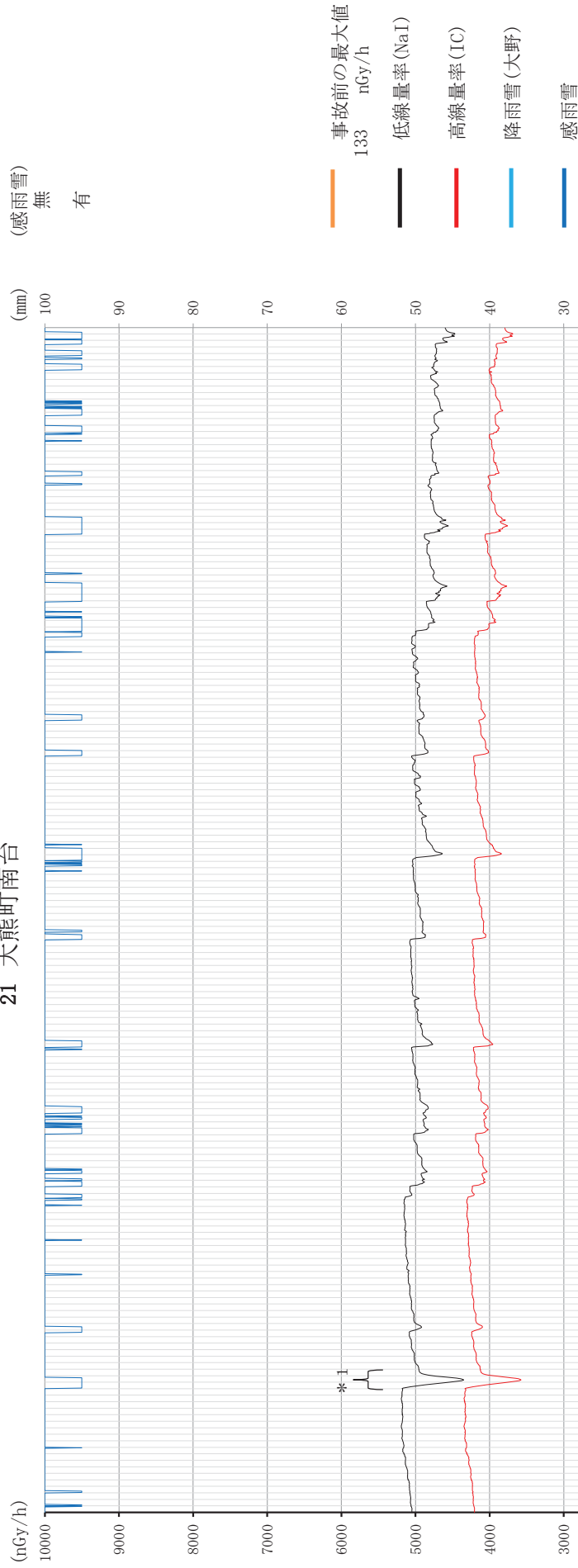
* 1 入城ゲート通過渋滞に伴う停車車両の遮へい効果のため線量率低下
* 2 4月10～11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
20 熊川(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ

21 大熊町南台



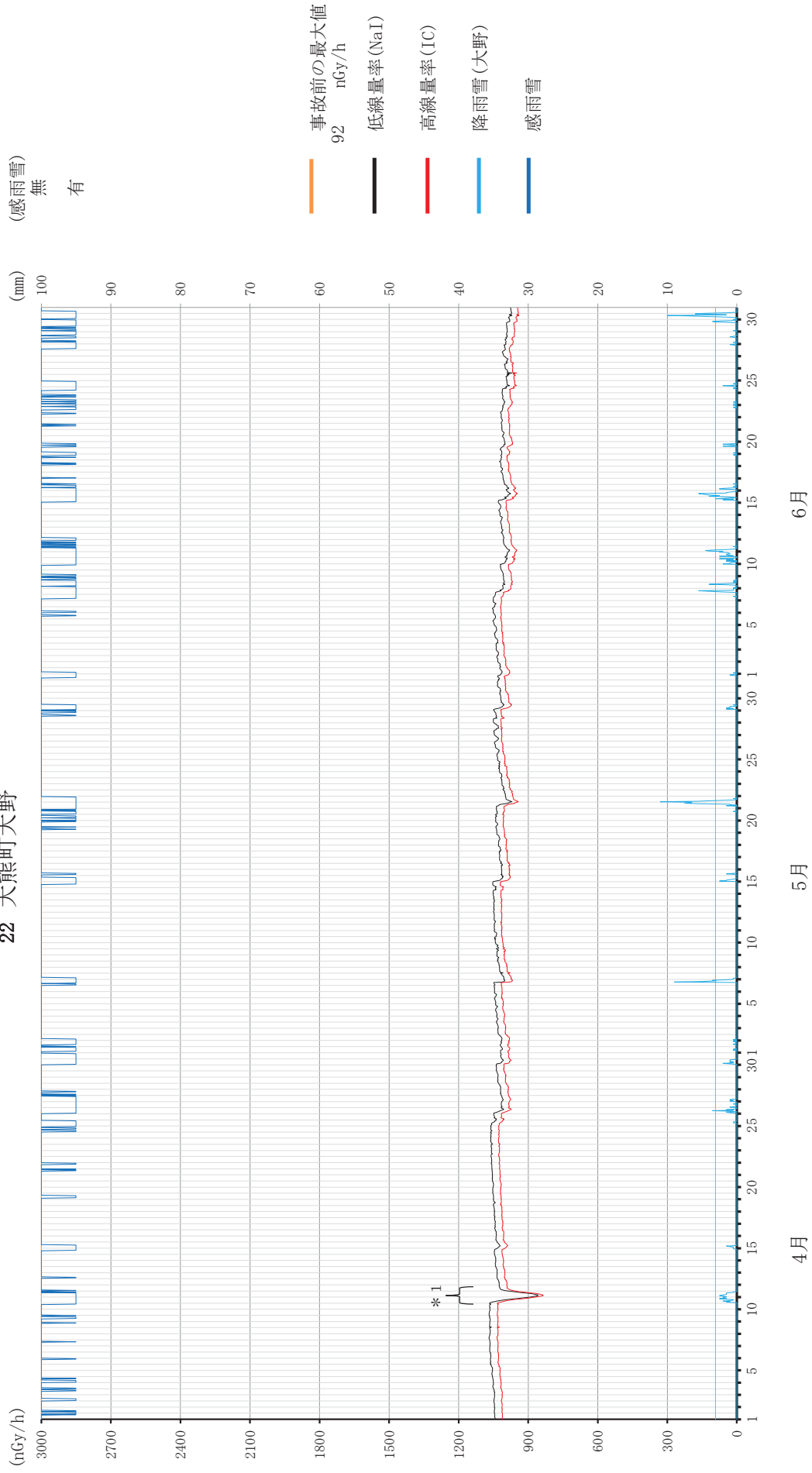
6月

5月

4月

*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

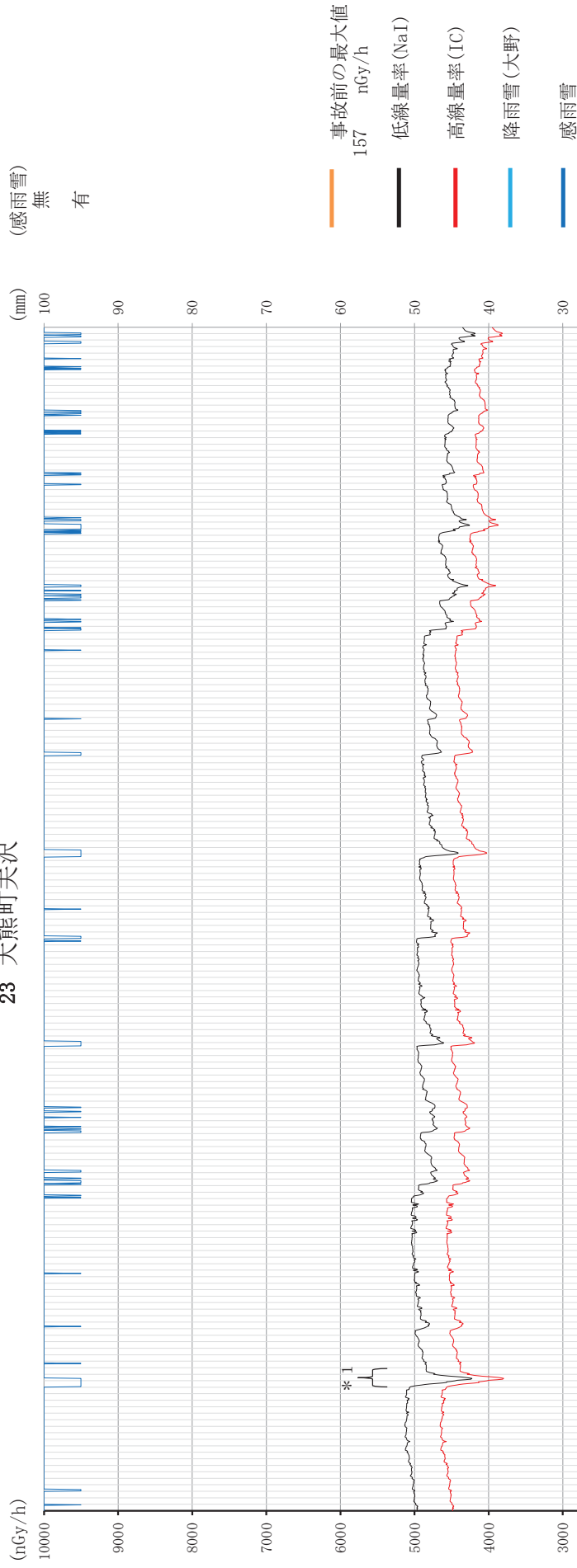
空間線量率の変動グラフ
22 大熊町大野



* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

23 大熊町夫沢



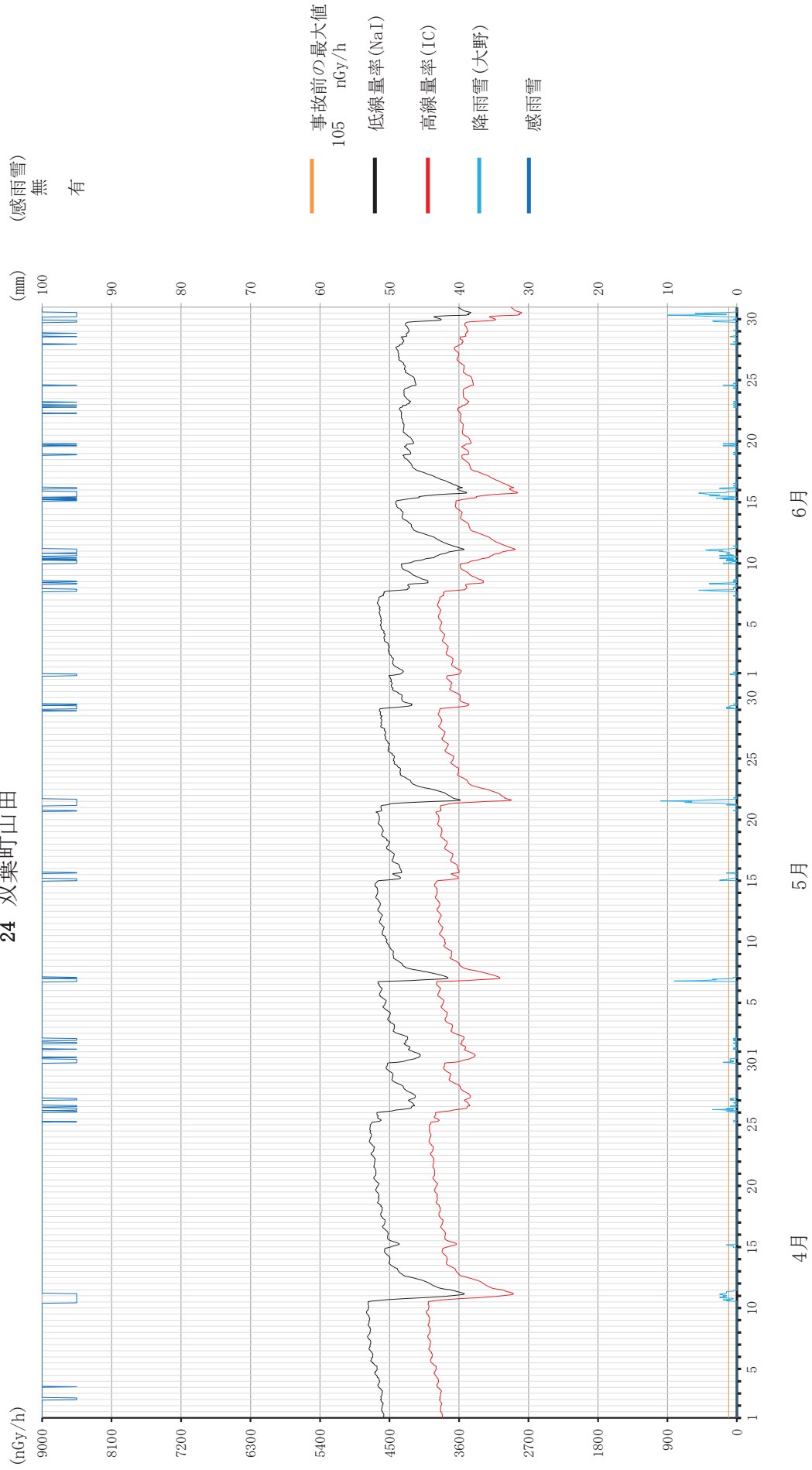
6月

5月

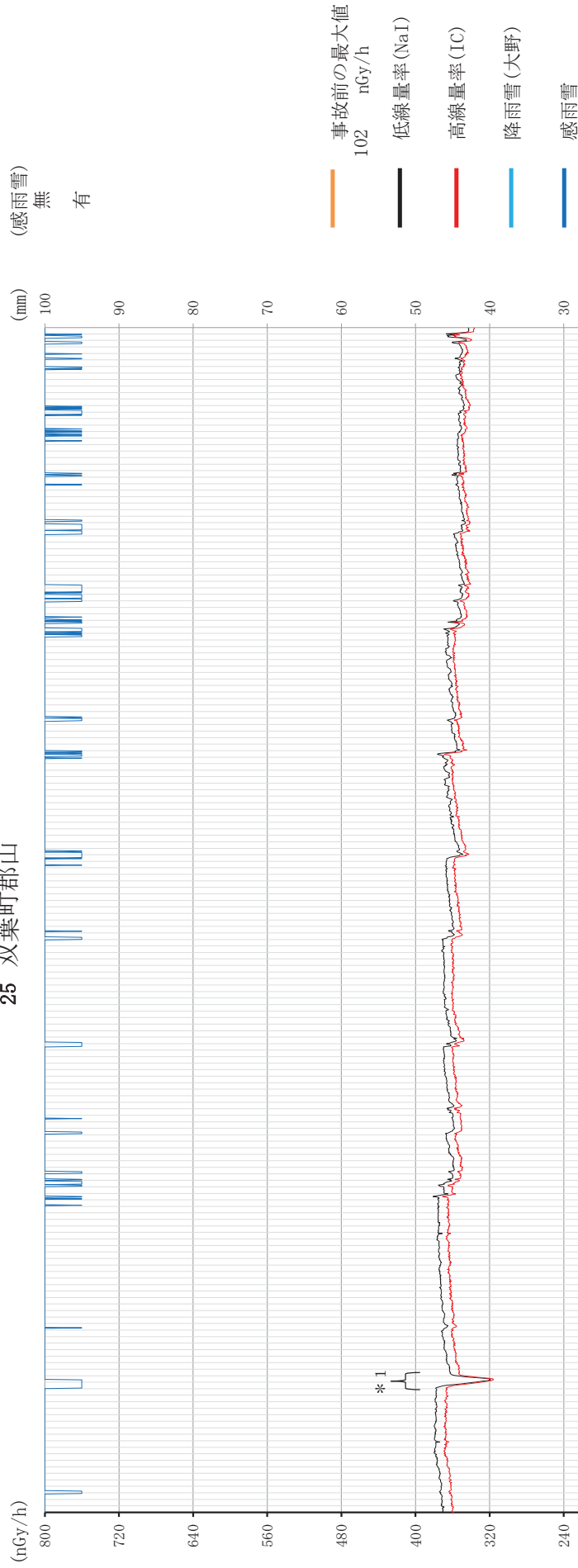
4月

*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
24 双葉町山田



空間線量率の変動グラフ
25 双葉町郡山



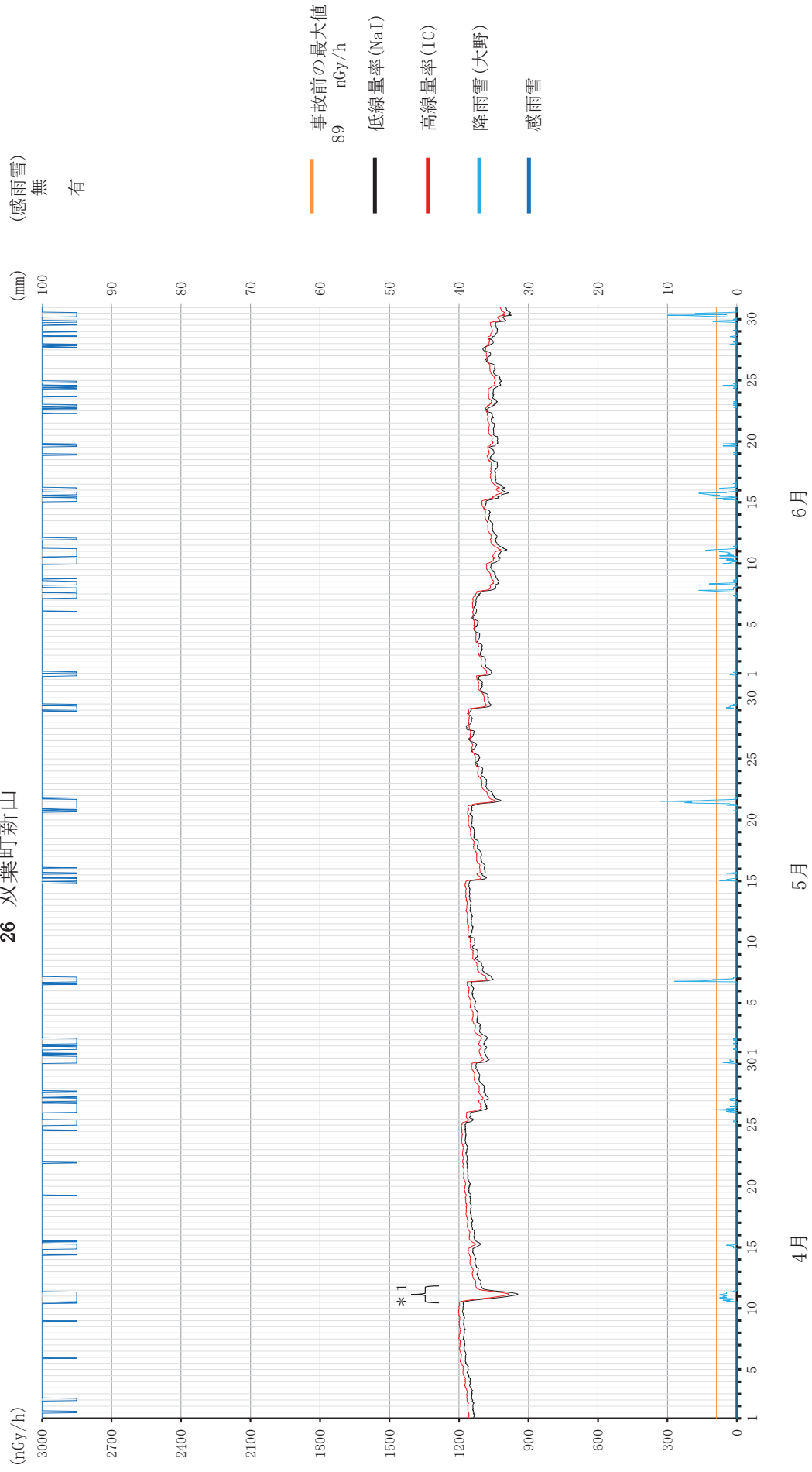
6月

5月

4月

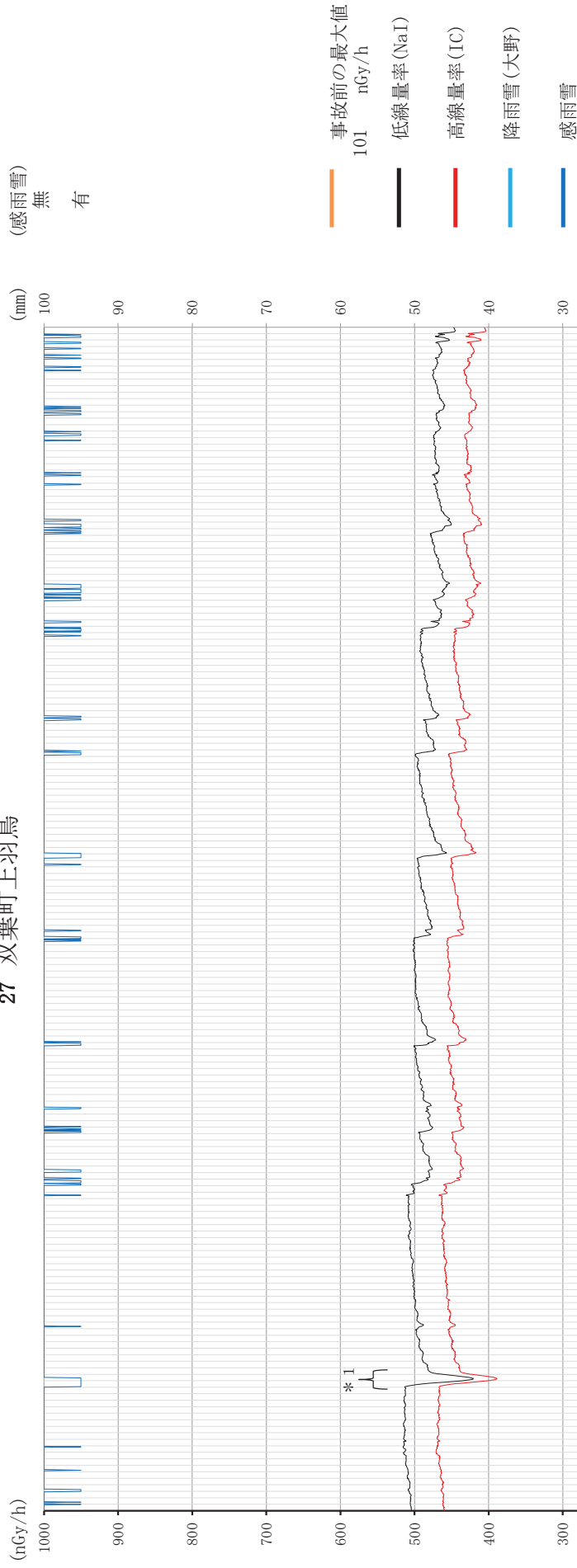
*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ 26 双葉町新山



* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
27 双葉町上羽鳥



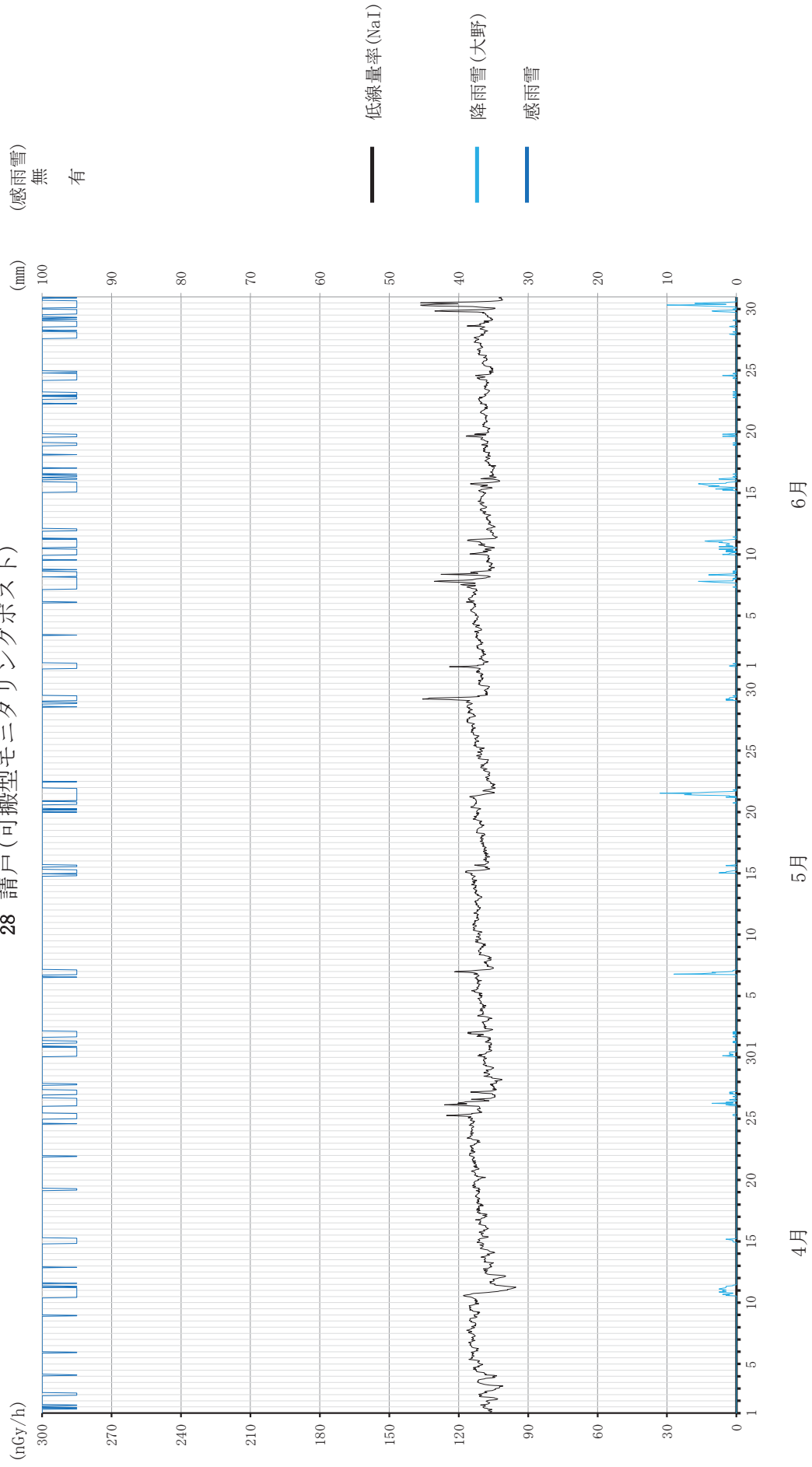
6月

5月

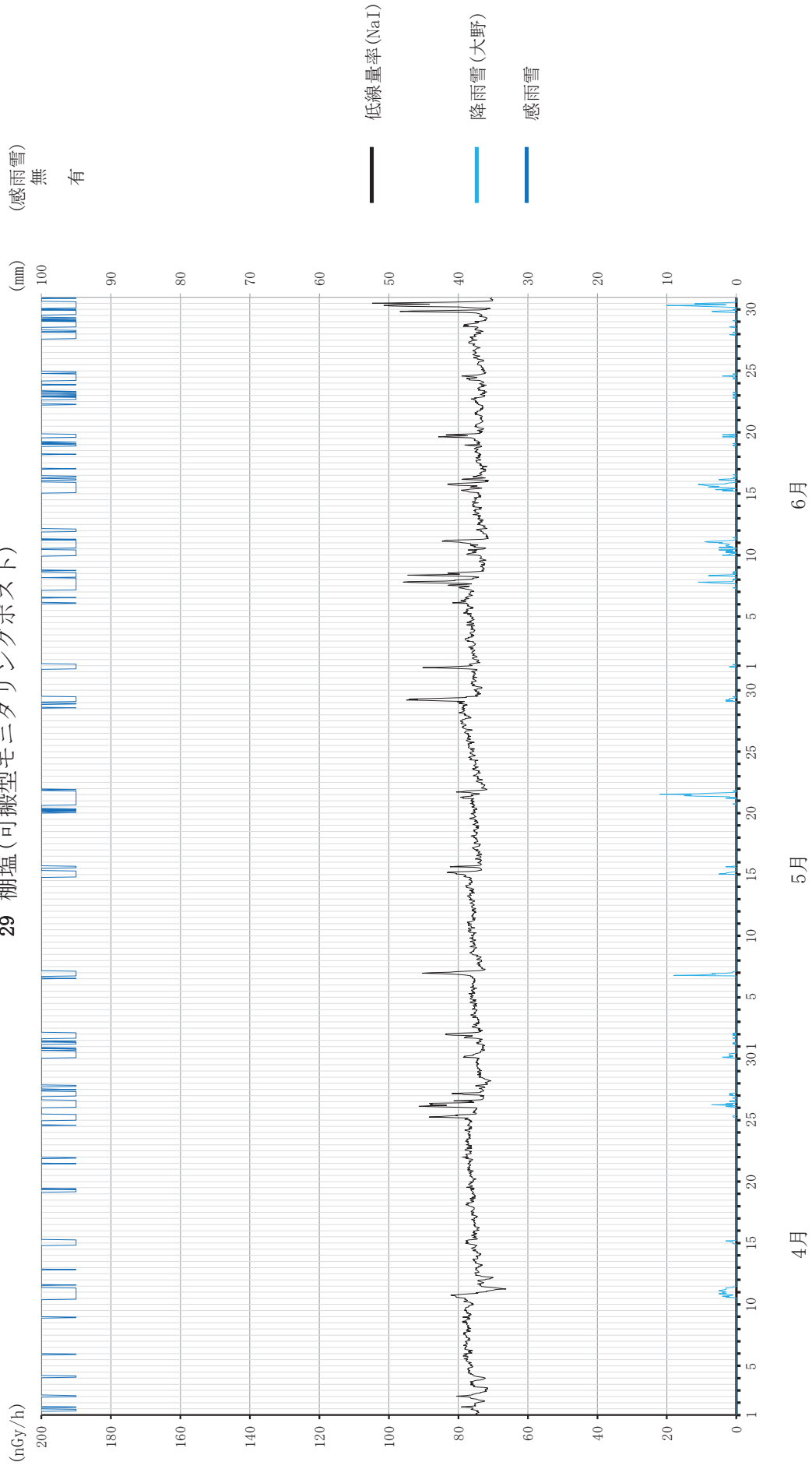
4月

* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

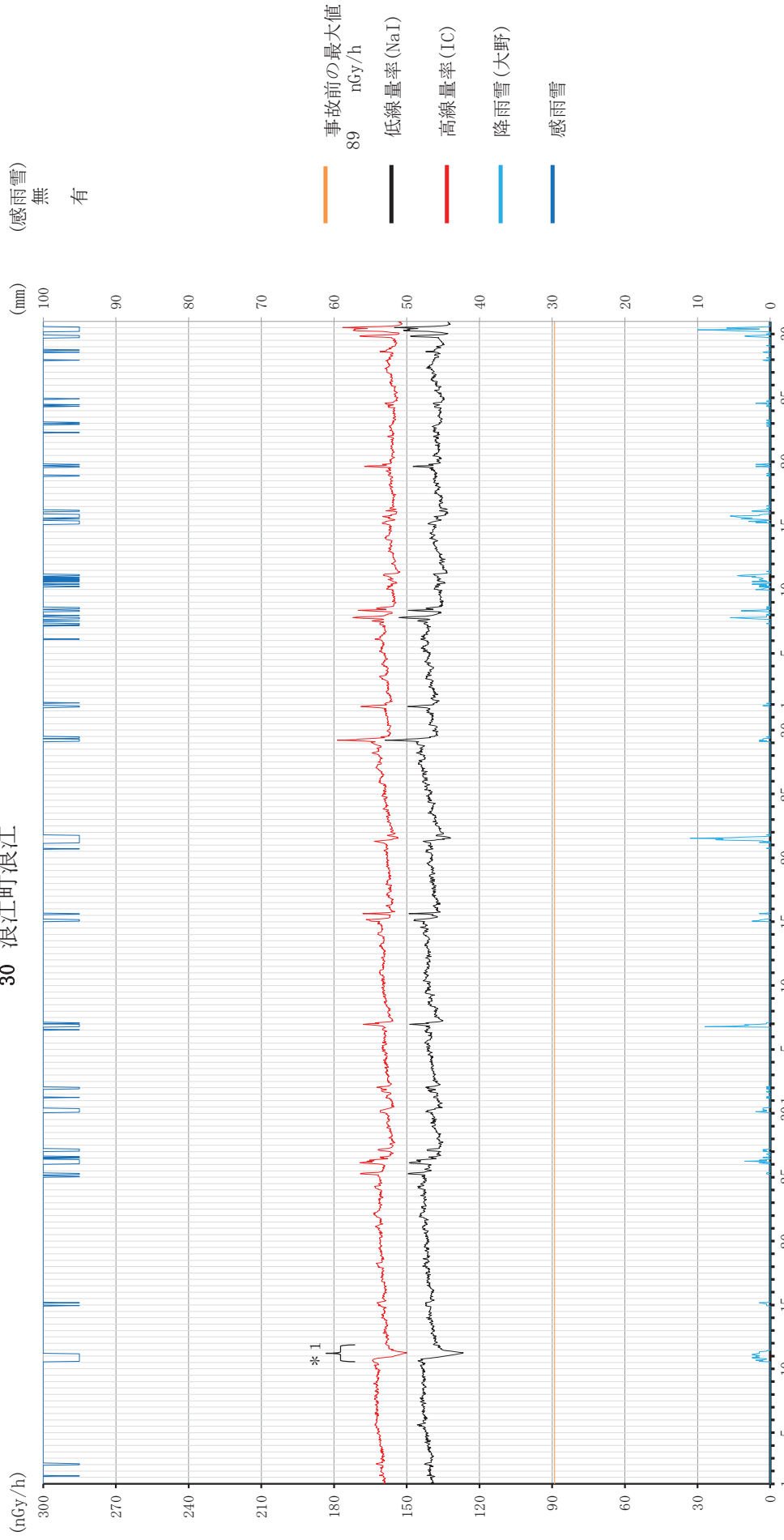
空間線量率の変動グラフ 28 請戸(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ 29 棚塩(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ
30 浪江町浪江



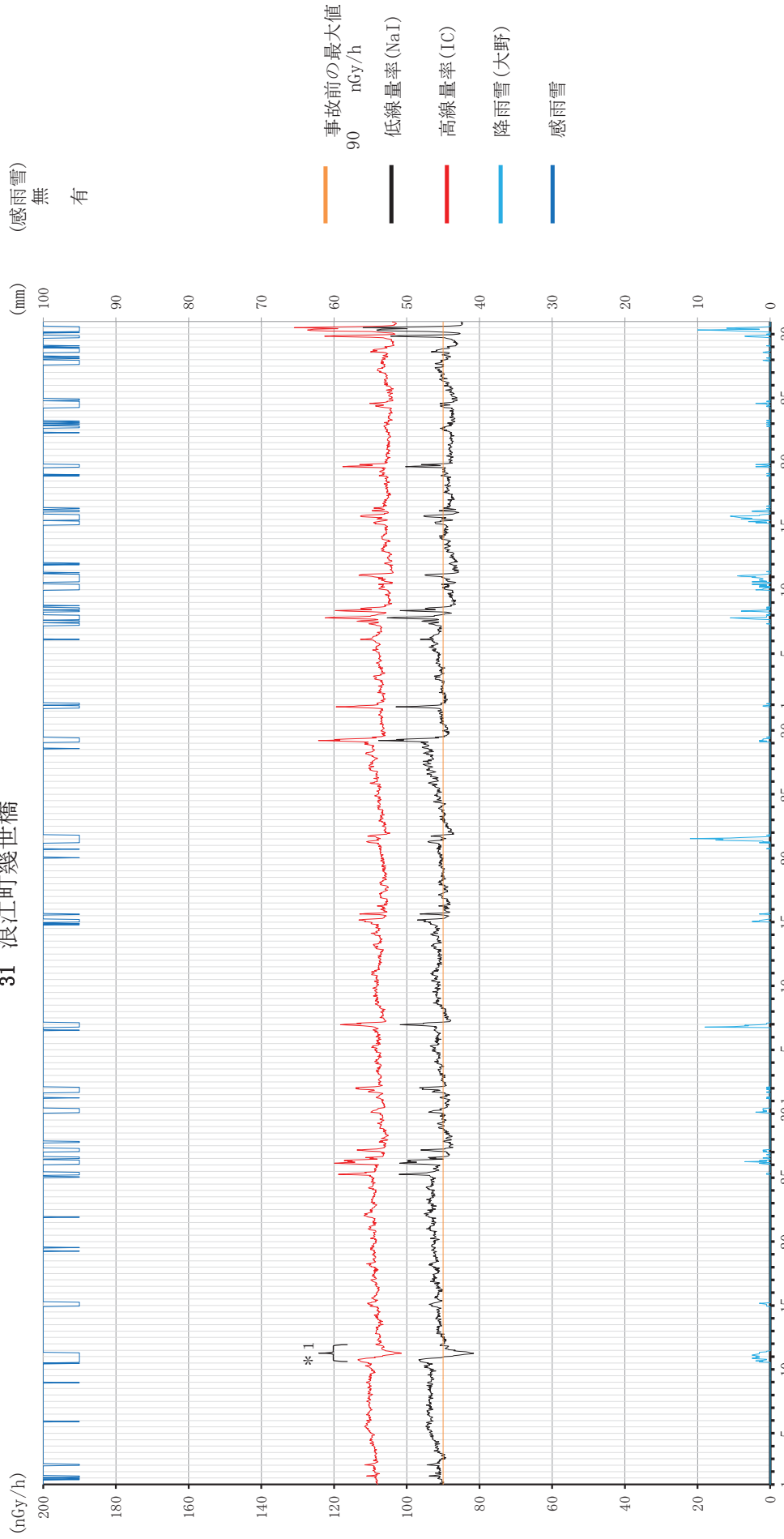
6月

5月

4月

*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
31 浪江町幾世橋



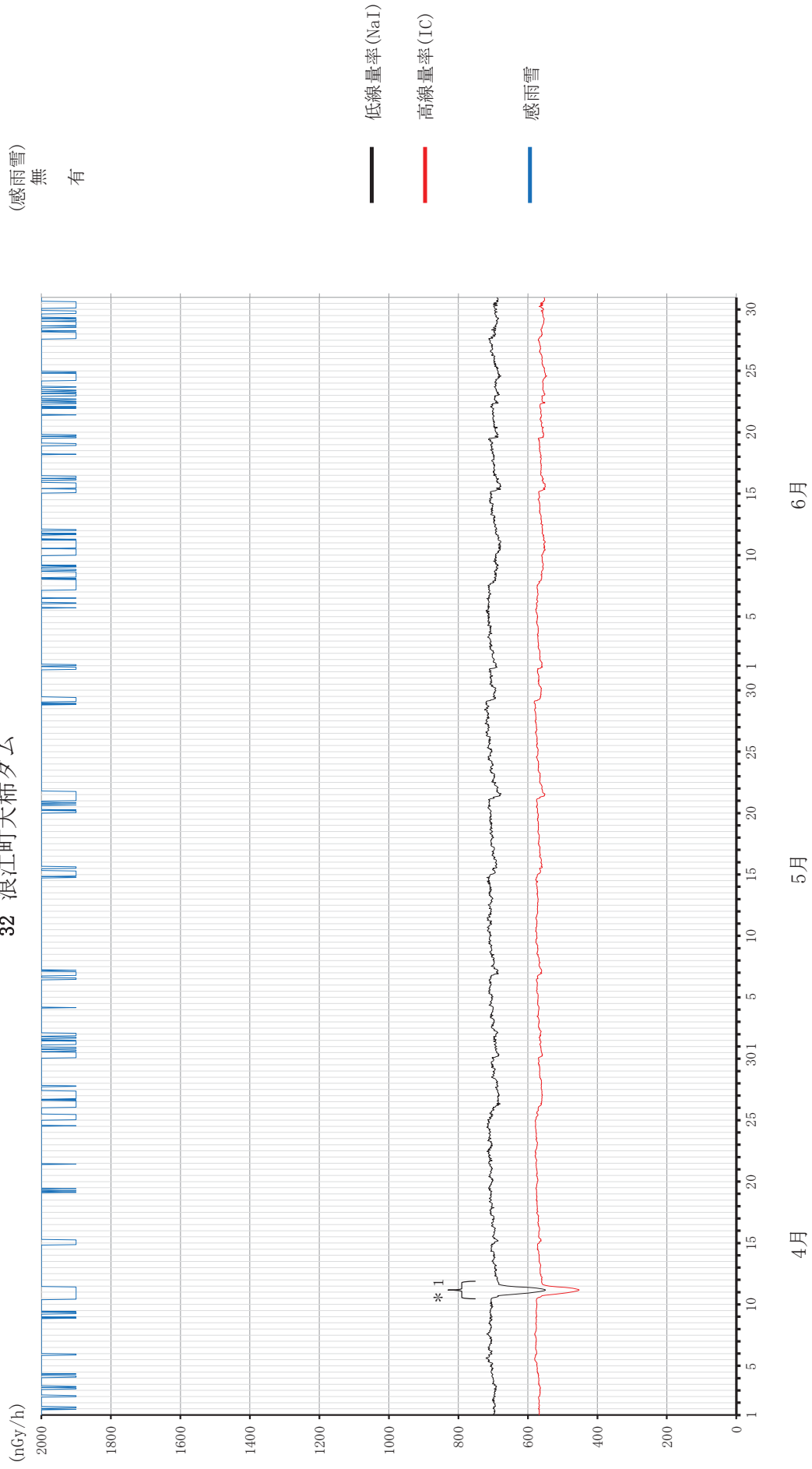
6月

5月

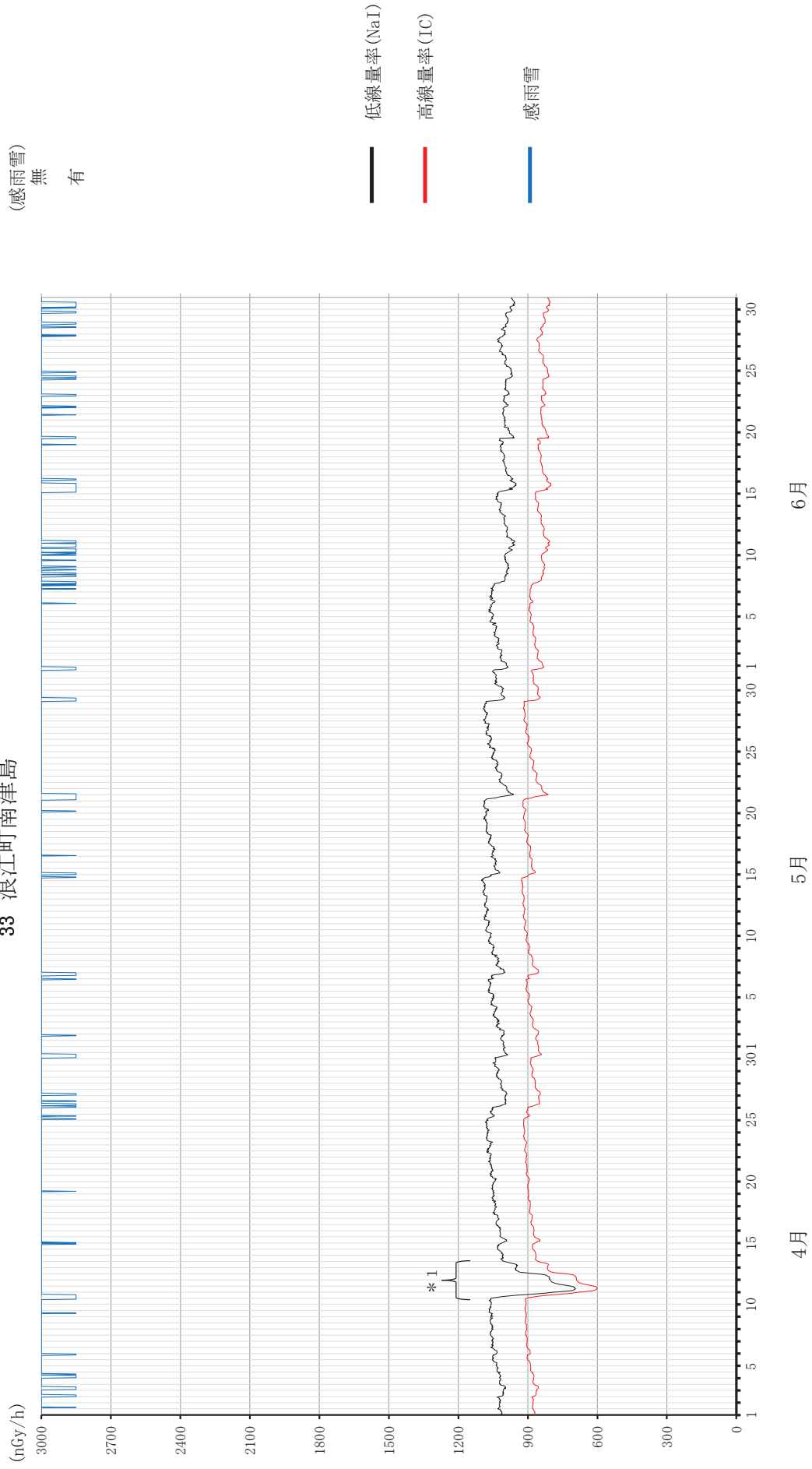
4月

*1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ 32 浪江町大柿ダム

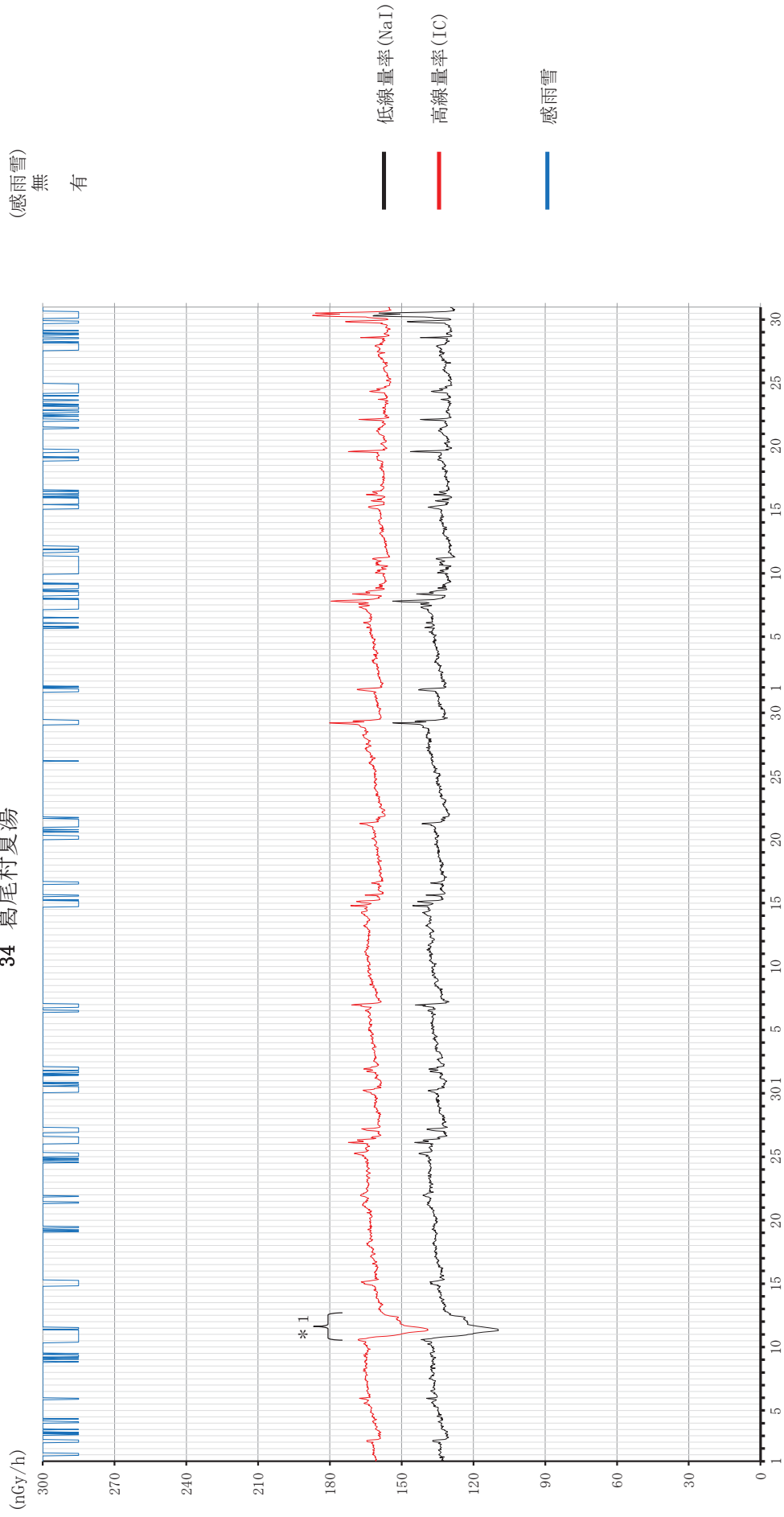


空間線量率の変動グラフ 33 浪江町南津島



空間線量率の変動グラフ

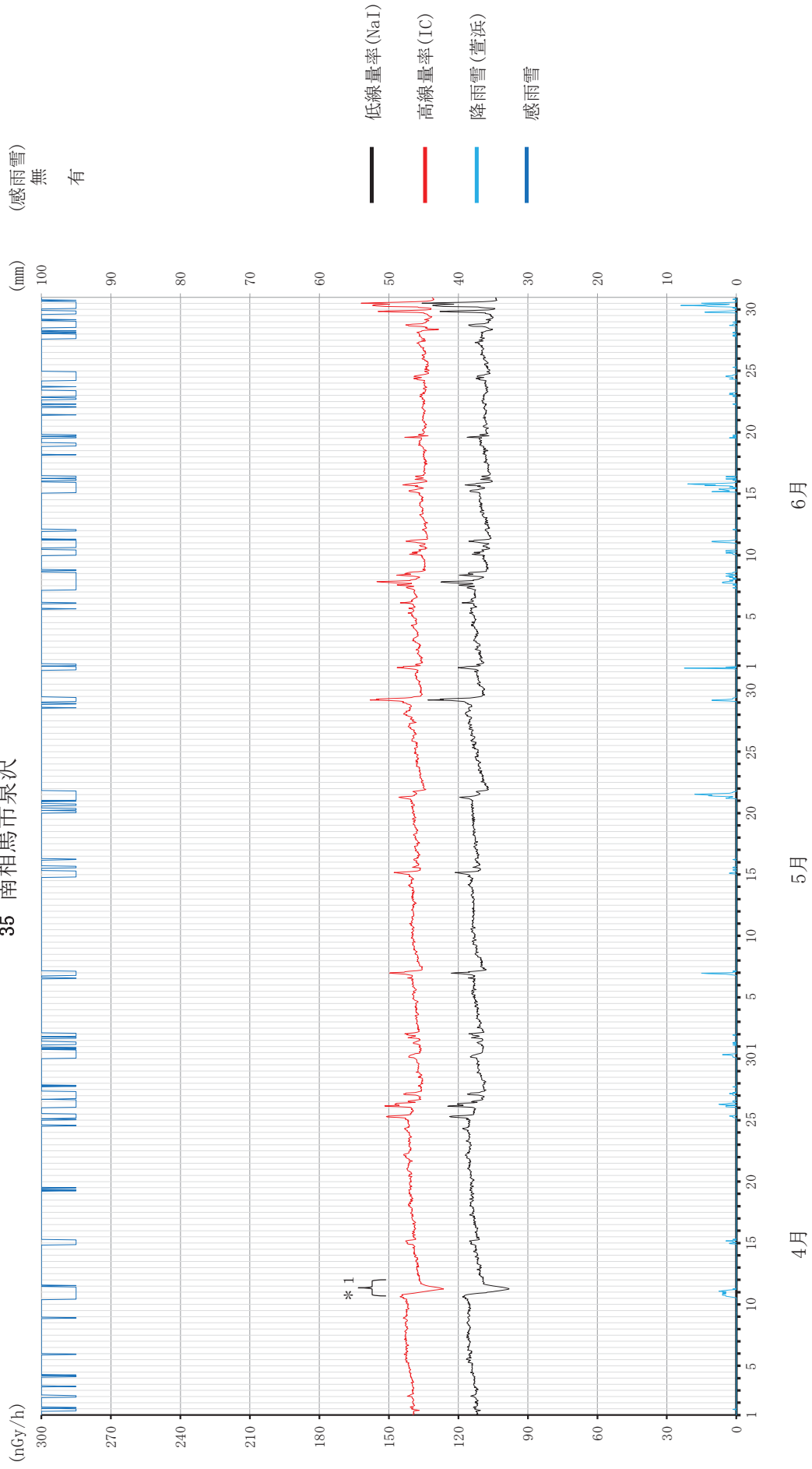
34 葛尾村夏湯



* 1 4月10～12日は積雪のため線量率低下

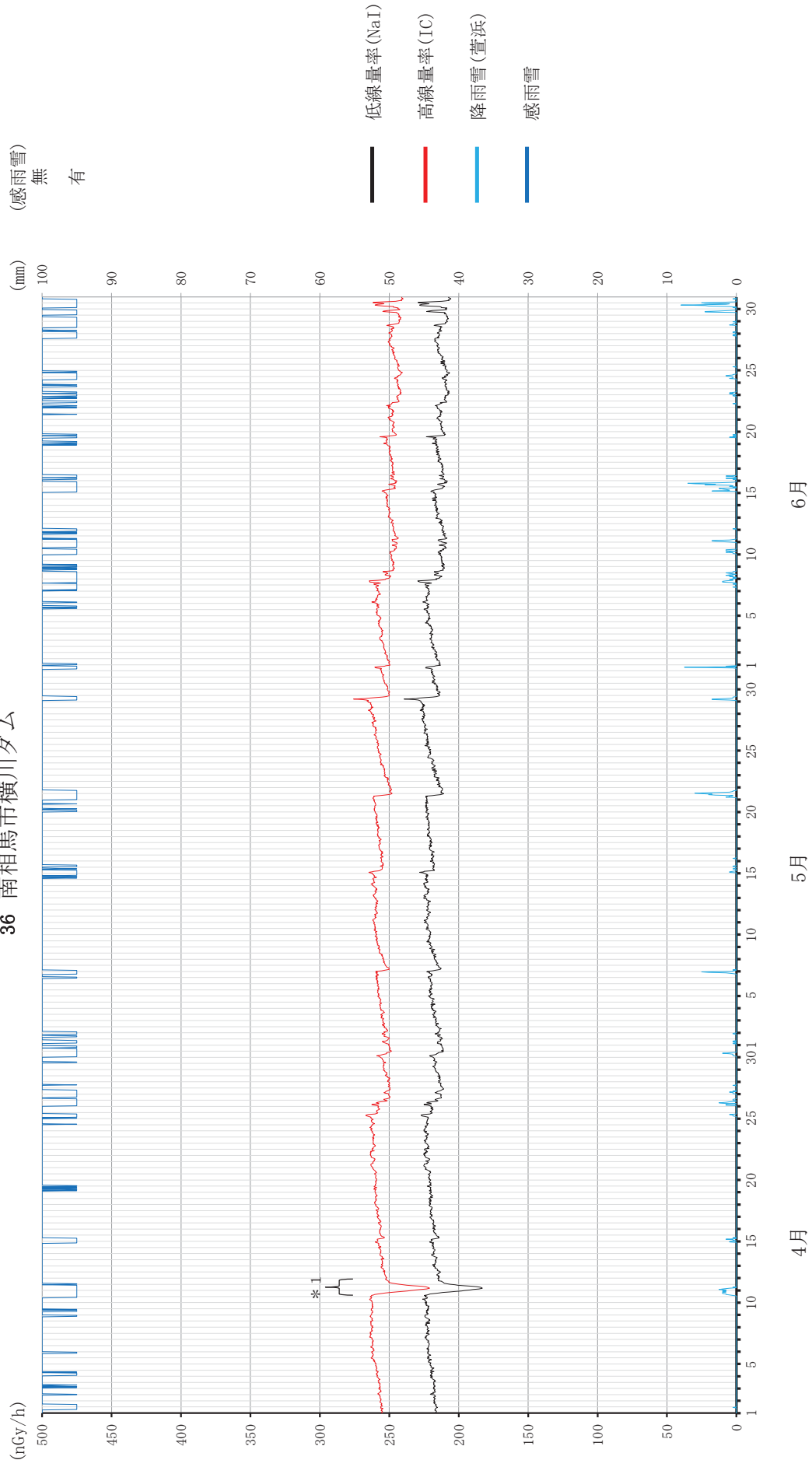
空間線量率の変動グラフ

35 南相馬市泉沢



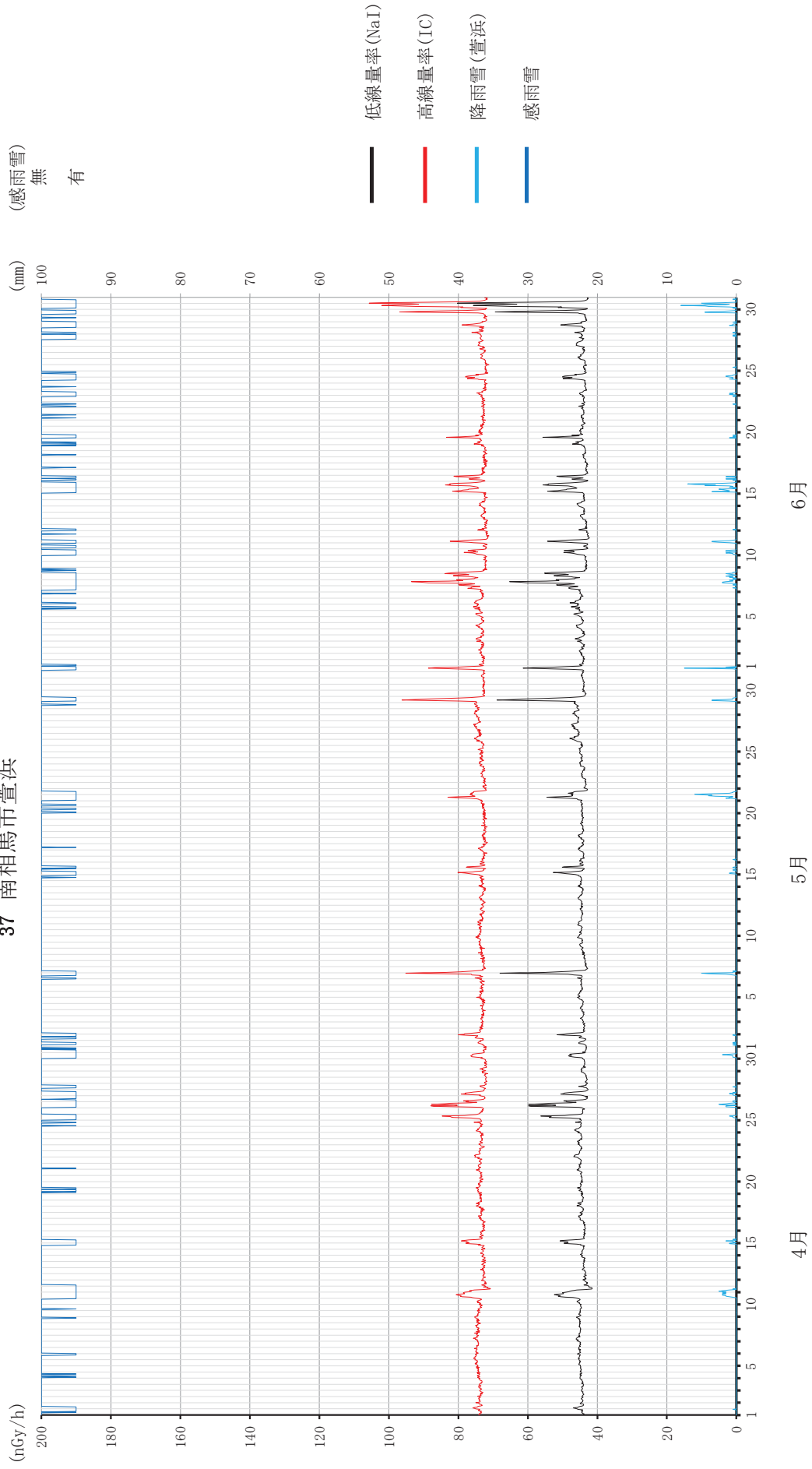
* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
36 南相馬市横川ダム



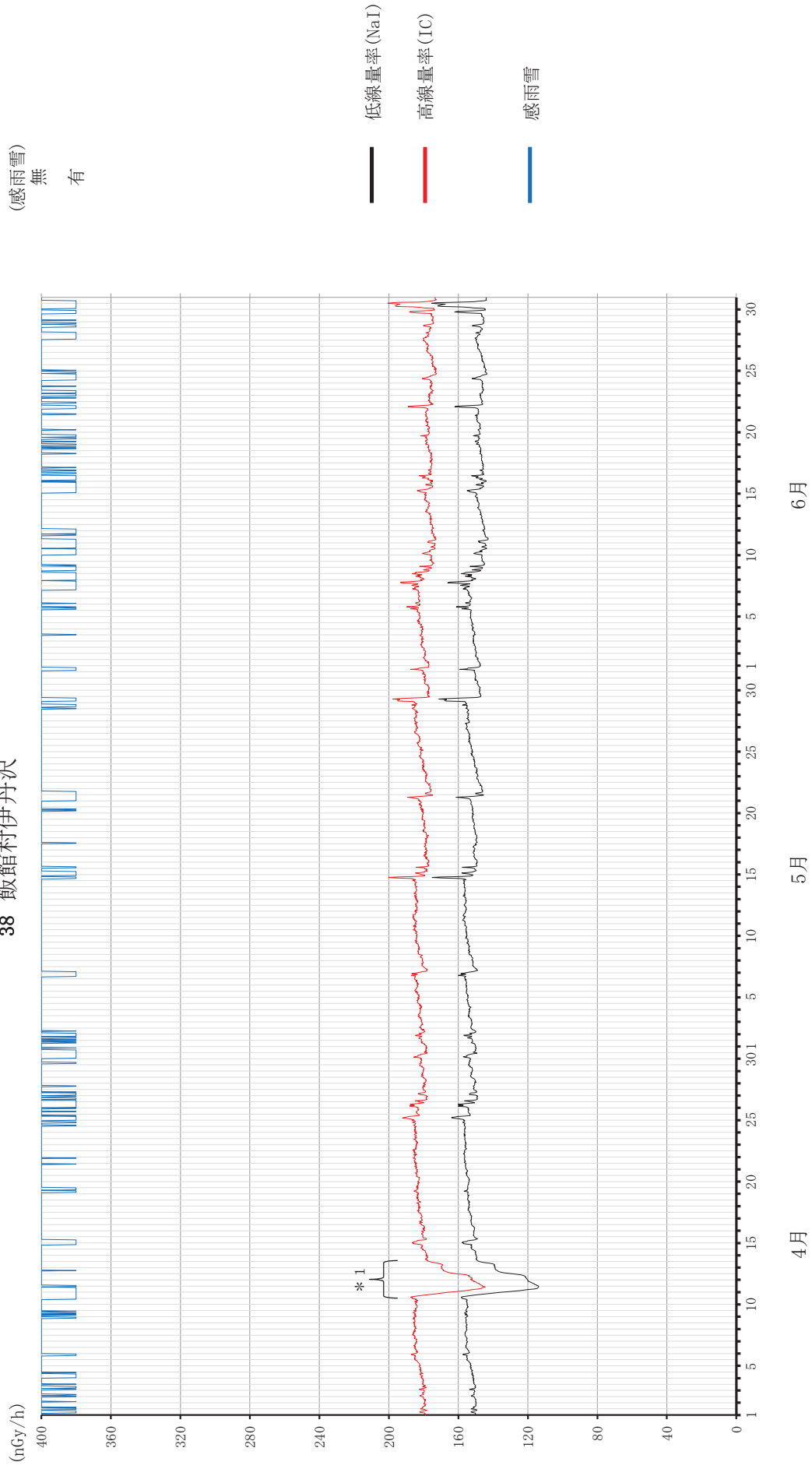
4月 5月 6月
* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ 37 南相馬市萱浜



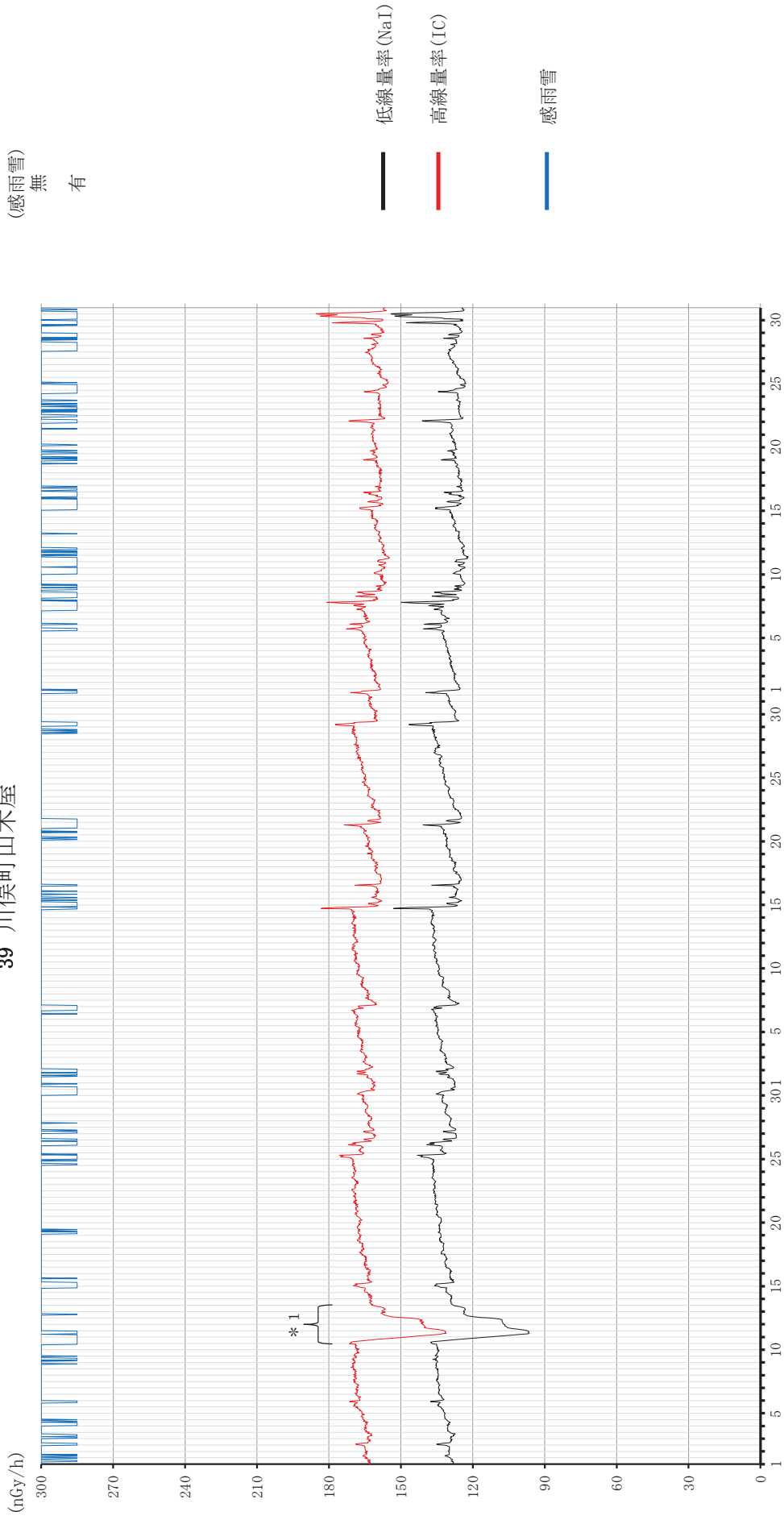
空間線量率の変動グラフ

38 飯館村伊丹沢



空間線量率の変動グラフ

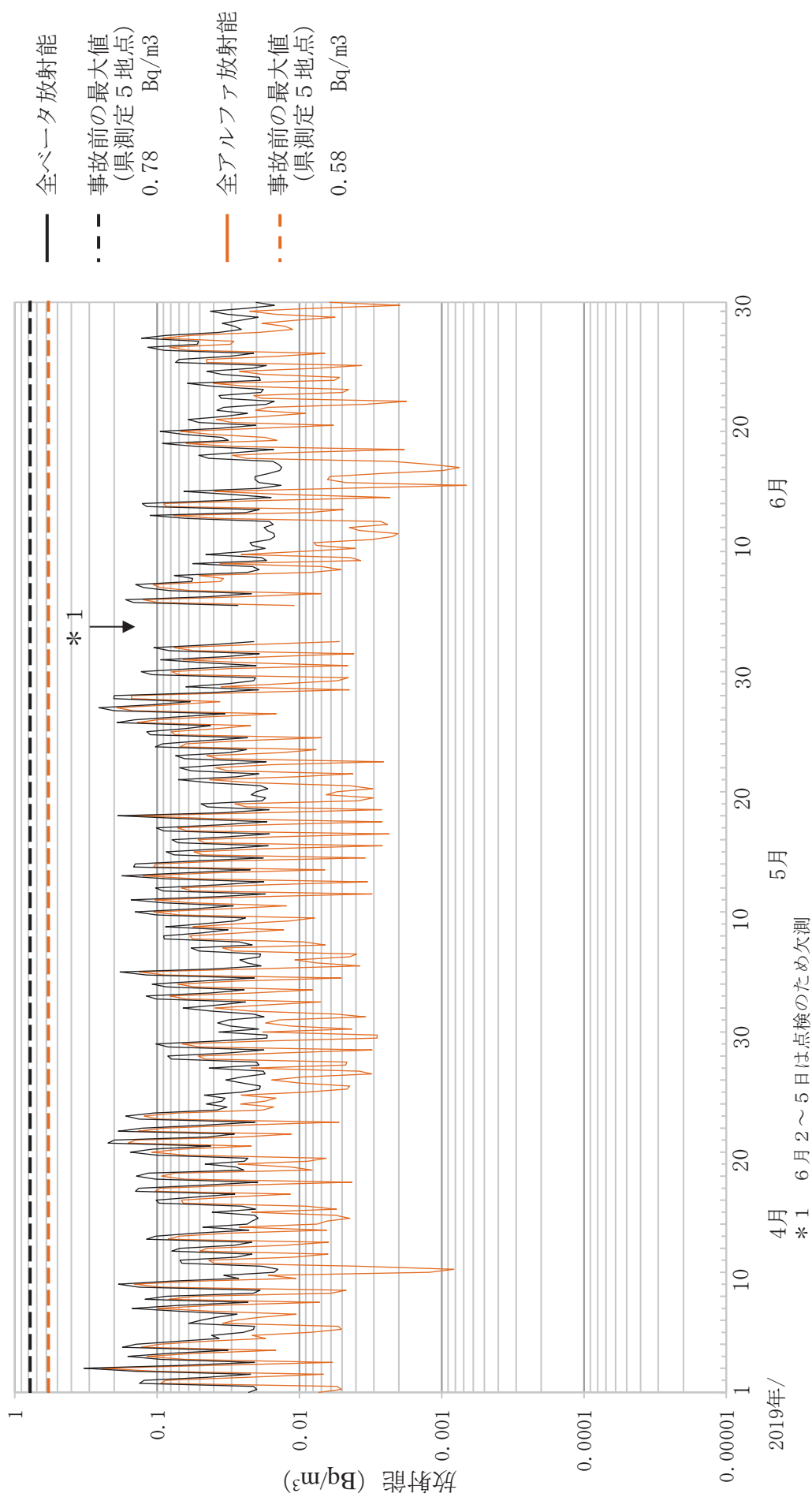
39 川俣町山木屋



* 1 4月10～13日は積雪のため線量率低下

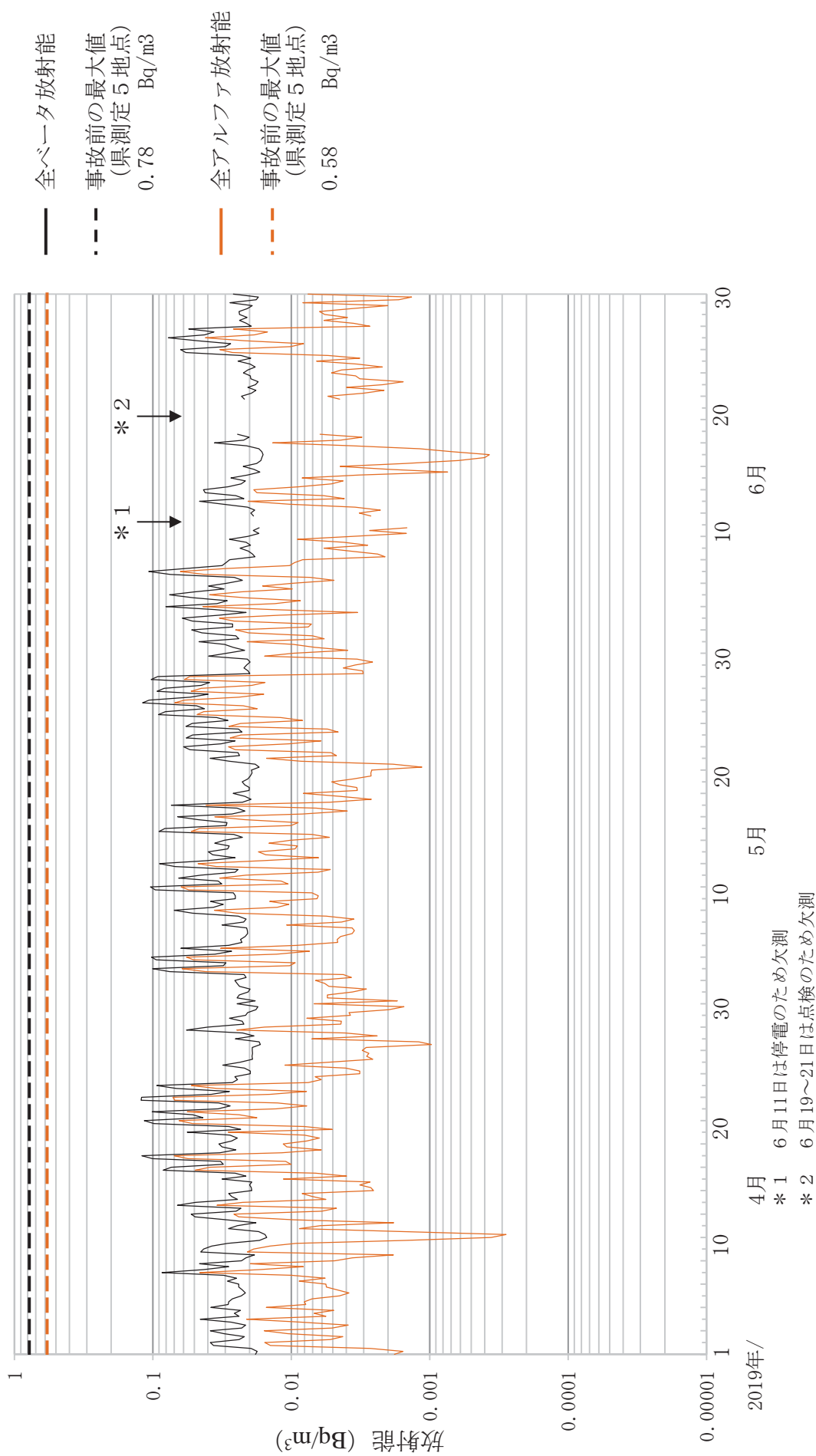
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

1 いわき市小川
(平成31年4月1日～6月30日)



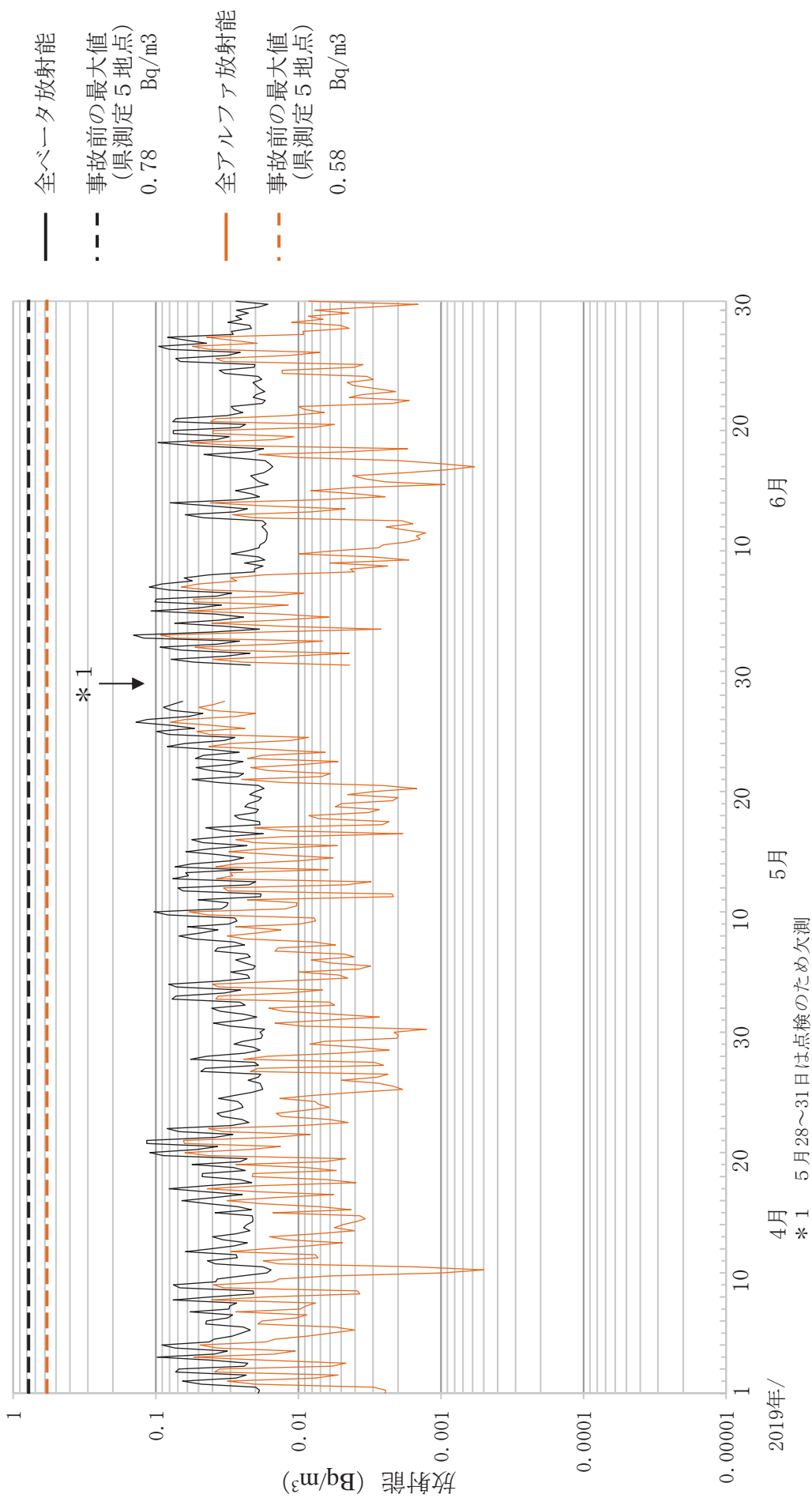
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

2 田村市都路馬洗戸
(平成31年4月1日～6月30日)



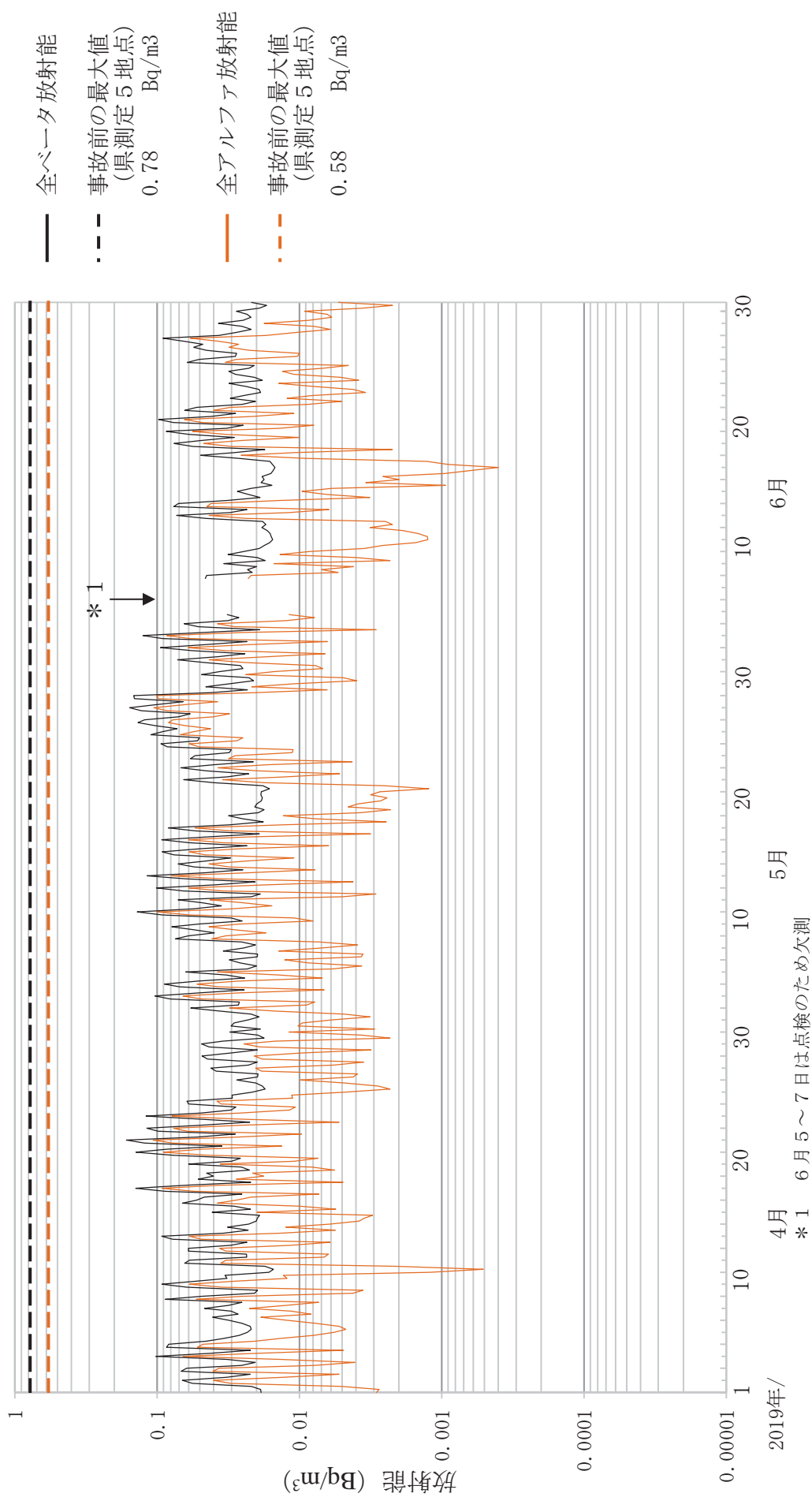
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

3 広野町小滝平
(平成31年4月1日～6月30日)



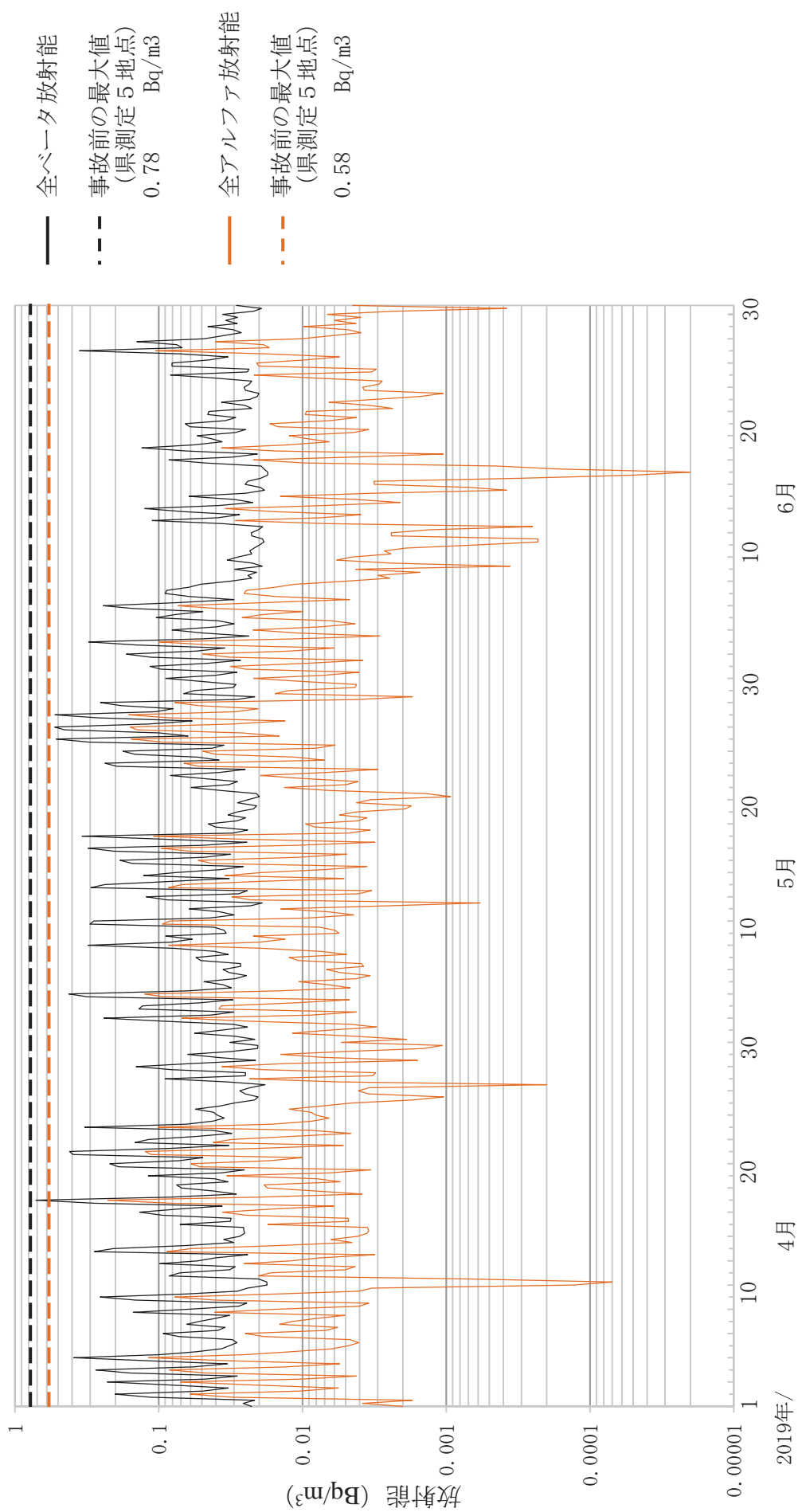
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

4 檜葉町木戸ダム
(平成31年4月1日～6月30日)



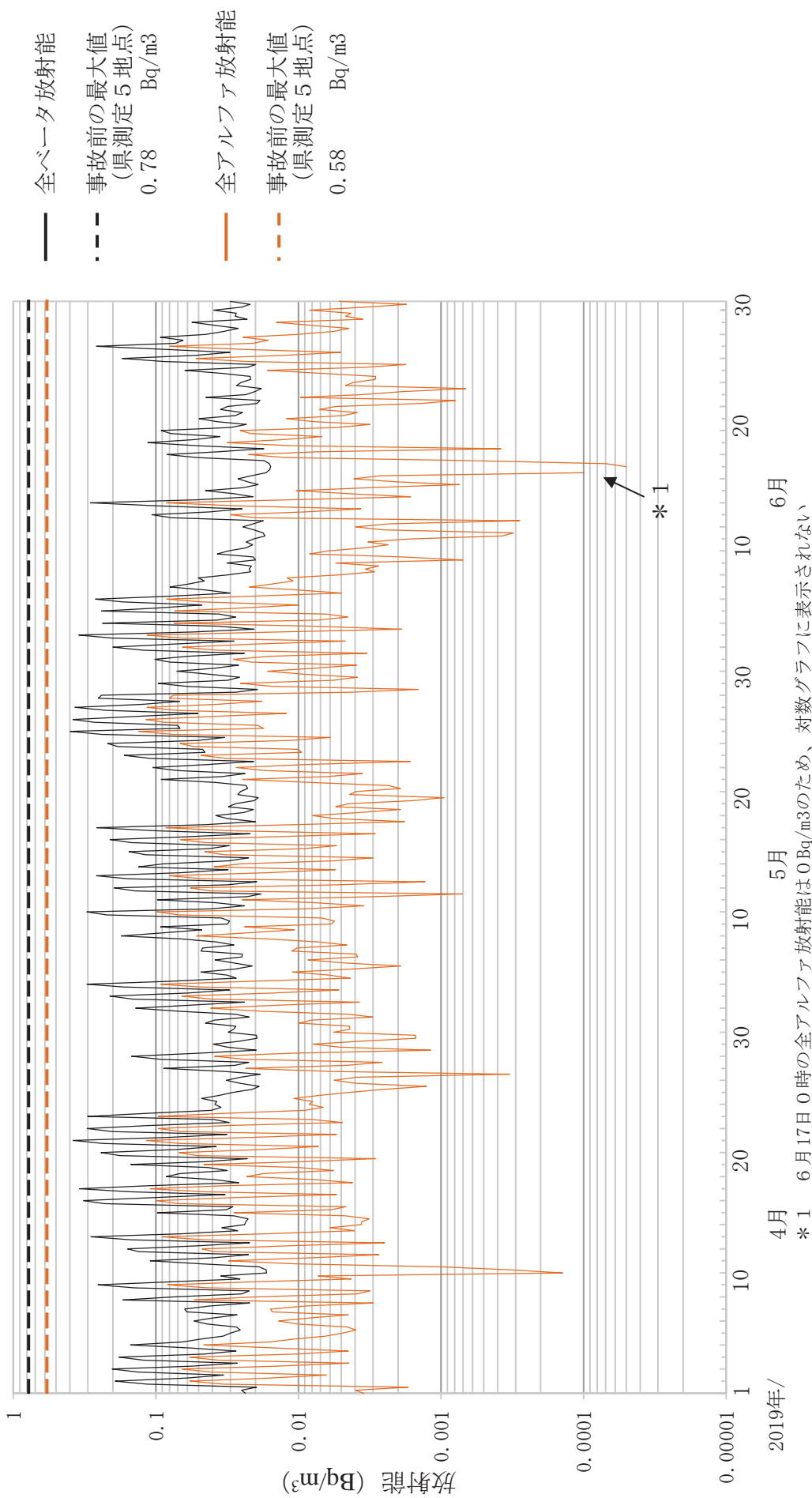
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

5 檜葉町繁岡
(平成31年4月1日～6月30日)



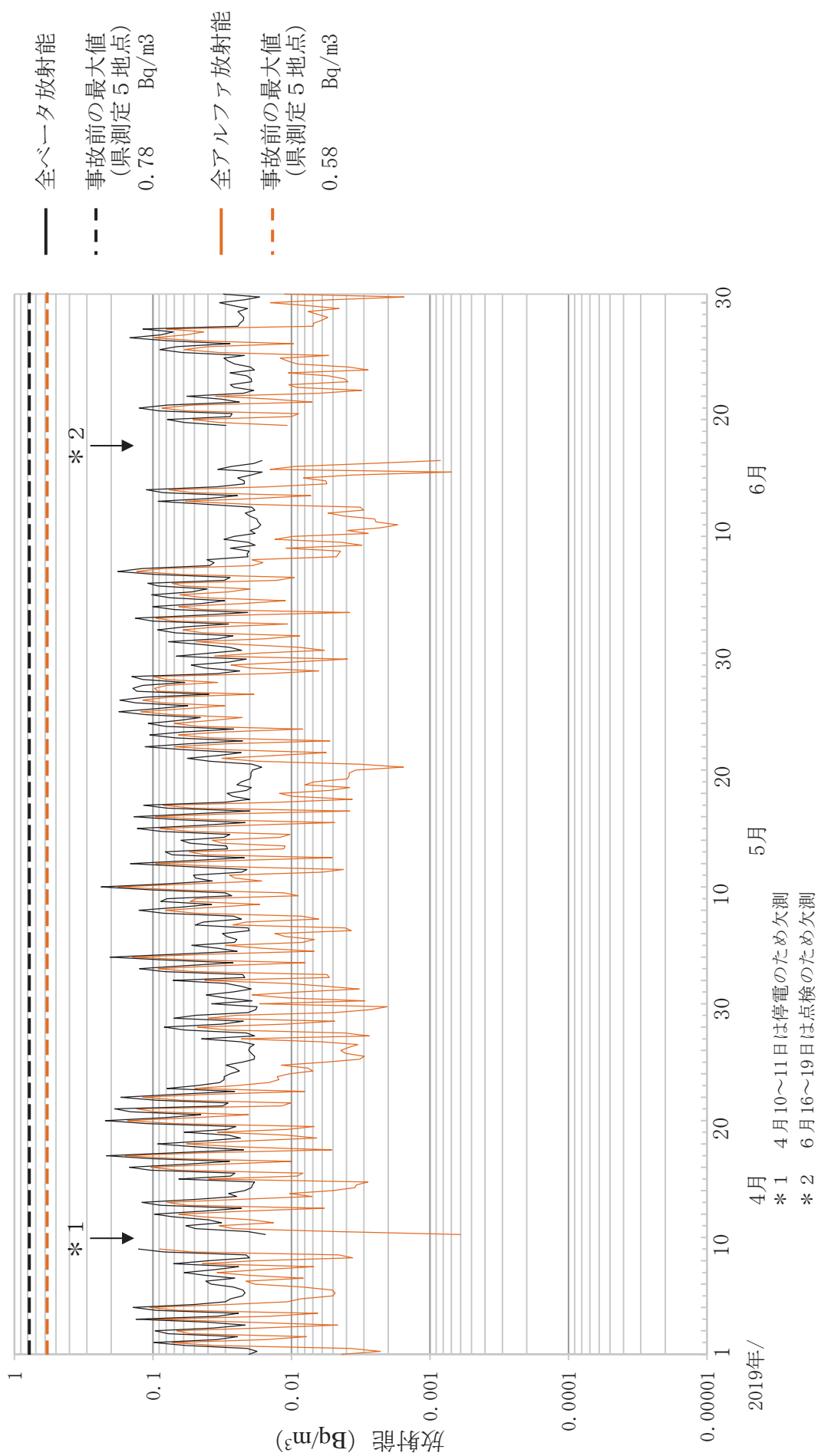
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

6 富岡町富岡
(平成31年4月1日～6月30日)



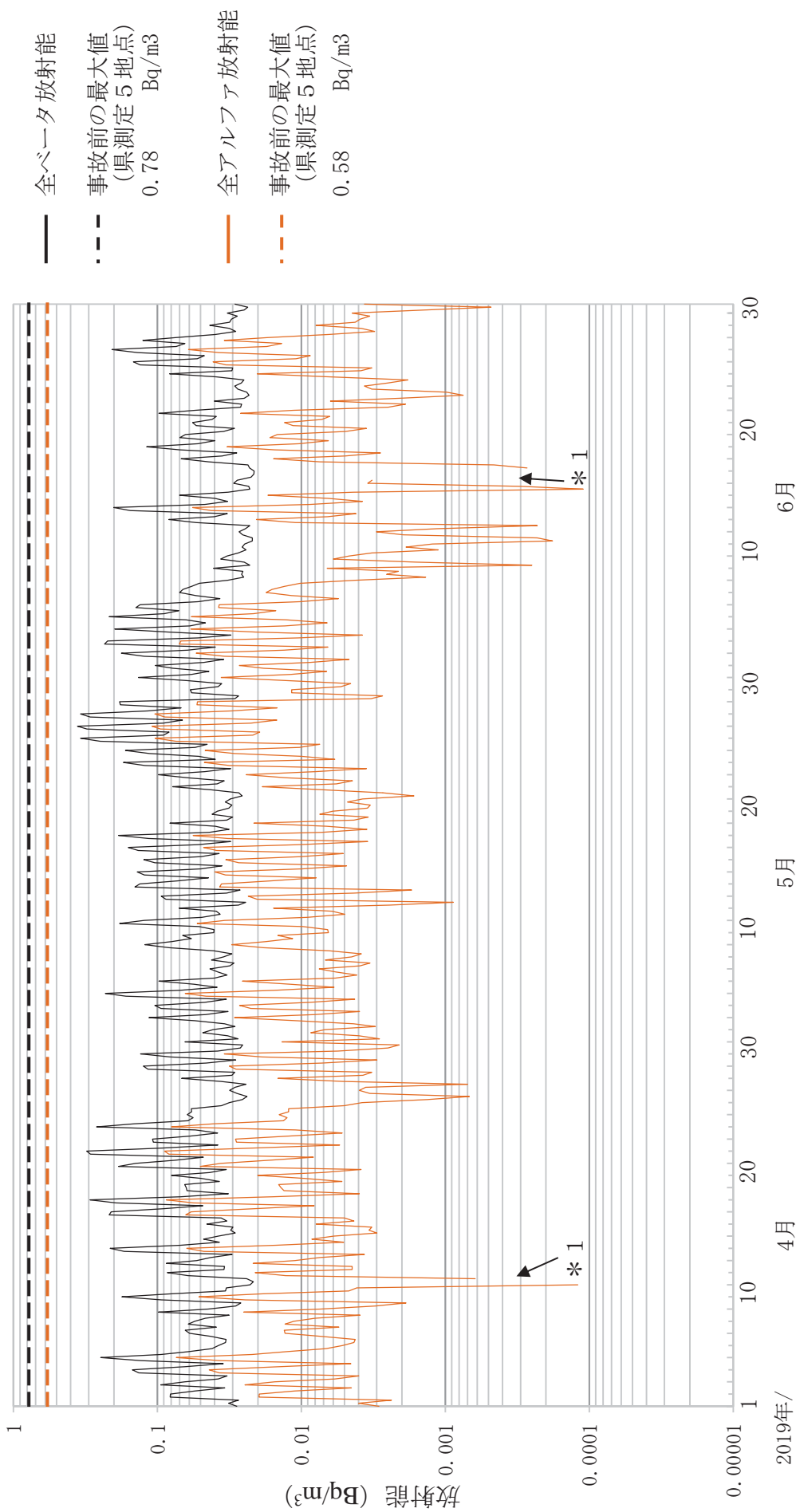
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

7 川内村下川内
(平成31年4月1日～6月30日)



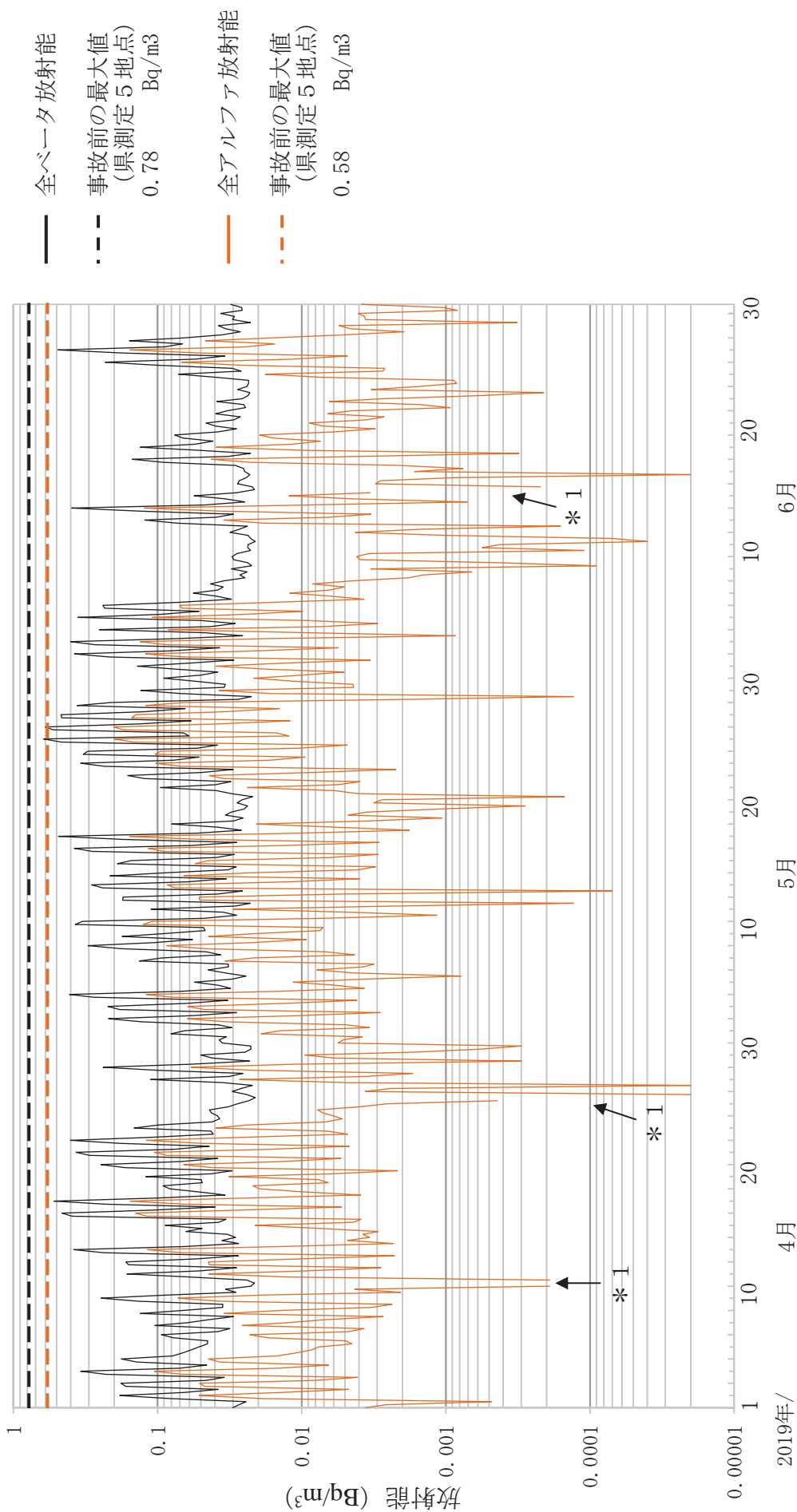
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

8 大熊町大野
(平成31年4月1日～6月30日)



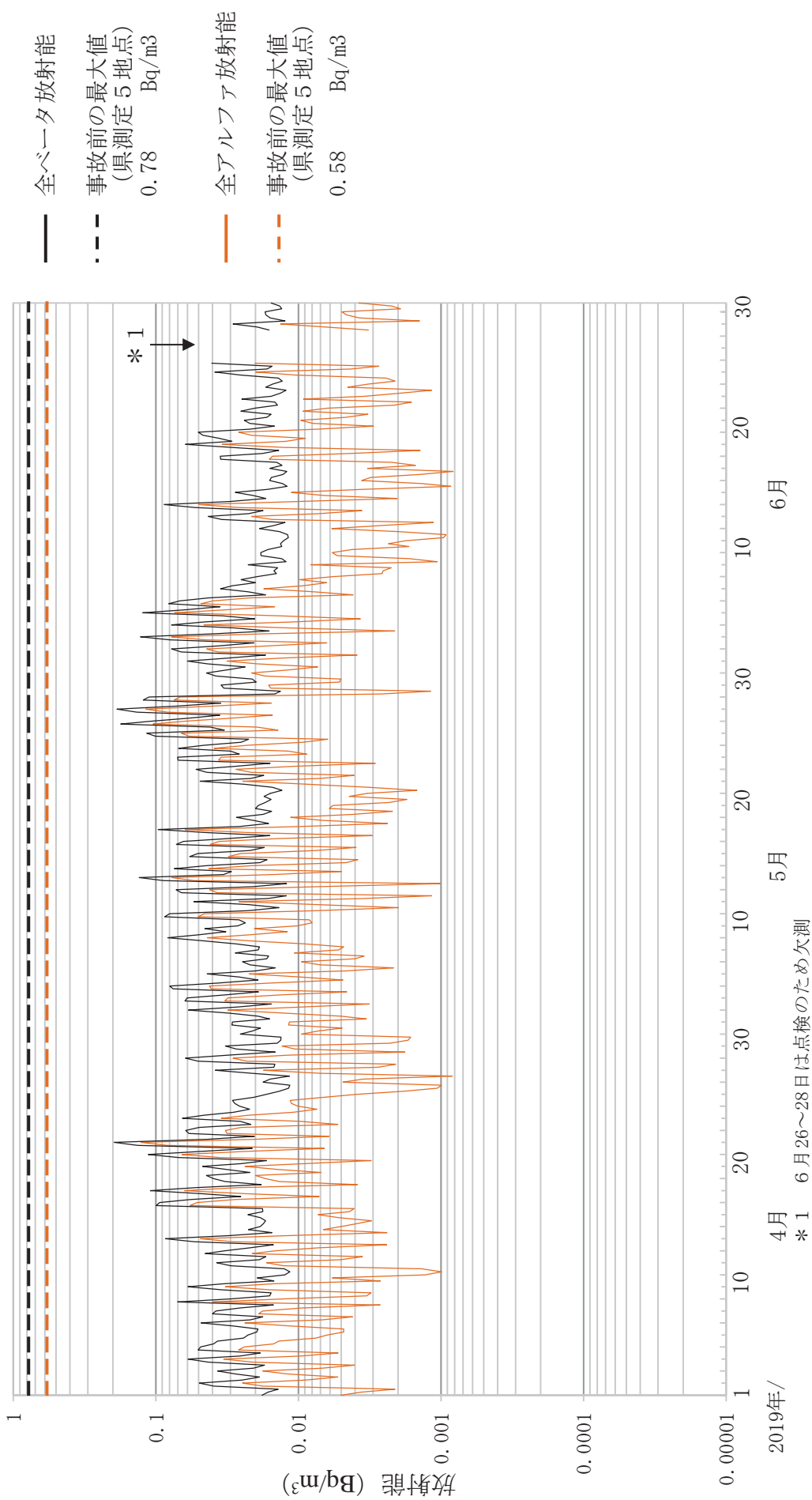
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

9 大熊町夫沢
(平成31年4月1日～6月30日)



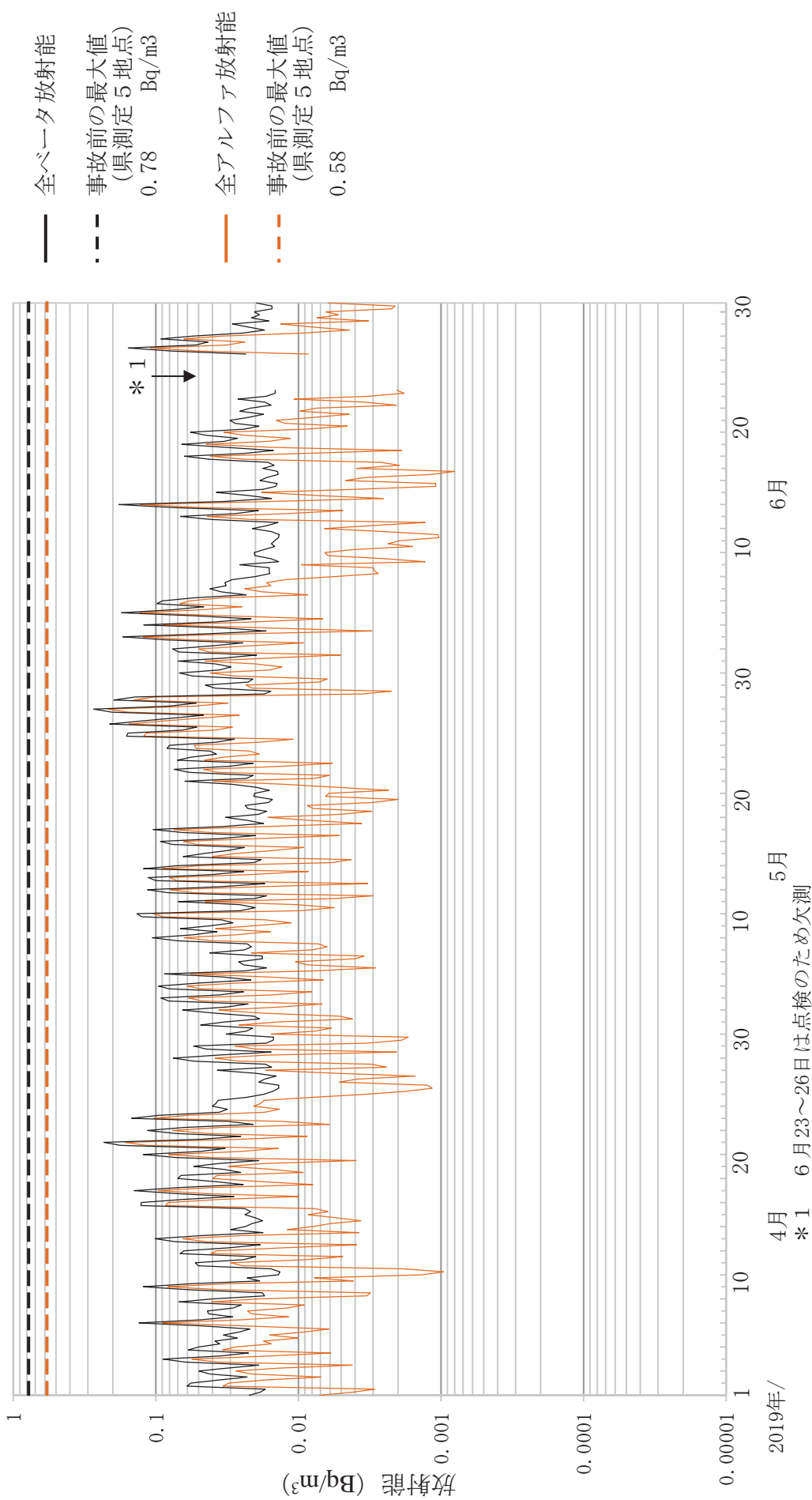
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

10 双葉町郡山
(平成31年4月1日～6月30日)



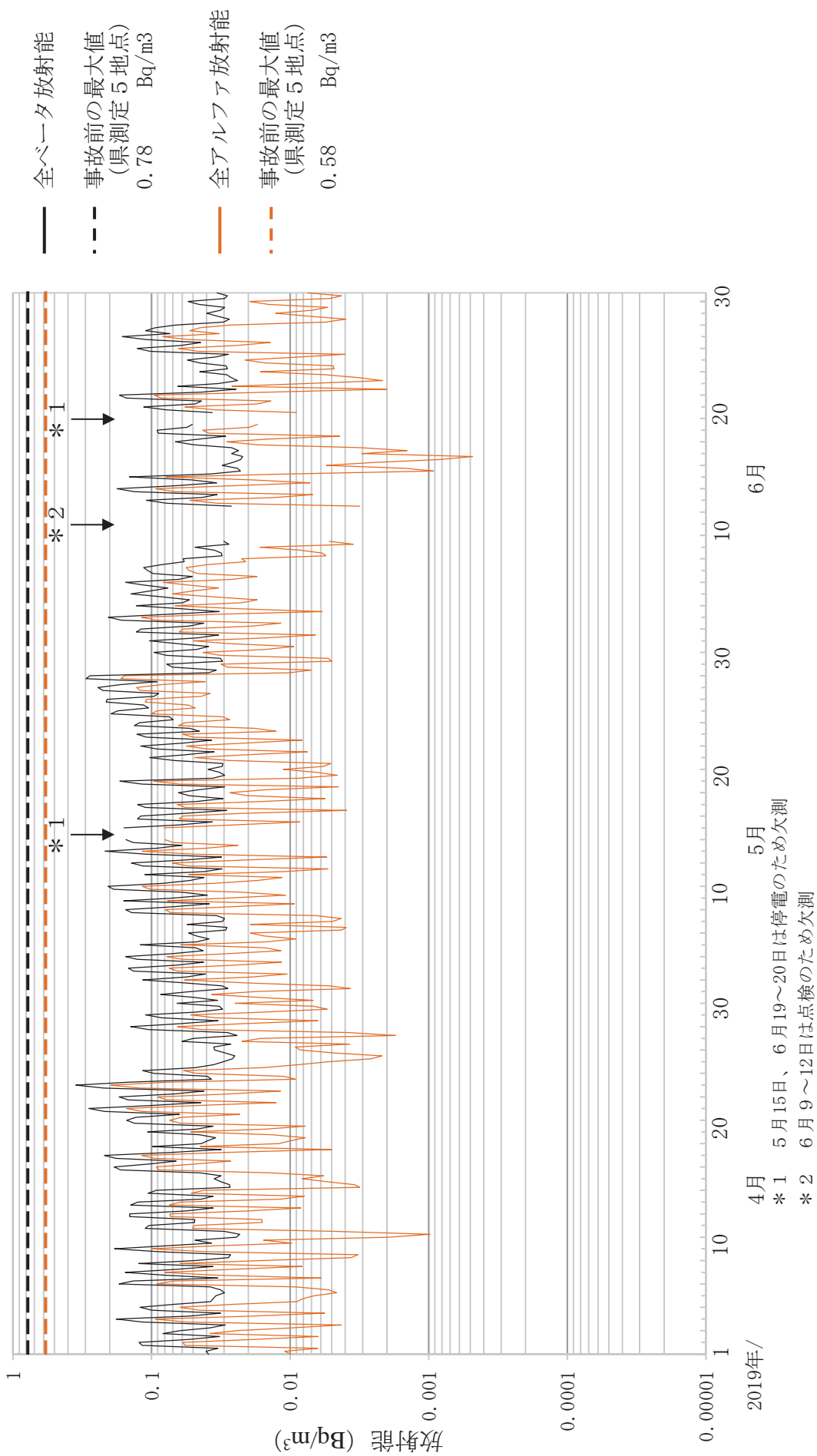
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

11 浪江町幾世橋
(平成31年4月1日～6月30日)



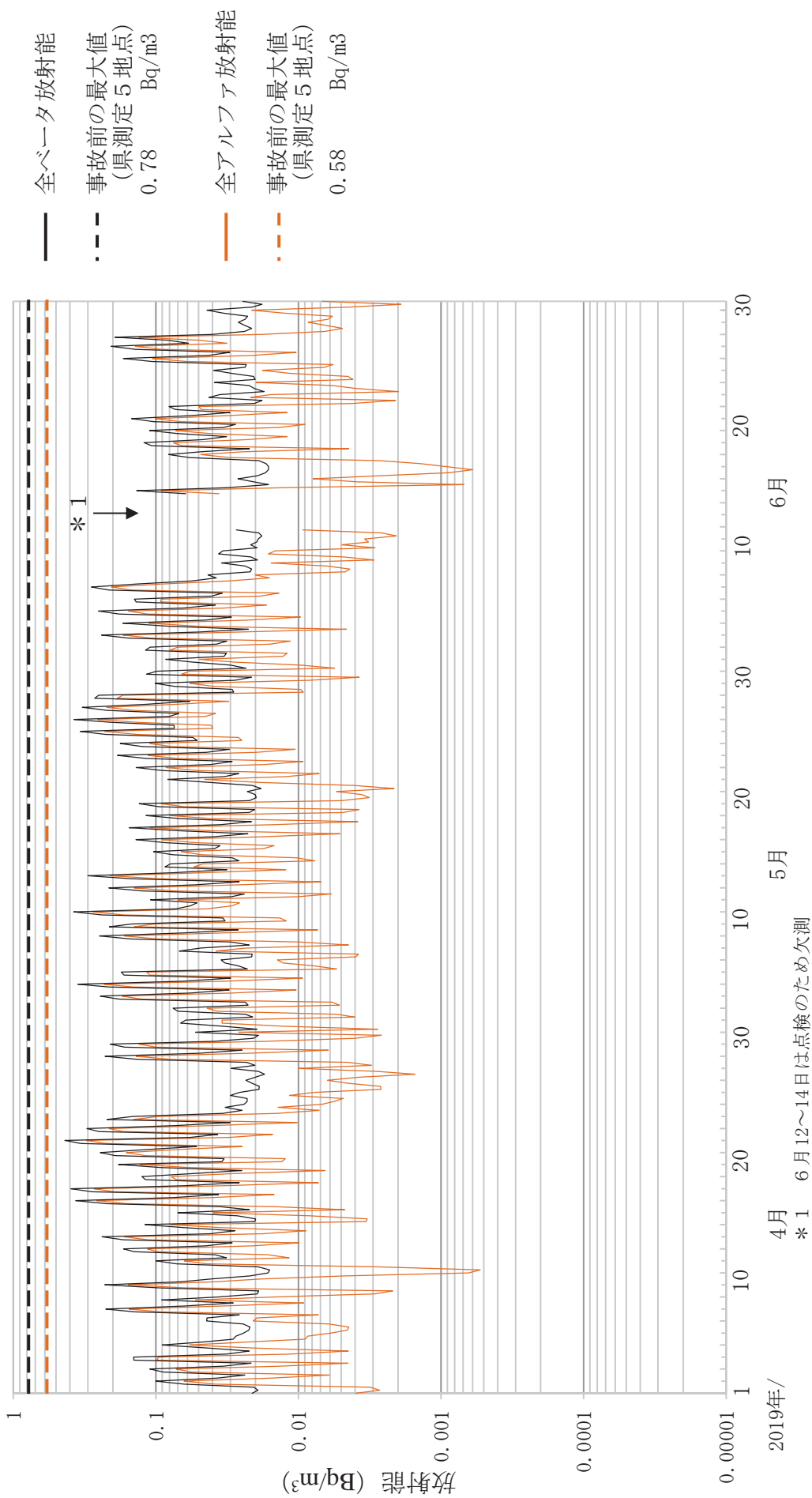
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

12 浪江町大柿ダム
(平成31年4月1日～6月30日)



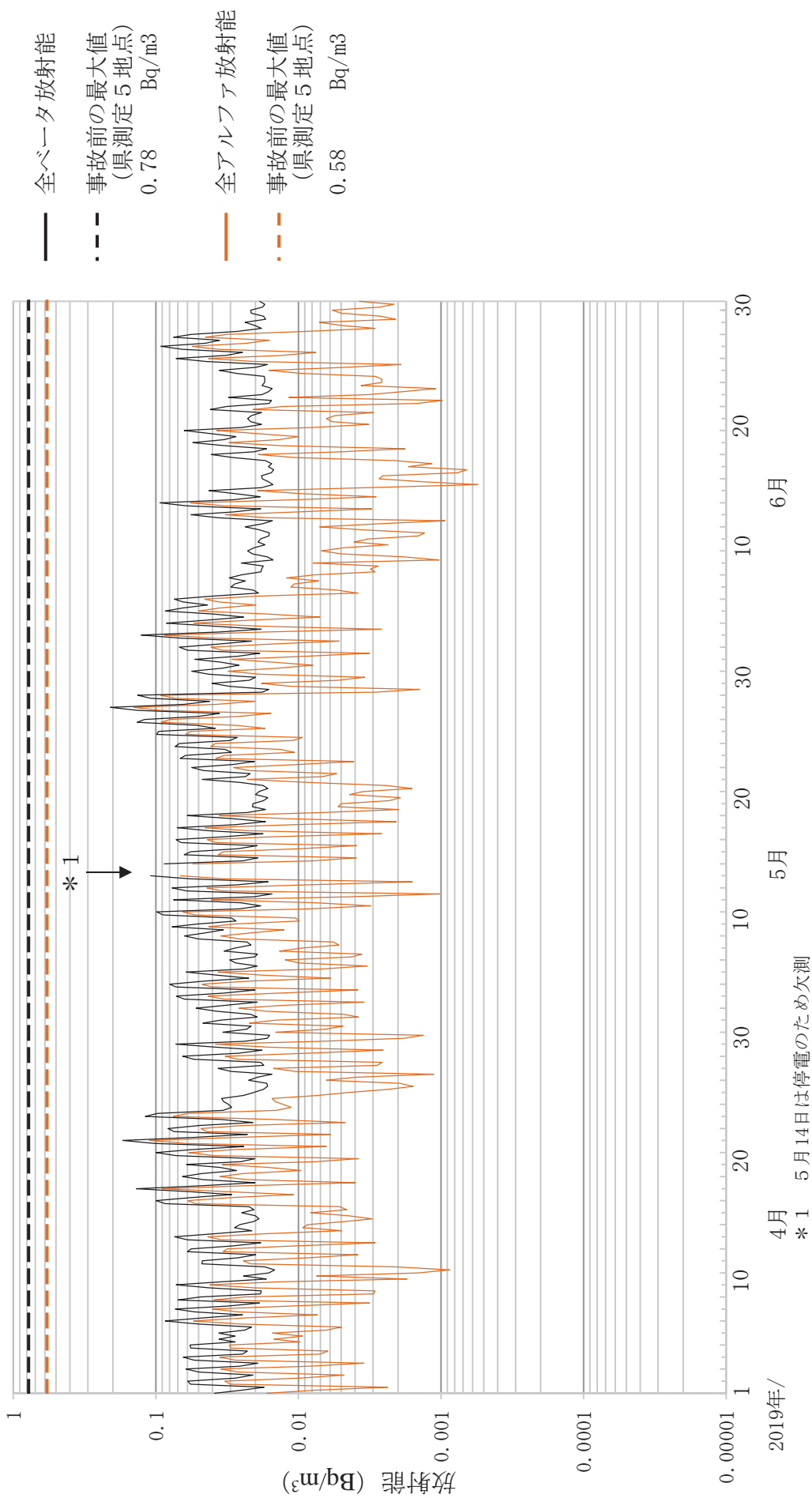
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

13 葛尾村夏湯
(平成31年4月1日～6月30日)



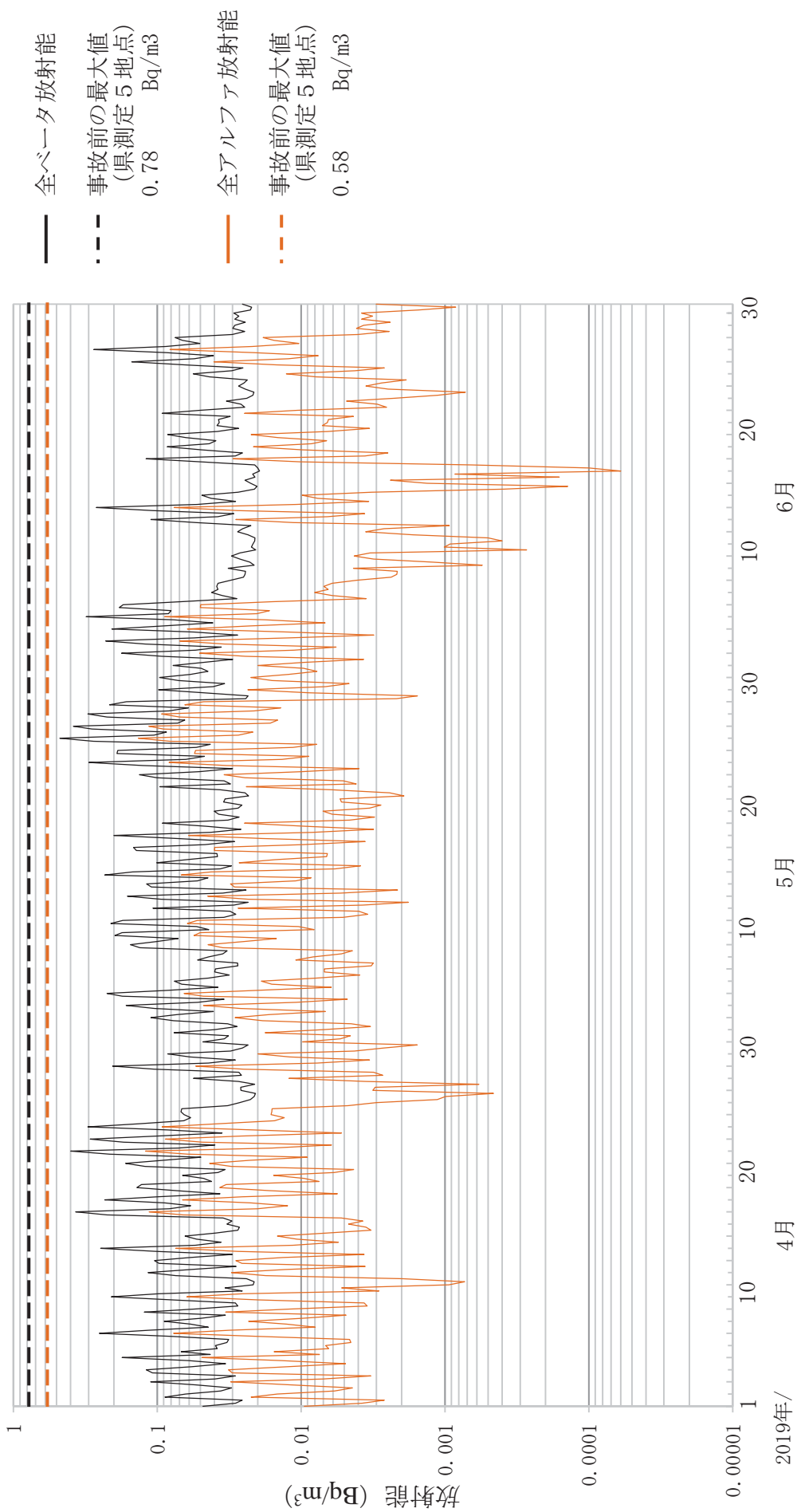
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

14 南相馬市泉沢
(平成31年4月1日～6月30日)



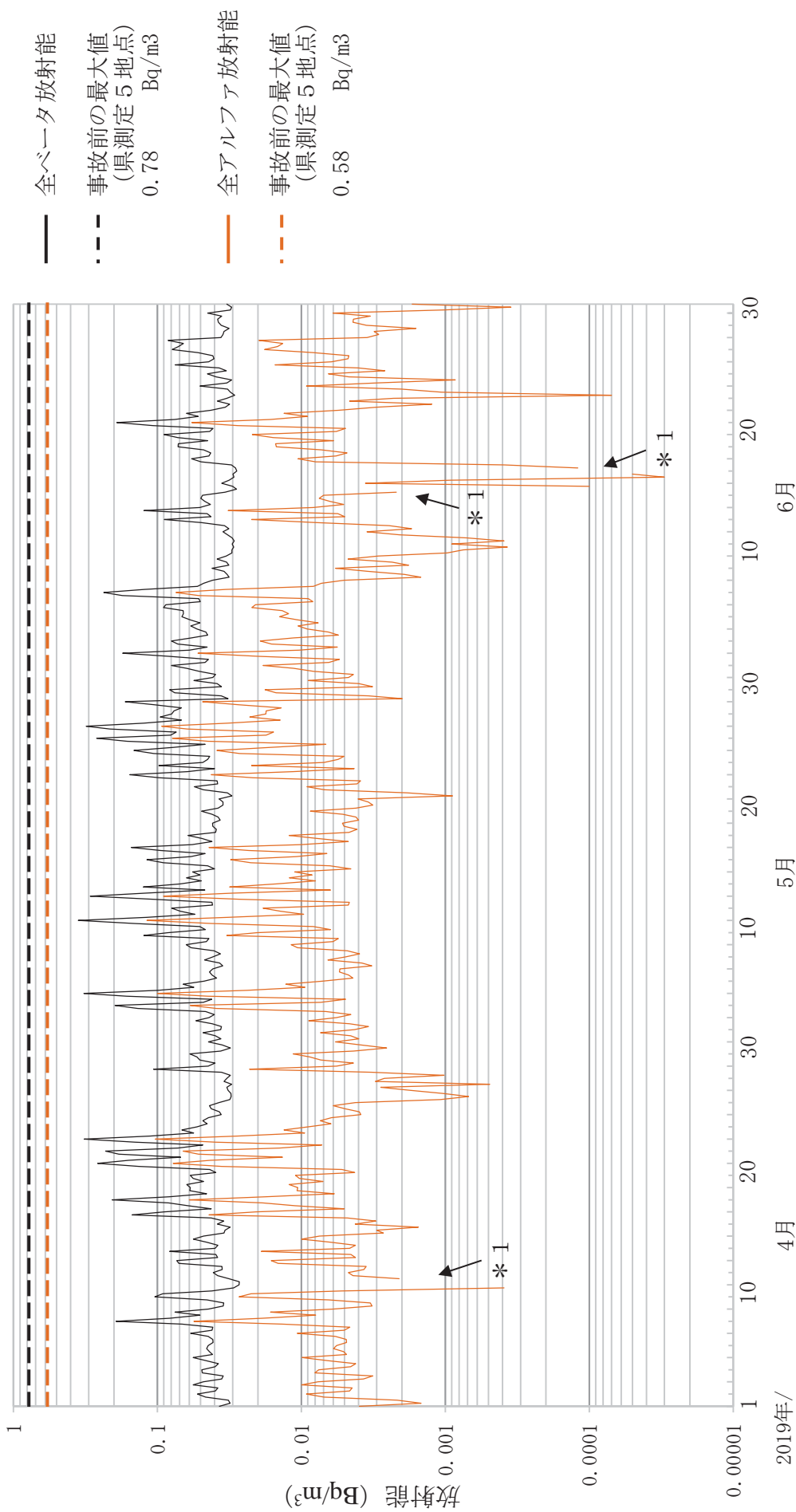
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

15 南相馬市萱浜
(平成31年4月1日～6月30日)



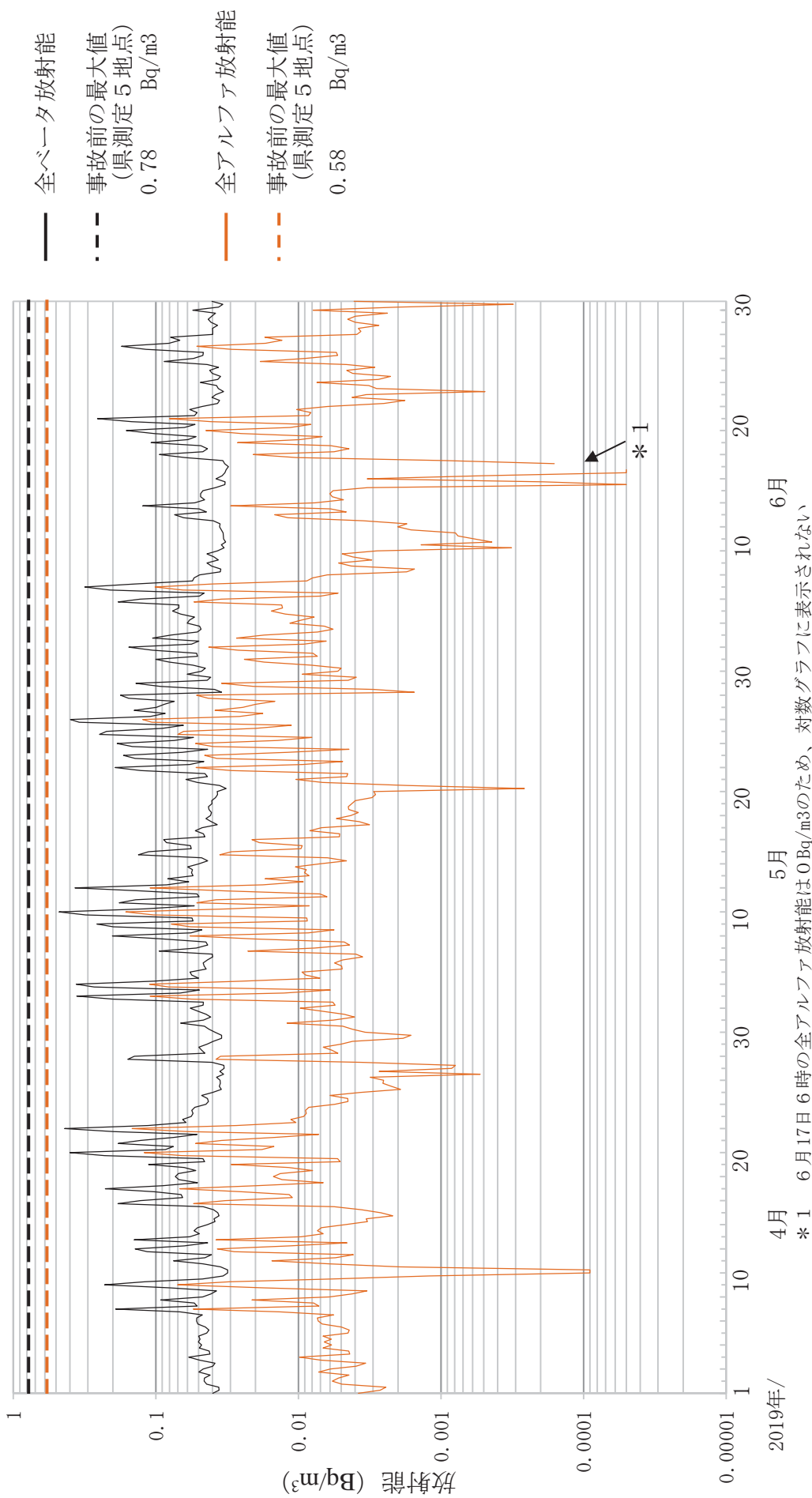
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

16 飯館村伊丹沢
(平成31年4月1日～6月30日)



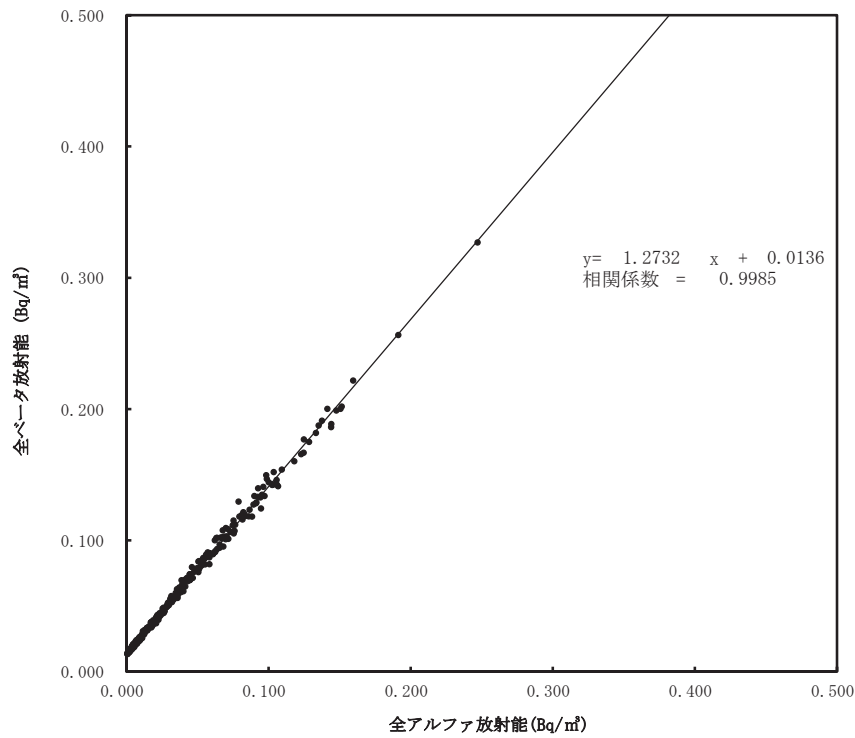
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

17 川俣町山木屋
(平成31年4月1日～6月30日)



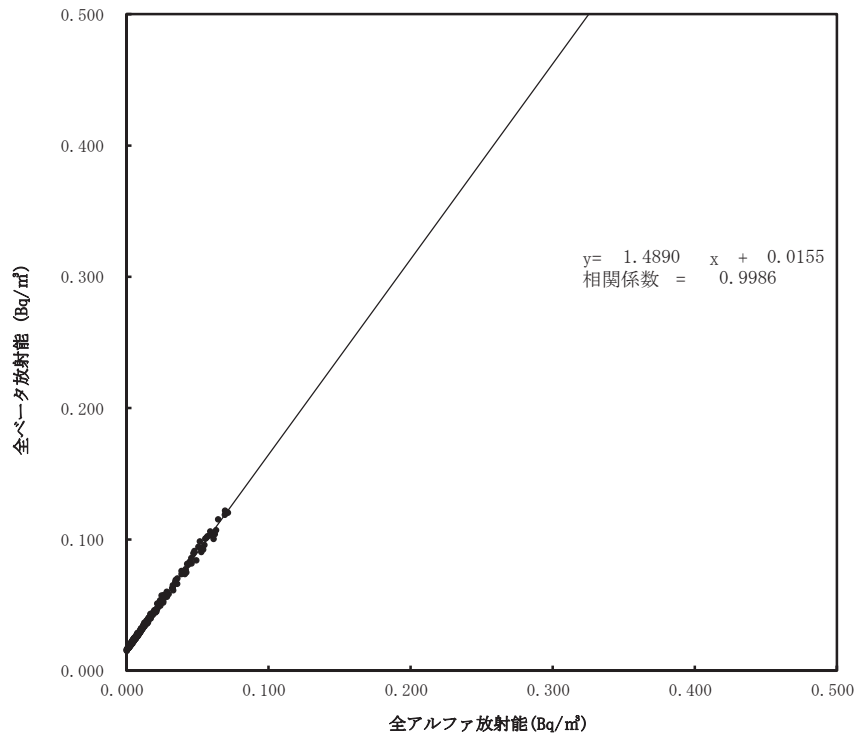
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(いわき市小川)



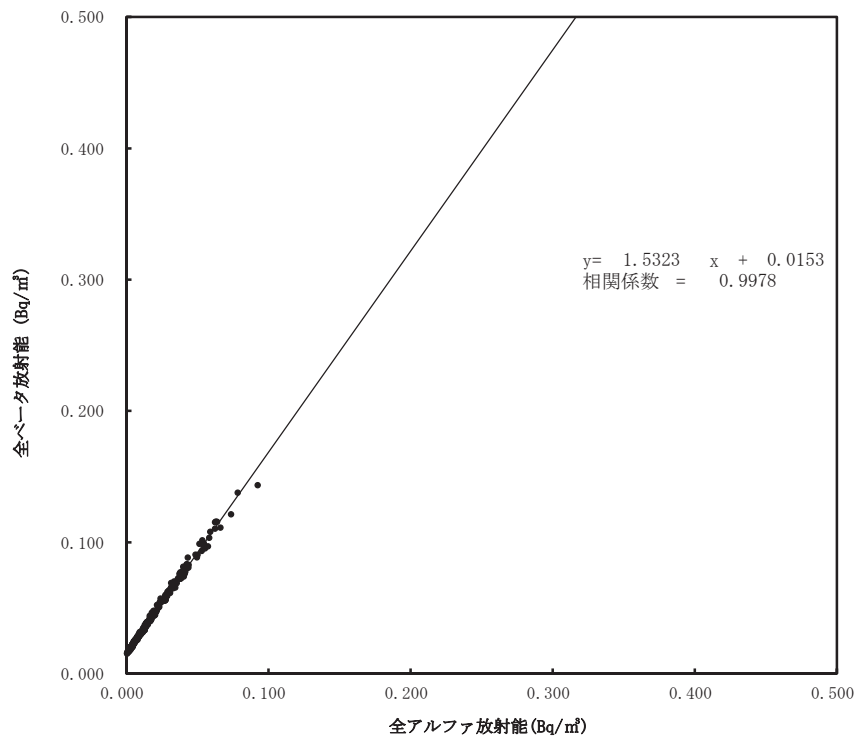
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(田村市都路馬洗戸)



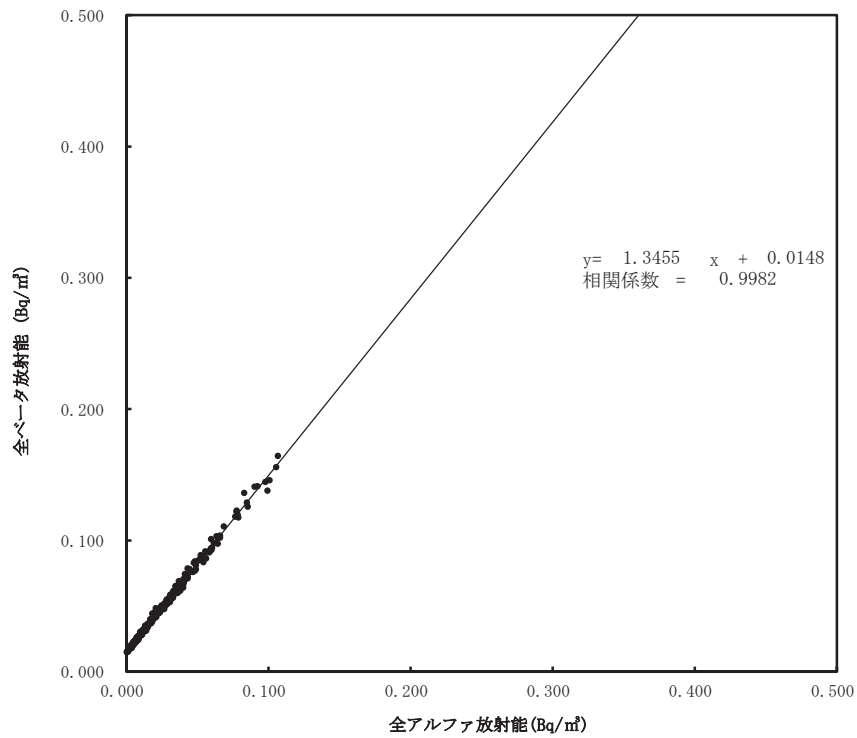
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(広野町小滝平)



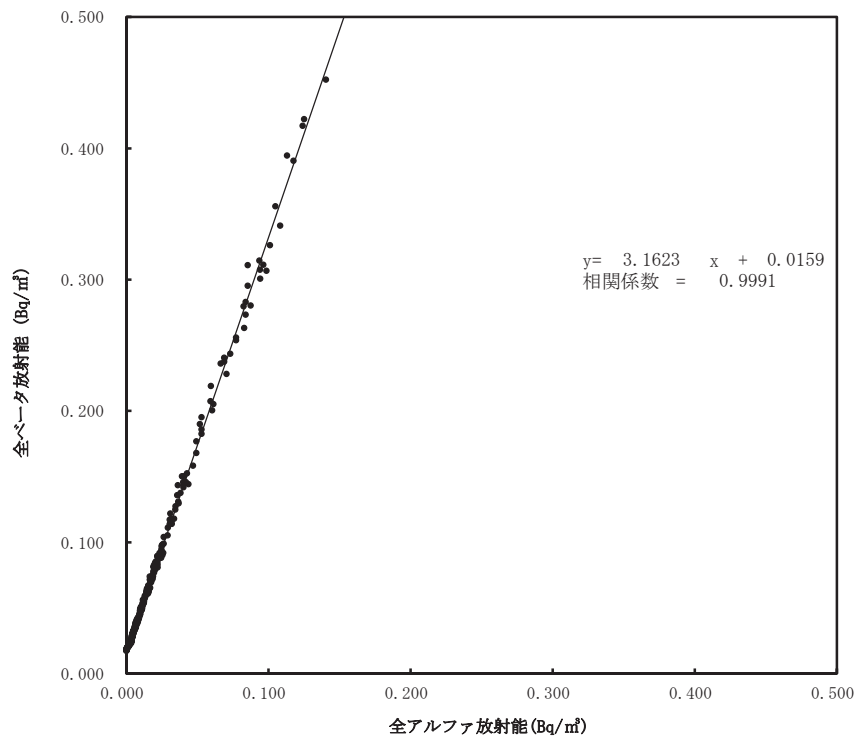
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(檜葉町木戸ダム)



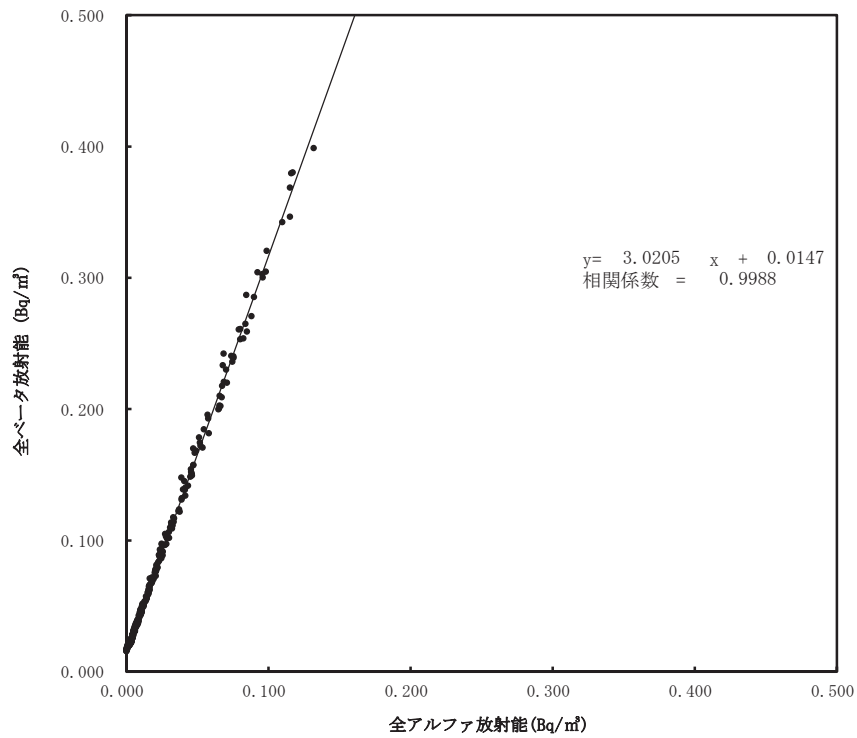
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(檜葉町繁岡)



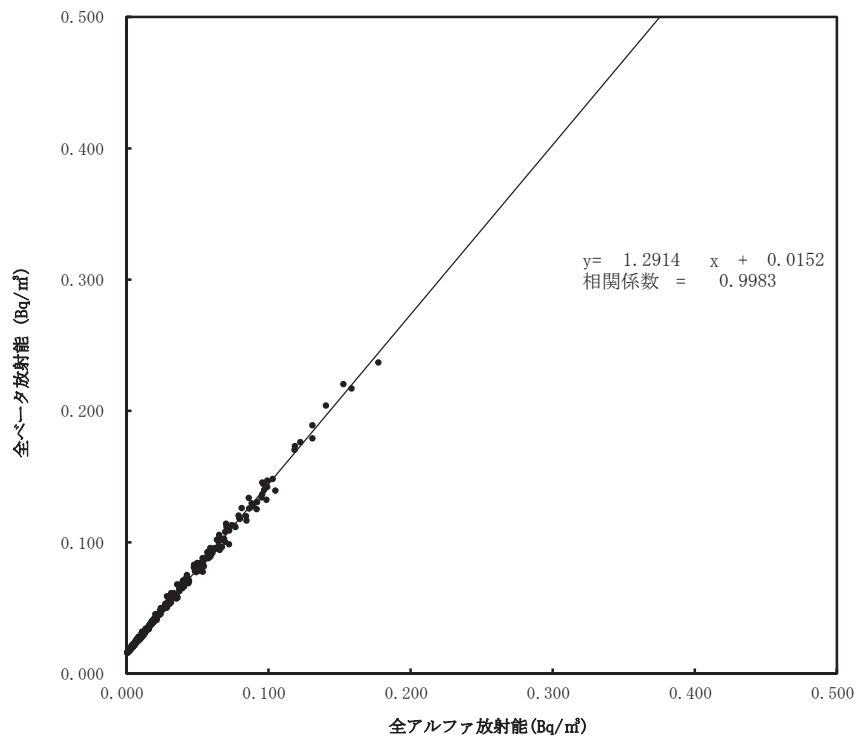
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(富岡町富岡)



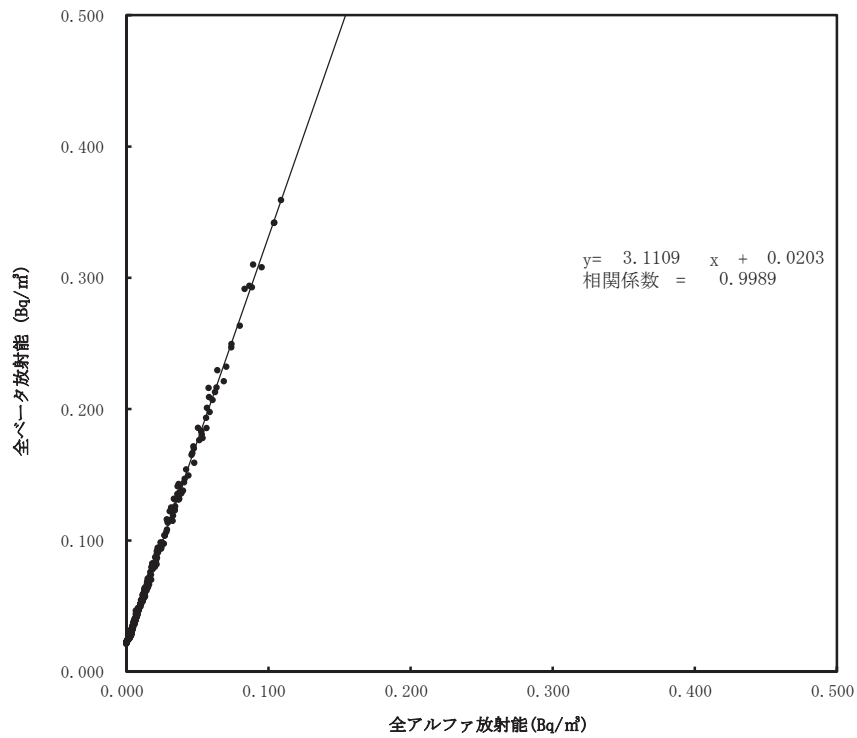
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(川内村下川内)



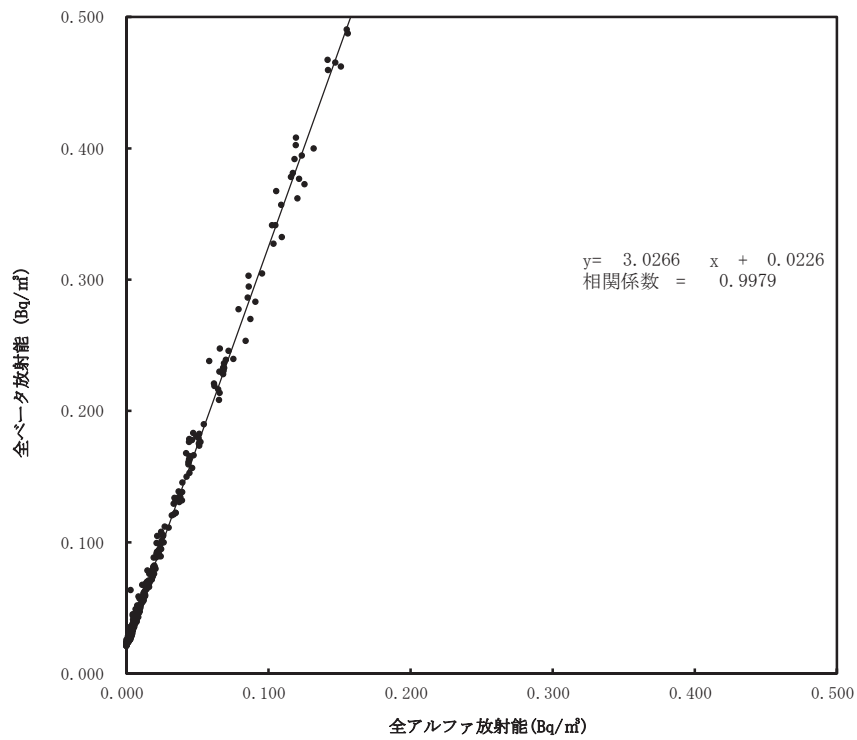
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(大熊町大野)



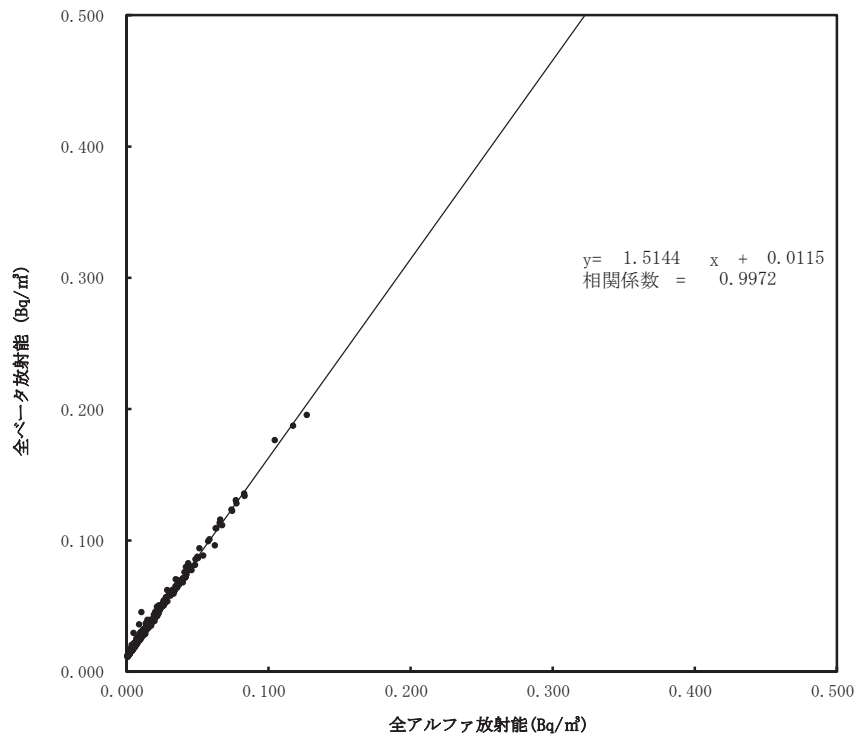
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(大熊町夫沢)



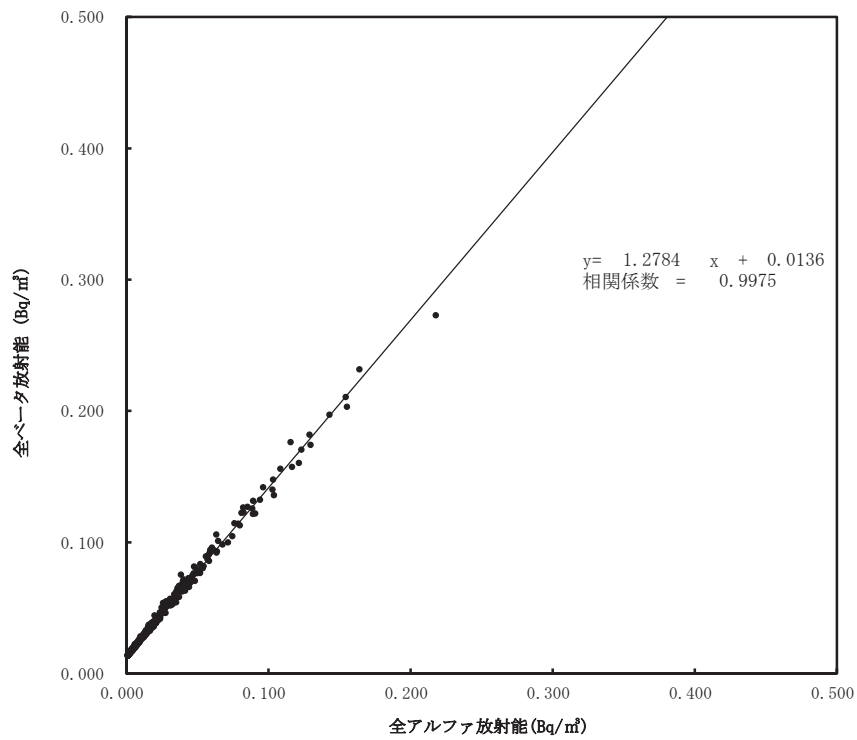
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(双葉町郡山)



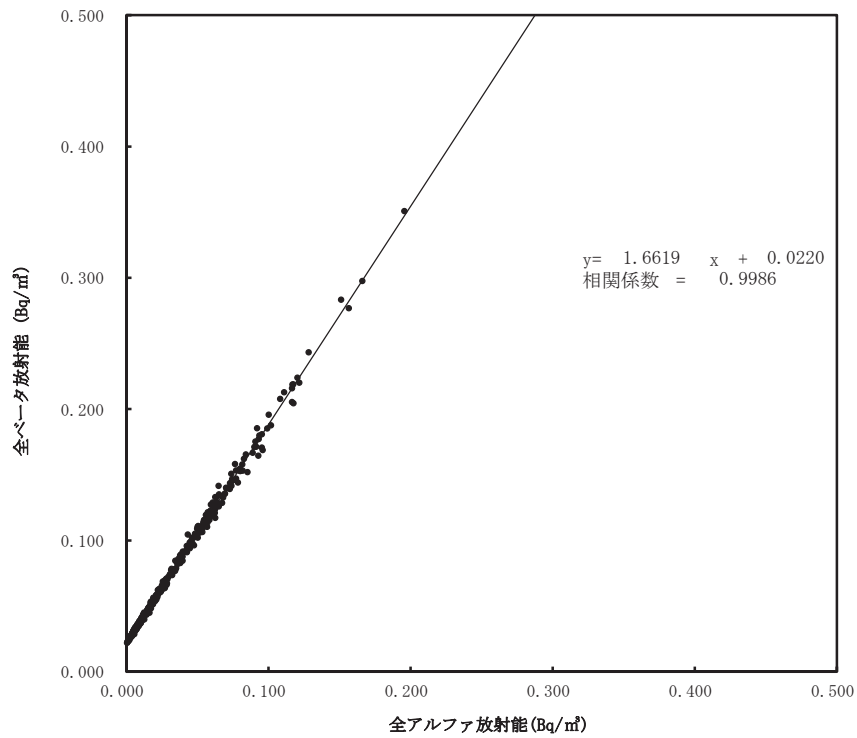
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(浪江町幾世橋)



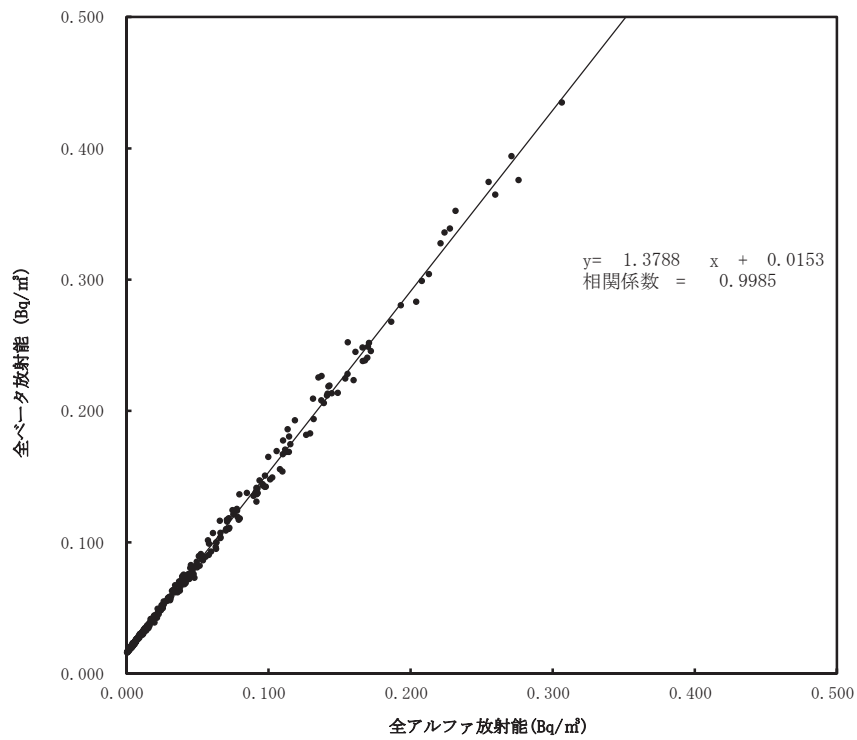
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(浪江町大柿ダム)



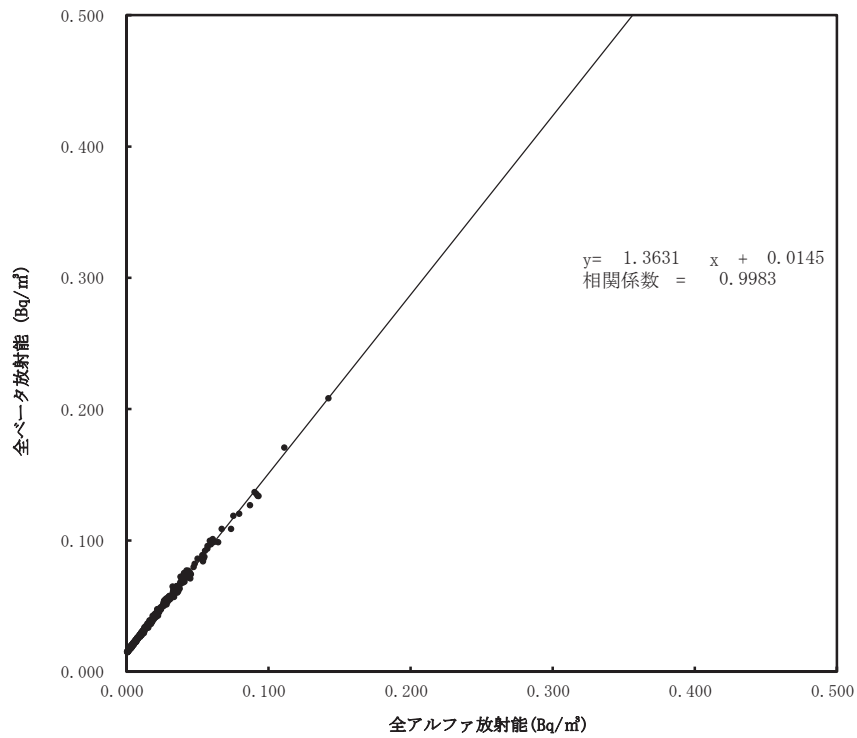
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(葛尾村夏湯)



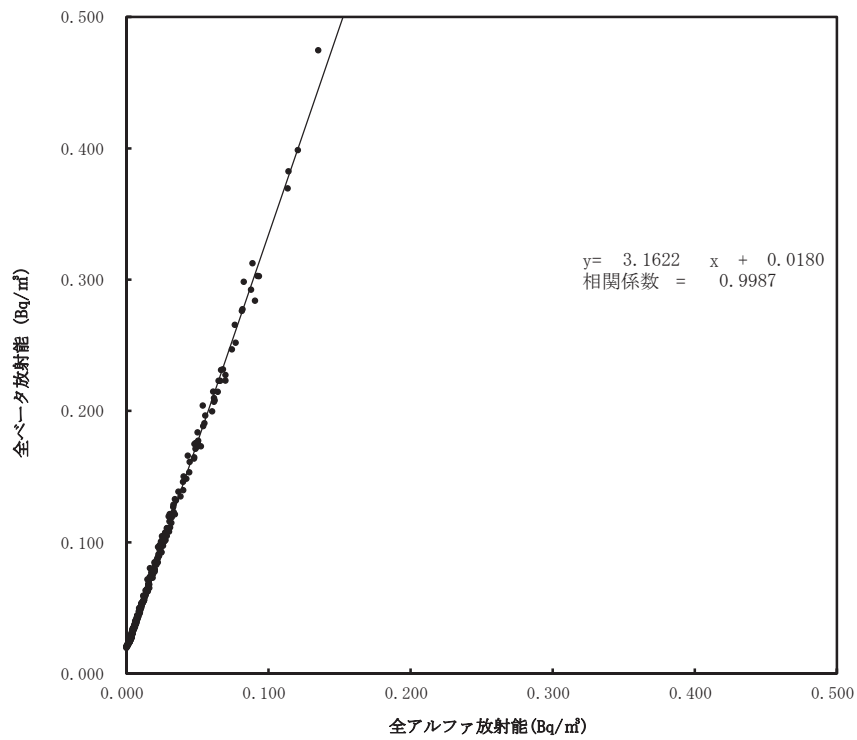
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(南相馬市泉沢)



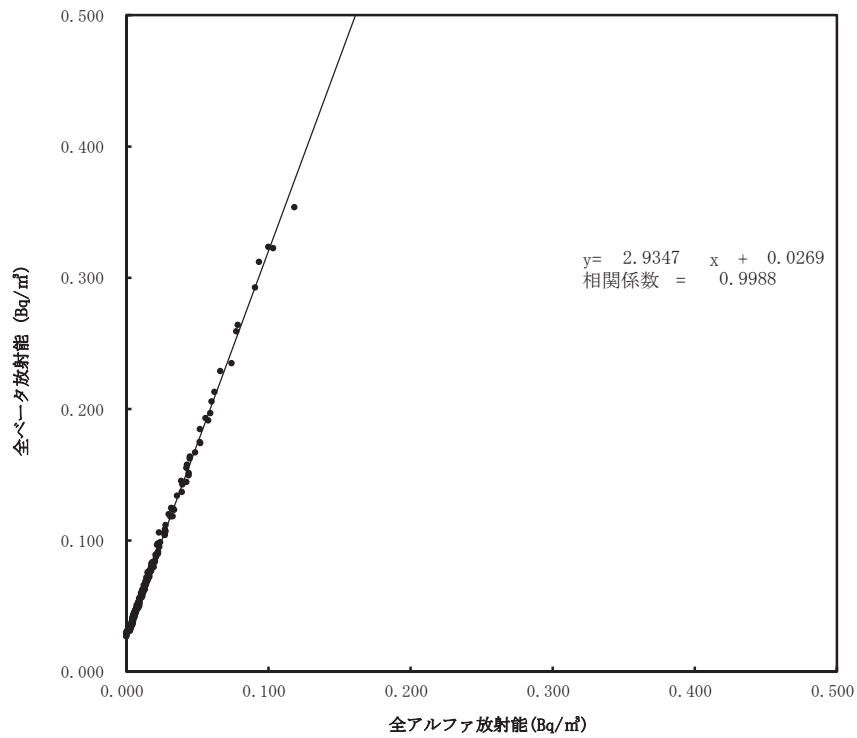
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(南相馬市萱浜)



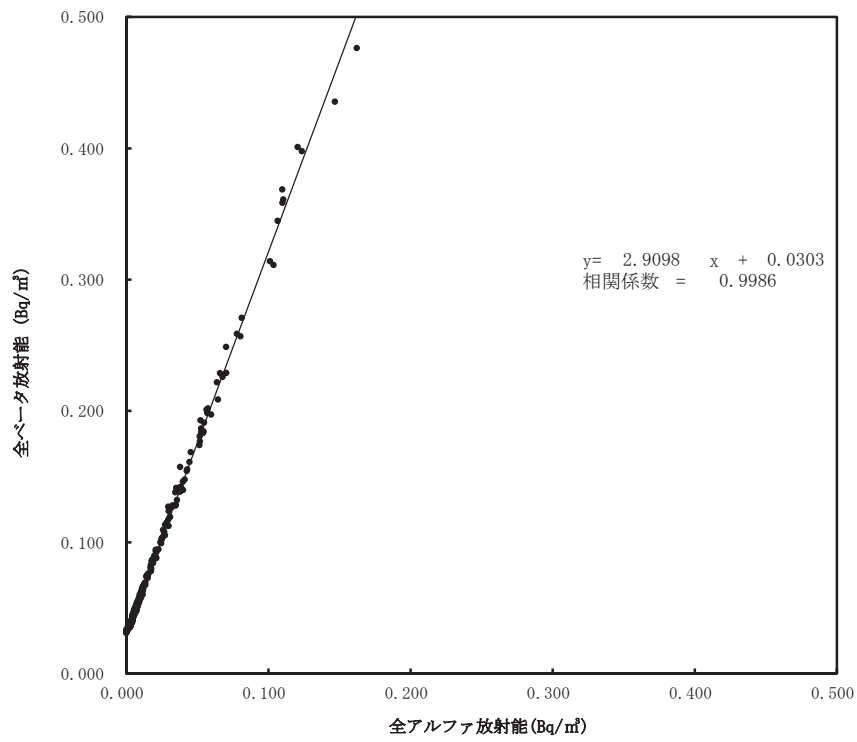
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(飯館村伊丹沢)

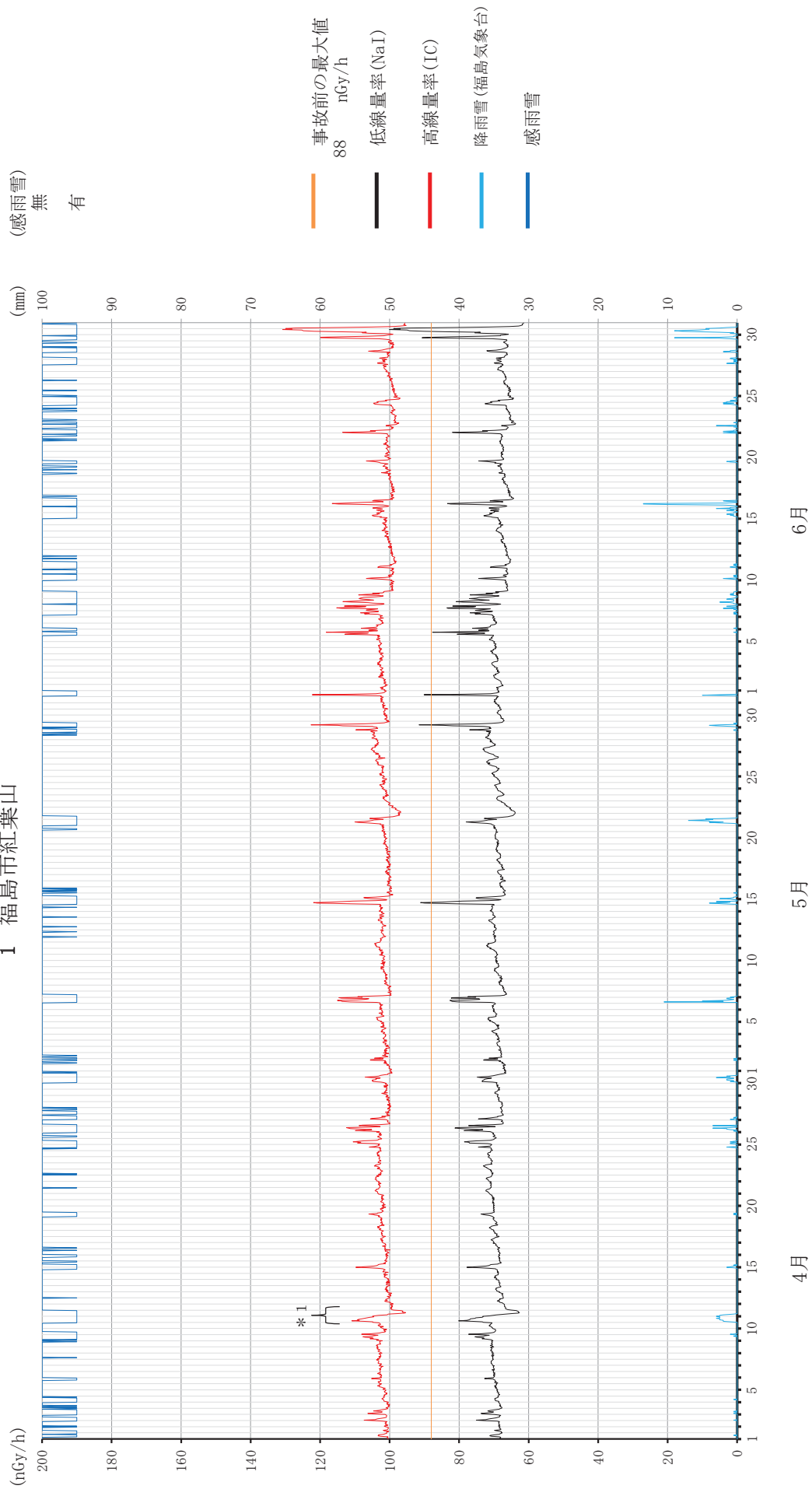


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成31年4月～6月)
(川俣町山木屋)

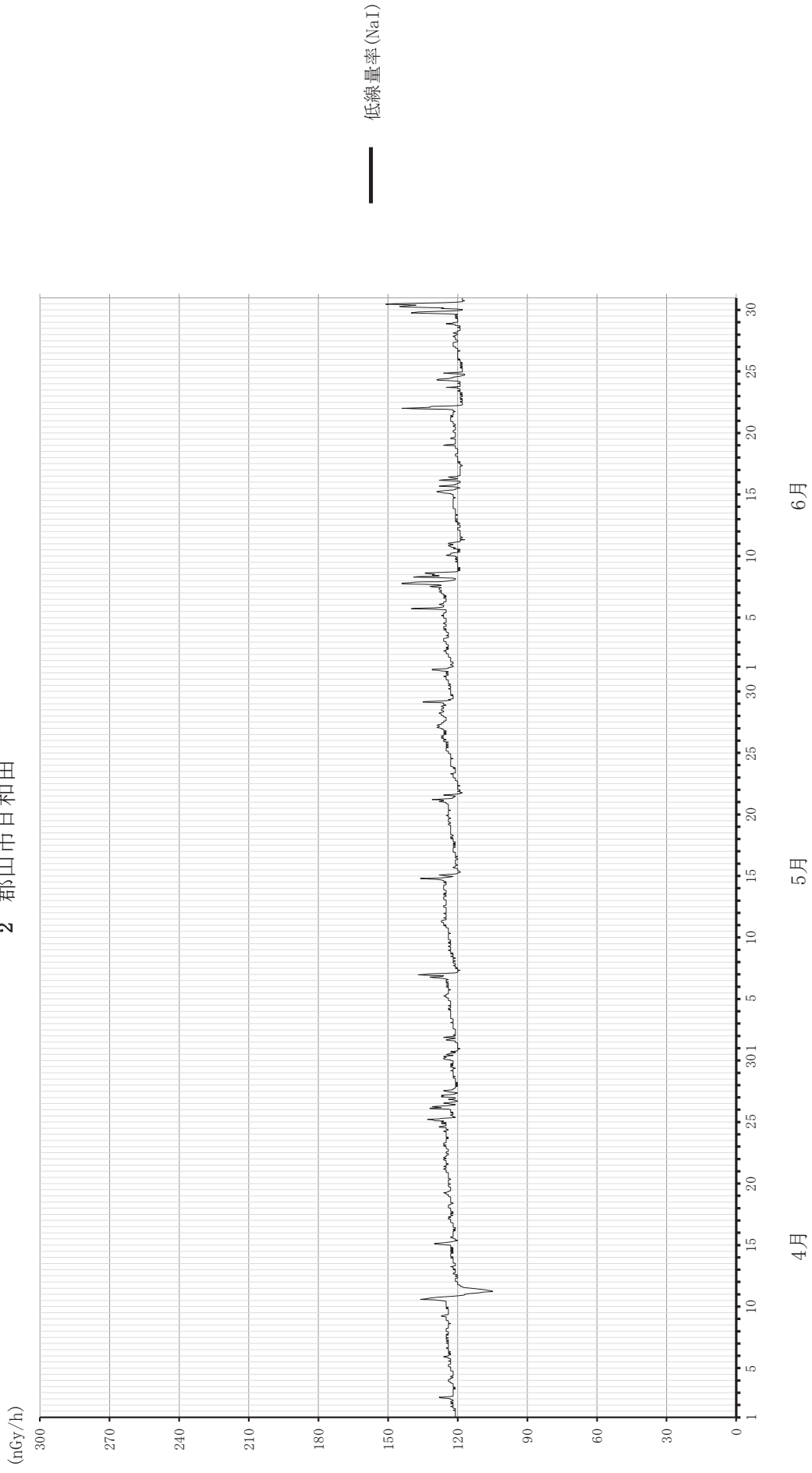


空間線量率の変動グラフ
1 福島市紅葉山



* 1 4月10~11日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
2 郡山市日和田



空間線量率の変動グラフ 3 いわき市平

